

過去4年間の入札・発注データに基づく
川崎市発注公共工事分析報告書
(2005年度～2008年度)

2010年3月

特定非営利活動法人
建設政策研究所

目 次

| | |
|--|----|
| はじめに..... | 1 |
| 第1章 川崎市発注公共工事の発注側からみた推移と特徴 | |
| （1） 工事規模からみる特徴..... | 2 |
| （2） 市発注工事の発注部署からみる特徴..... | 7 |
| （3） 市発注工事を地域別に工事場所からみた特徴..... | 9 |
| （4） 市発注工事の発注月別状況..... | 10 |
| 第2章 2008年度川崎市発注公共工事の受注側からみた特徴 | |
| （1） 入札参加申請業者と受注業者との関係..... | 13 |
| （2） 受注業者の資本金階層からみた特徴..... | 14 |
| （3） 受注業者の市内外別分類からみたいくつかの特徴..... | 20 |
| （4） 川崎市建設業協会の会員・非会員別にみた市発注工事受注の特徴..... | 30 |
| （5） J V受注工事の特徴..... | 31 |
| （6） 単独受注工事全体の特徴..... | 36 |
| 第3章 2008年度川崎市発注工事の入札・契約面からみた特徴 | |
| （1） 市発注工事のランク別競争入札への参加条件の仕組みについて..... | 39 |
| （2） 業種別、地域別、ランク別入札の実態の推移と特徴..... | 42 |
| （3） 工事契約の入札形態との関係からみた特徴..... | 45 |
| （4） 随意契約の推移と特徴..... | 49 |
| （5） 総合評価型入札の状況..... | 54 |
| （6） 落札率の実態について..... | 56 |
| （7） 単価契約の特徴..... | 61 |
| まとめ..... | 68 |
| 別添資料..... | 70 |

はじめに

この度、日本共産党川崎市議員団からの委託調査として 2005 年度から 2008 年度の「入札情報データ」にもとづく川崎市発注公共工事の分析を行った。

分析のために収集したデータは川崎市財政局および交通局、水道局、病院局の 2005 年度～2008 年度の入札契約情報データ、および川崎市入札参加申請者名簿、川崎建設業協会会員名簿、その他情報公開請求にもとづく各種データ、市ホームページからの資料である。入札契約情報データは市発注公共工事の一件ごとの工事件名、工事場所、業種名、予定価格、契約金額、契約方法、落札業者名、契約日、税込み契約金額、変更後税込み契約金額が記載された一覧表である。入札参加者名簿は各建設業者の業者コード、業者名、地域区分、資本金が記載された一覧表である。また、川崎建設業協会名簿は会社名、代表者名、所在地が記載された一覧表である。

情報公開請求ではランク別発注実績一覧表、随意契約工事理由別一覧表、総合評価方式の実施結果等入手した。また市ホームページからは業種格付一覧表、発注標準一覧表等入手した。本報告書はこれらのデータを加工、組み合わせることにより、三つの角度から 4 年間の推移をみながら経年変化の中で 2008 年度の川崎市の公共工事の分析を行った。

第1章 川崎市発注公共工事の発注側からみた推移と特徴

(1) 工事規模からみる特徴

1) 工事規模別発注金額の推移と特徴

表 1-1-1 は工事規模別に発注金額およびその構成比の4年間の推移をみたものである。契約総金額では08年度は617億1,020万円となり07年度より若干減少しているが05年度からみると増加傾向にある。この4年間だけをみると川崎市の公共工事は金額面で増加の方向といえるが、もう少し長いスパンで見ると全国の推移と同様に減少傾向にはある。普通建設事業費の推移について2002年度を基準に2008年度をみると、全国の地方自治体合計では約65%の水準にあるが、川崎市は75%の水準となっている（「川崎市における公共事業発注のあり方について最終報告書」第1部第2章第2節P-26参照）。08年度を契約金額ランクでみると、最も多いランクは1件1億～5億円の工事で247億円と発注金額全体（617億万円）の40.0%を占めている。過去4年間をみてもこのランクに工事量が集中しているが、次第に金額は大きくなり、05年度に比較し138億円も増加している。

表 1-1-1 工事規模別発注金額の推移

単位：百万円、%

| 契約金額ランク | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 50万円未満 | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 |
| 50万～1百万円未満 | 11 | 0.0 | 16 | 0.0 | 14 | 0.0 | 16 | 0.0 |
| 1百万～5百万円未満 | 917 | 2.0 | 1,011 | 2.2 | 805 | 1.3 | 695 | 1.1 |
| 5百万～1千万円未満 | 1,591 | 3.5 | 1,593 | 3.4 | 1,698 | 2.6 | 1,668 | 2.7 |
| 1千万～5千万円未満 | 9,304 | 20.5 | 9,122 | 19.4 | 8,582 | 13.4 | 10,318 | 16.7 |
| 5千万～1億円未満 | 8,284 | 18.2 | 7,900 | 16.8 | 6,250 | 9.7 | 7,328 | 11.9 |
| 1億～5億円未満 | 10,993 | 24.2 | 15,440 | 32.8 | 21,429 | 33.3 | 24,743 | 40.1 |
| 5億～10億円未満 | 4,629 | 10.2 | 3,421 | 7.3 | 2,031 | 3.2 | 5,435 | 8.8 |
| 10億～50億円未満 | 9,675 | 21.3 | 8,501 | 18.1 | 10,057 | 15.6 | 6,216 | 10.1 |
| 50億円以上 | - | - | - | - | 13,409 | 20.9 | 5,292 | 8.6 |

2) 工事規模を4つのランク別に分類した場合の全国と横浜市との比較

この契約金額ランクを小規模工事（一件1千万円未満）、中規模工事（一件1千万円以上1億円未満）、大規模工事（一件1億円以上10億円未満）、超大規模工事（10億円以上）に分類したのが表 1-1-2 である。

小規模工事は05年度以降、一貫して少なく25億円前後で推移している。構成比で見ると08年度は3.9%と次第に減少している。中規模工事も07年度を除き170億円程度で横ばいとなっているが、構成比でみると05年度の38.7%から08年度28.6%へと10ポイントほど減少している。これに対して大規模工事は08年度302億円と全体の48.9%、超大規模工事は115億円と同18.6%を占め、この両方で417億円と全体の67.5%を占めている。この大規模工事偏重の傾向は05年度55.7%、06年度58.2%、

07年度73.0%と徐々に拡大してきている。

この大規模工事偏重は全国の動向及びお隣の横浜市と比較しても顕著にその傾向が現れている。

全国の市区町村の発注工事と比較すると、小規模工事（1千万円未満）の構成比は08年度4.8%と川崎市とそれほど変わらないが、5百万円未満が調査対象から除外されていることを考慮すれば、川崎市より高い比率となる。また、中規模工事（1千万円以上1億円未満）は少しずつ減少してきているとはいえ、08年度では46.5%と川崎市の構成比より18ポイントも多く、全国の市区町村では中規模工事が5割近くを占めている。また大規模工事（1億円以上10億円未満）は31.5%と、川崎市より18ポイント少ない。川崎市では全国に比較し、中規模工事と大規模工事が金額比率で逆転しているといえる。

また横浜市の工事規模別推移と比較すると、川崎市の大規模工事偏重が一層顕著である。横浜市では1億円以上の大規模工事は05年度の883億円（59.0%）から、08年度では789億円（54.8%）へと減少傾向であるのに対して、川崎市では1億円以上の大規模工事は05年度の253億円（55.7%）から08年度には417億円（67.5%）へと大きく増加しており、川崎市が大規模工事中心になりつつあることを示している。

表 1-1-2 工事規模ランクによる発注金額の推移

単位：百万円、%

| 工事規模 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 1千万円未満 | 2,520 | 5.5 | 2,621 | 5.6 | 2,518 | 3.9 | 2,380 | 3.9 |
| 1千万円～1億円未満 | 17,589 | 38.7 | 17,023 | 36.2 | 14,832 | 23.1 | 17,646 | 28.6 |
| 1億円～10億円未満 | 15,622 | 34.4 | 18,861 | 40.1 | 23,460 | 36.5 | 30,176 | 48.9 |
| 10億円以上 | 9,675 | 21.3 | 8,501 | 18.1 | 23,466 | 36.5 | 11,508 | 18.6 |
| 合計 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |

(参考) 全国の市区町村発注公共工事の工事規模ランクによる発注金額の推移

単位：百万円、%

| 工事規模 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 1千万円未満 | 171,594 | 5.5 | 139,161 | 5.1 | 130,814 | 5.4 | 117,780 | 4.8 |
| 1千万円～1億円未満 | 1,592,861 | 50.8 | 1,383,764 | 50.6 | 1,179,707 | 48.7 | 1,151,586 | 46.5 |
| 1億円～10億円未満 | 948,203 | 30.2 | 903,417 | 33.0 | 793,691 | 32.8 | 779,978 | 31.5 |
| 10億円以上 | 424,188 | 13.5 | 309,156 | 11.3 | 318,544 | 13.1 | 426,702 | 17.2 |
| 合計 | 3,136,846 | 100.0 | 2,735,498 | 100.0 | 2,422,756 | 100.0 | 2,476,046 | 100.0 |

出所：国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」

注：1件500万円以上の工事を対象としており、500万円未満工事の発注金額は含まれていない。

(参考) 横浜市発注公共工事の工事規模ランクによる発注金額の推移

単位:百万円、%

| 工事規模 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 1千万円未満 | 10,121 | 6.8 | 8,720 | 5.9 | 8,279 | 6.6 | 8,378 | 5.9 |
| 1千万円～1億円未満 | 51,096 | 34.2 | 54,258 | 36.6 | 49,786 | 39.4 | 54,298 | 38.4 |
| 1億円～10億円未満 | 67,369 | 45.0 | 61,037 | 41.1 | 51,738 | 40.9 | 59,388 | 42.0 |
| 10億円以上 | 20,980 | 14.0 | 24,329 | 16.4 | 16,550 | 13.1 | 19,463 | 13.8 |
| 合計 | 149,566 | 100.0 | 148,344 | 100.0 | 126,353 | 100.0 | 141,527 | 100.0 |

3) 工事規模別契約件数の推移と特徴

次に工事規模別に契約件数をみたのが表 1-1-3 である。総件数では 08 年度 1,164 件と 05 年度から若干の変動があるがほぼ横ばいに推移している。件数で最も多い工事規模は 1 千万円～5 千万円のクラスで 446 件、次に 1 百万円～5 百万円が 232 件、5 百万円～1 千万円が 222 件とこの三つのランクで 7 割以上を占めている。さらに 1 億円を境に件数比較をしてみたのが表 1-1-4 である。もちろん 1 億円未満の工事件数が 2005 年度以来 1,000 件を超え圧倒的に多い。しかし、推移を見ると 1 億円以上の件数が次第に多くなり 08 年度は 141 件と 05 年度の 74 件より 2 倍に増加している。やはり件数でみても大規模工事が増加傾向にあることがわかる。

表 1-1-3 工事規模別発注件数の推移

単位:件、%

| 契約金額ランク | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1158 | 100.0 | 1213 | 100.0 | 1120 | 100.0 | 1164 | 100.0 |
| 50万円未満 | 4 | 0.3 | 5 | 0.4 | 3 | 0.3 | 3 | 0.3 |
| 50万～1百万円未満 | 14 | 1.2 | 20 | 1.6 | 18 | 1.6 | 19 | 1.6 |
| 1百万～5百万円未満 | 304 | 26.3 | 351 | 28.9 | 269 | 24.0 | 232 | 19.9 |
| 5百万～1千万円未満 | 221 | 19.1 | 217 | 17.9 | 231 | 20.6 | 222 | 19.1 |
| 1千万～5千万円未満 | 426 | 36.8 | 416 | 34.3 | 401 | 35.8 | 446 | 38.3 |
| 5千万～1億円未満 | 115 | 9.9 | 112 | 9.2 | 86 | 7.7 | 101 | 8.7 |
| 1億～5億円未満 | 59 | 5.1 | 81 | 6.7 | 102 | 9.1 | 129 | 11.1 |
| 5億～10億円未満 | 8 | 0.7 | 5 | 0.4 | 3 | 0.3 | 7 | 0.6 |
| 10億～50億円未満 | 7 | 0.6 | 6 | 0.5 | 6 | 0.5 | 4 | 0.3 |
| 50億円以上 | - | - | - | - | 1 | 0.1 | 1 | 0.1 |

表 1-1-4 工事規模1億円を境に分類した件数の推移

単位:件、%

| 工事規模 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 1億円未満 | 1084 | 93.6 | 1121 | 92.4 | 1008 | 90.0 | 1023 | 87.9 |
| 1億円以上 | 74 | 6.4 | 92 | 7.6 | 112 | 10.0 | 141 | 12.1 |
| 合計 | 1158 | 100.0 | 1213 | 100.0 | 1120 | 100.0 | 1164 | 100.0 |

4) 08年度の3億円以上の大規模工事の特徴

08年度の変更後契約金額が3億円以上の大規模工事だけを集め一覧表にしたのが表1-1-5である。

合計26件のうち変更後契約金額50億円以上の工事が1件、20億円以上の工事が1件、10億円以上の工事が3件、5億円以上の工事が7件、3億円以上の工事が14件となっている。そのうち、最大規模の工事は「浮島処理センター基幹改良工事」で、JFE環境ソリューションズが50億4千万円で受注している。2007年度では「仮称リサイクルパークあさお整備事業ごみ焼却処理施設建設工事」という発注金額127億7,000万円という突出した大規模工事があったが、川崎市ではこの間、廃棄物処理施設建設で大規模工事が続出している。08年度で目立つのは浮島における廃棄物処理に関わる事業である。「浮島処理センター工事」だけでなく、浮島2期廃棄物埋立護岸工事が5件、変更後契約金額合計で39億円にもなっている。その他大規模工事では水道施設関係が4件で24億円、下水道幹線工事が3件で19億円、道路関係工事が3件で12億円、住宅や学校などの新築、増改築、耐震補強工事が8件で68億円となっている。特に学校新設や耐震補強工事が多く発注されていることは注目される。一方、発注先を見ると全体的に電機・機械メーカーよりもゼネコンに発注しているのが多い。そのうちJVに発注しているのが15件と6割近くにのぼる。この中で市内業者のみのJVは4件で、残り9件は全国規模のゼネコン同士またはゼネコンと市内業者とのJVである。

業者アンケートにおいても市内業者同士のJVを望む声強い（下表「JVについての評価」参照）。建築関係は市内業者同士のJVが多いが、今後学校など公共施設の耐震改修などの事業を増やし、市内業者同士のJVが受注できるよう公共事業政策、入札改善を行なう必要がある。

また、市内業者アンケートにも示されているように大規模工事はできるだけ業種ごとに分離発注する必要がある。電気・機械・設備工事など大手メーカーに発注されるが、施工は小規模な下請業者が行っていることが指摘されている。

表 1-1-5 変更契約金額 3 億円以上の大規模工事

単位:円

| No. | 件名 | 業種名 | 業者所在地 | 変更後契約金額(税込) |
|-----|--------------------------|------|-------|---------------|
| 1 | 浮島処理センター基幹改良工事 | 清掃施設 | 市外 | 5,292,000,000 |
| 2 | 蟹ヶ谷槍ヶ崎住宅新築第5号工事 | 建築 | JV | 2,085,930,000 |
| 3 | 柿生中学校校舎改築工事 | 建築 | JV | 1,627,500,000 |
| 4 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その14工事 | 土木 | JV | 1,255,275,000 |
| 5 | 川崎駅前東西連絡歩道橋上屋その他整備工事ほか | 建築 | JV | 1,247,400,000 |
| 6 | 施設再構築長沢浄水場沈でん池等築造工事 | 水道施設 | JV | 959,700,000 |
| 7 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その13工事 | 土木 | JV | 883,428,000 |
| 8 | 江川1号雨水幹線その5工事 | 下水管 | JV | 813,750,000 |
| 9 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その17工事 | 土木 | JV | 811,839,000 |
| 10 | 入江崎水処理センター改築機械その3工事 | 機械 | 市外 | 794,850,000 |
| 11 | 大師河原7号雨水幹線その2工事 | 下水管 | JV | 617,400,000 |
| 12 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その15工事 | 土木 | 準市 | 554,011,500 |
| 13 | 登戸1号雨水幹線その4工事 | 下水管 | JV | 491,400,000 |

| | | | | |
|----|---|----------|----|-------------|
| 14 | 王禅寺小学校校舎増築その他工事 | 建築 | JV | 470,400,000 |
| 15 | 川崎港海底トンネル本体改良その3工事 | 土木 | JV | 468,300,000 |
| 16 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その18工事 | 土木 | 準市 | 424,830,000 |
| 17 | 新川崎地区都市基盤整備(道路)その6工事ほか | 土木 | JV | 399,000,000 |
| 18 | 幸消防署改築工事 | 建築 | 市内 | 391,979,700 |
| 19 | 高津高等学校ほか3か所耐震補強工事 | 建築 | 市内 | 378,000,000 |
| 20 | 新川崎地区都市基盤整備(道路)その5工事ほか | 土木 | JV | 340,200,000 |
| 21 | 入江崎水処理センター改築電気その2工事 | 電気 | 市外 | 332,850,000 |
| 22 | 仮称有馬・野川地区生涯学習拠点施設新築工事 | 建築 | 市内 | 316,802,850 |
| 23 | 浮島処理センタークレーン設備基幹改良工事 | 機械 | 市外 | 315,000,000 |
| 24 | 蟹ヶ谷檜ヶ崎住宅新築第5号衛生その他設備工事 | 空調・衛生 | JV | 306,600,000 |
| 25 | 入江崎水処理センター建設機械その105工事 | 機械 | 市外 | 301,350,000 |
| 26 | 川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝 1000mm配水管製作及び現場接合その3工事 | 鋼 構造物 | 市外 | 300,825,000 |

(参考) JV についての評価(市内業者アンケートより)

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|---------------------|-----|--------|
| 市内業者同士のJVを増やすべき | 32 | 54.2% |
| JV方式による入札はなくすべき | 9 | 15.3% |
| JVと単独企業との混合入札を増やすべき | 6 | 10.2% |
| 市外業者と市内業者のJVを増やすべき | 3 | 5.1% |
| 無回答 | 9 | 15.3% |
| 合計 | 59 | 100.0% |

(参考) 大規模工事の分離・分割発注についての評価 (市内業者アンケートより)

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|---------------------------------|-----|--------|
| 大規模工事は業種ごとに分離できるものは分離発注すべき | 32 | 54.2% |
| 大規模工事はできるだけ分割して発注すべき | 16 | 27.1% |
| 従来どおり、大規模工事を総価契約で元請業者に発注する方式が良い | 4 | 6.8% |
| 大規模工事は分離・分割発注でなくJV方式にすべき | 1 | 1.7% |
| 無回答 | 6 | 10.2% |
| 合計 | 59 | 100.0% |

(2) 市発注工事の発注部署からみる特徴

1) 発注部署別にみた発注金額の推移と特徴

市発注工事を発注部署別に発注金額の推移をみたのが表1-2-1である。08年度の発注総額617億円に対して最も多く発注している部署はまちづくり局の163億円(発注総額の26.5%)である。この部署は05年度では83億円(同18.3%)であるから4年間で2倍に増加したことになる。この局は再開発などのインフラ整備を担う局であることから言えば市街地再開発事業が大幅に増加していることを意味する。次いで多いのが建設局で08年度143億円(同23.2%)である。06年151億円、07年173億円と増加したが、08年度は05年度142億円と同水準に戻った。建設局は道路や下水道、公園等を整備する部署であるが、主要な投資が都市部に集中しているため、08年度はまちづくり局と事業量が逆転してしまった。次いで多いのが水道局の90億円(同14.6%)である。

表1-2-1 発注部署別発注金額の推移

単位: 百万円、%

| 発注部局 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 財政局 | - | - | 18 | 0.0 | 7 | 0.0 | - | - |
| 環境局 | 5,614 | 12.4 | 2,078 | 4.4 | 15,197 | 23.6 | 7,477 | 12.1 |
| まちづくり局 | 8,304 | 18.3 | 10,724 | 22.8 | 11,710 | 18.2 | 16,337 | 26.5 |
| 建設局 | 14,218 | 31.3 | 15,111 | 32.1 | 17,302 | 26.9 | 14,346 | 23.2 |
| 港湾局 | 4,666 | 10.3 | 5,533 | 11.8 | 5,683 | 8.8 | 6,102 | 9.9 |
| 水道局 | 5,092 | 11.2 | 5,663 | 12.0 | 7,070 | 11.0 | 9,034 | 14.6 |
| 交通局 | 23 | 0.0 | 41 | 0.1 | 33 | 0.1 | 43 | 0.1 |
| 病院局 | 255 | 0.6 | 10 | 0.0 | 31 | 0.0 | 39 | 0.1 |
| 区役所(川崎区) | 1,538 | 3.4 | 959 | 2.0 | 951 | 1.5 | 1,165 | 1.9 |
| 区役所(幸区) | 1,073 | 2.4 | 1,029 | 2.2 | 778 | 1.2 | 2,081 | 3.4 |
| 区役所(中原区) | 823 | 1.8 | 474 | 1.0 | 491 | 0.8 | 961 | 1.6 |
| 区役所(高津区) | 624 | 1.4 | 759 | 1.6 | 1,111 | 1.7 | 595 | 1.0 |
| 区役所(宮前区) | 1,149 | 2.5 | 941 | 2.0 | 741 | 1.2 | 890 | 1.4 |
| 区役所(多摩区) | 895 | 2.0 | 1,081 | 2.3 | 1,301 | 2.0 | 1,309 | 2.1 |
| 区役所(麻生区) | 1,133 | 2.5 | 2,584 | 5.5 | 1,871 | 2.9 | 1,332 | 2.2 |

05年度からの推移をみると少しずつ増加の傾向にある。次いで多いのが環境局の75億円(同12.1%)で07年度に1件128億円の超大型ごみ処理施設が発注されたため急増し、08年度も1件50億円の廃棄物処理センターが発注されているため、年度により増減が激しい。川崎市ではこれら局発注の他に7つある各区が区道の整備・補修を中心にした事業を発注している。08年度を合計すると83億円(同13.6%)になる。05年度72億円(同16.0%)、06年度78億円(同16.6%)、07年度72億円(同11.3%)と毎年70億円～80億円の事業が発注されている。市民の生活環境の整備という面から区道の補修、改善などが行なわれる区発注工事が増加していくことは重要である。

2) 発注部署別に見た発注件数の推移と特徴

表1-2-2は発注部署別発注件数の推移である。また、発注金額を発注件数で除した一件あたりの発注金額をあらわしたのが表1-2-3である。

これをみると、この4年間で一件あたりの発注金額規模が徐々に大きくなってきている。05年度には一件あたり平均3,920万円だったのが、08年度では5,300万円と約1.4倍になっている。各局とも拡大傾向にあるが、特に環境局(1.6倍)、まちづくり局(1.8倍)、港湾局(1.6倍)、水道局(2.1倍)が工事一件の規模を大きく拡大している。

08年度の一件あたりの工事規模の大きい局から順に見ると、港湾局(1億4,880万円)、環境局(1億1,000万円)、建設局(9,200万円)と続き、比較的大規模工事を発注する部署である。逆に工事規模の小さい局からみると、交通局(610万円)、病院局(780万円)および各区の発注工事となる。交通局はバス営業所やバス停の建物の改修や電気工事など小工事が多く発注されている。また各区役所は区道の補修工事や区の施設の改修工事などが発注されている。

表1-2-2 発注部署別発注件数の推移

単位:件数、%

| 発注部署 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1,158 | 100.0 | 1,213 | 100.0 | 1,120 | 100.0 | 1,164 | 100.0 |
| 財政局 | - | - | 2 | 0.2 | 2 | 0.2 | - | - |
| 環境局 | 81 | 7.0 | 72 | 5.9 | 45 | 4.0 | 68 | 5.8 |
| まちづくり局 | 250 | 21.6 | 299 | 24.6 | 233 | 20.8 | 281 | 24.1 |
| 建設局 | 167 | 14.4 | 163 | 13.4 | 168 | 15.0 | 156 | 13.4 |
| 港湾局 | 49 | 4.2 | 47 | 3.9 | 45 | 4.0 | 41 | 3.5 |
| 水道局 | 203 | 17.5 | 181 | 14.9 | 190 | 17.0 | 175 | 15.0 |
| 交通局 | 4 | 0.3 | 9 | 0.7 | 4 | 0.4 | 7 | 0.6 |
| 病院局 | 13 | 1.1 | 2 | 0.2 | 4 | 0.4 | 5 | 0.4 |
| 区役所(川崎区) | 54 | 4.7 | 55 | 4.5 | 58 | 5.2 | 53 | 4.6 |
| 区役所(幸区) | 45 | 3.9 | 56 | 4.6 | 58 | 5.2 | 58 | 5.0 |
| 区役所(中原区) | 53 | 4.6 | 62 | 5.1 | 53 | 4.7 | 60 | 5.2 |
| 区役所(高津区) | 52 | 4.5 | 62 | 5.1 | 60 | 5.4 | 54 | 4.6 |
| 区役所(宮前区) | 65 | 5.6 | 57 | 4.7 | 49 | 4.4 | 56 | 4.8 |
| 区役所(多摩区) | 62 | 5.4 | 74 | 6.1 | 79 | 7.1 | 76 | 6.5 |
| 区役所(麻生区) | 60 | 5.2 | 72 | 5.9 | 72 | 6.4 | 74 | 6.4 |

表 1-2-3 発注部署別一件あたり発注金額の推移

単位:百万円

| 発注部局 | 2005 年度 | 2006 年度 | 2007 年度 | 2008 年度 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|
| 全体 | 39.2 | 38.8 | 57.4 | 53.0 |
| 財政局 | - | 9.2 | 3.5 | - |
| 環境局 | 69.3 | 28.9 | 337.7 | 110.0 |
| まちづくり局 | 33.2 | 35.9 | 50.3 | 58.1 |
| 建設局 | 85.1 | 92.7 | 103.0 | 92.0 |
| 港湾局 | 95.2 | 117.7 | 126.3 | 148.8 |
| 水道局 | 25.1 | 31.3 | 37.2 | 51.6 |
| 交通局 | 5.7 | 4.6 | 8.3 | 6.1 |
| 病院局 | 19.6 | 5.0 | 7.8 | 7.8 |
| 区役所 (川崎区) | 28.5 | 17.4 | 16.4 | 22.0 |
| 区役所 (幸 区) | 23.8 | 18.4 | 13.4 | 35.9 |
| 区役所 (中原区) | 15.5 | 7.6 | 9.3 | 16.0 |
| 区役所 (高津区) | 12.0 | 12.2 | 18.5 | 11.0 |
| 区役所 (宮前区) | 17.7 | 16.5 | 15.1 | 15.9 |
| 区役所 (多摩区) | 14.4 | 14.6 | 16.5 | 17.2 |
| 区役所 (麻生区) | 18.9 | 35.9 | 26.0 | 18.0 |

(3) 市発注工事を地域別に工事場所からみた特徴

1) 地域別にみた発注金額の推移と特徴

川崎市の公共工事が地域別にどのように分布しているかをみたのが表 1-3-1 である。

表 1-3-1 地域別発注金額の推移

単位:百万円、%

| 区別 | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|-----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 川崎区 | 14,155 | 31.2 | 18,389 | 39.1 | 18,731 | 29.1 | 24,897 | 40.3 |
| 幸区 | 6,173 | 13.6 | 5,655 | 12.0 | 7,233 | 11.3 | 7,208 | 11.7 |
| 中原区 | 4,911 | 10.8 | 3,731 | 7.9 | 5,724 | 8.9 | 5,724 | 9.3 |
| 高津区 | 7,195 | 15.8 | 3,532 | 7.5 | 2,630 | 4.1 | 5,810 | 9.4 |
| 宮前区 | 4,170 | 9.2 | 3,455 | 7.4 | 2,482 | 3.9 | 3,666 | 5.9 |
| 多摩区 | 2,946 | 6.5 | 2,986 | 6.4 | 6,814 | 10.6 | 5,812 | 9.4 |
| 麻生区 | 3,103 | 6.8 | 5,871 | 12.5 | 16,997 | 26.4 | 6,215 | 10.1 |
| その他 | 2,753 | 6.1 | 3,386 | 7.2 | 3,666 | 5.7 | 2,379 | 3.9 |

この 4 年間の推移を見ると金額で著しく発注金額を増加させている地域は川崎区である。川崎区は 05 年度の 141 億円から 08 年度 249 億円へと 1.8 倍も発注量を拡大し、他区を大きく引き離し、08 年度は全体発注金額の 40%にも達している。川崎区では臨海部における廃棄物埋立護岸工事など大規模事業が次々と発注されている。次いで 4 年前に比較し発注金額を増加させている地域は麻生区である。麻生区は 05 年度には 31 億円の発注量であったが、07 年度に 1 件 128 億円のごみ焼却処理施設事業という大型工事が発注され、一挙に発注量が拡大し、08 年度には 62 億円と減少したが、そ

れでも 4 年前と比較し 2 倍に増加している。また多摩区もこの 4 年間に 29 億円から 58 億円に発注量を倍加している。幸区と中原区はこの 4 年間で横ばいから微増している。一方、徐々に減少傾向を示しているのが高津区、宮前区である。いずれにしろ川崎市発注工事は臨海部の川崎区に次第に集中しつつあるといえる。

2) 地域別にみた発注件数の推移と特徴

次に発注工事を発注件数でみたのが表 1-3-2 である。そして発注金額を発注件数で除した一件あたりの発注金額の推移を見たのが表 1-3-3 である。

川崎区は 08 年度 250 件の工事を発注しているが、一件あたり平均発注金額が 9,960 万円と 1 億円弱の金額の工事を発注している。いかに大規模工事を中心に発注しているかが伺われる。

表 1-3-2 地域別発注件数の推移

単位：件数、%

| 区別 | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|-----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1,158 | 100.0 | 1,213 | 100.0 | 1,120 | 100.0 | 1,164 | 100.0 |
| 川崎区 | 278 | 24.0 | 268 | 22.1 | 255 | 22.8 | 250 | 21.5 |
| 幸区 | 135 | 11.7 | 145 | 12.0 | 132 | 11.8 | 148 | 12.7 |
| 中原区 | 132 | 11.4 | 140 | 11.5 | 142 | 12.7 | 162 | 13.9 |
| 高津区 | 136 | 11.7 | 146 | 12.0 | 103 | 9.2 | 121 | 10.4 |
| 宮前区 | 159 | 13.7 | 142 | 11.7 | 121 | 10.8 | 141 | 12.1 |
| 多摩区 | 152 | 13.1 | 180 | 14.8 | 182 | 16.3 | 163 | 14.0 |
| 麻生区 | 131 | 11.3 | 141 | 11.6 | 135 | 12.1 | 137 | 11.8 |
| その他 | 35 | 3.0 | 51 | 4.2 | 50 | 4.5 | 42 | 3.6 |

表 1-3-3 地域別一件あたり発注金額の推移

単位：百万円

| 区別 | 2005 年度 | 2006 年度 | 2007 年度 | 2008 年度 |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 全体 | 39.2 | 38.8 | 57.4 | 53.0 |
| 川崎区 | 50.9 | 68.6 | 73.5 | 99.6 |
| 幸区 | 45.7 | 39.0 | 54.8 | 48.7 |
| 中原区 | 37.2 | 26.7 | 40.3 | 35.3 |
| 高津区 | 52.9 | 24.2 | 25.5 | 48.0 |
| 宮前区 | 26.2 | 24.3 | 20.5 | 26.0 |
| 多摩区 | 19.4 | 16.6 | 37.4 | 35.7 |
| 麻生区 | 23.7 | 41.6 | 125.9 | 45.4 |
| その他 | 78.7 | 66.4 | 73.3 | 56.6 |

(4) 市発注工事の発注月別状況

川崎市発注工事が月ごとにどのようにバランスよく発注されているかをみる。

財政の単年度主義により、年度の予算は 4 月から執行される。工事の実施設計や発注手続きの関係から、工事発注は年度後半に偏る傾向がある。また年度予算消化の都合から工事発注が年度末に集中する傾向もある。しかし、公共工事を主に受注することで事業計画を立てている受注業者の立場から見ると、年間切れ目なく仕事が確保さ

れることが望ましい。納税者の立場から見ても年度末に予算消化のためにバタバタと実施する事業のムダが指摘される。

1) 月別にみた発注件数の推移と特徴

表 1-4-1 は発注件数の月別推移をみたものであるが、これを3ヶ月ごとにバランスをみると、08年度では4-6月には12.7%、7-9月には29.5%、10-12月には40.3%、1-3月には17.5%となっている(表 1-4-2)。リーマンショック後の前倒し発注の関係もあり、10-12月の3ヶ月に全体の40%強を発注している。1-3月も加えた年度後半で57.8%と件数では過半数が発注されている。年度後半に発注されている件数の過去4年間の推移をみると、05年度では58.7%、06年度では48.8%、07年度では55.9%と06年度を除きやはり後半に過半数が発注されている。但し08年度は1-3月期に204件、17.6%も発注されており、これまでになく多くなっている。

表 1-4-1 発注月別発注件数の推移

単位: 件数、%

| 区別 項目名 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1145 | 100.0 | 1211 | 100.0 | 1116 | 100.0 | 1164 | 100.0 |
| 4月 | 84 | 7.3 | 129 | 10.7 | 61 | 5.5 | 36 | 3.1 |
| 5月 | 36 | 3.1 | 75 | 6.2 | 45 | 4.0 | 43 | 3.7 |
| 6月 | 78 | 6.8 | 105 | 8.7 | 99 | 8.9 | 69 | 5.9 |
| 7月 | 77 | 6.7 | 118 | 9.7 | 105 | 9.4 | 155 | 13.3 |
| 8月 | 69 | 6.0 | 90 | 7.4 | 88 | 7.9 | 59 | 5.1 |
| 9月 | 129 | 11.3 | 103 | 8.5 | 94 | 8.4 | 129 | 11.1 |
| 10月 | 119 | 10.4 | 151 | 12.5 | 149 | 13.4 | 127 | 10.9 |
| 11月 | 149 | 13.0 | 156 | 12.9 | 139 | 12.5 | 132 | 11.3 |
| 12月 | 235 | 20.5 | 244 | 20.1 | 176 | 15.8 | 210 | 18.0 |
| 1月 | 42 | 3.7 | 22 | 1.8 | 62 | 5.6 | 62 | 5.3 |
| 2月 | 90 | 7.9 | 14 | 1.2 | 49 | 4.4 | 81 | 7.0 |
| 3月 | 37 | 3.2 | 4 | 0.3 | 49 | 4.4 | 61 | 5.2 |

表 1-4-2 四半期別にみた発注件数の推移

単位: 件数、%

| 区別 項目名 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1145 | 100.0 | 1211 | 100.0 | 1116 | 100.0 | 1164 | 100.0 |
| 4~6月 | 198 | 17.3 | 309 | 25.5 | 205 | 18.4 | 148 | 12.7 |
| 7~9月 | 275 | 24.0 | 311 | 25.7 | 287 | 25.7 | 343 | 29.5 |
| 10~12月 | 503 | 43.9 | 551 | 45.5 | 464 | 41.6 | 469 | 40.3 |
| 1~3月 | 169 | 14.8 | 40 | 3.3 | 160 | 14.3 | 204 | 17.5 |

2) 月別にみた発注金額の推移と特徴

一方、これを金額ベースで月別にみたのが表 1-4-3 である。金額ベースもバランスをみるために四半期ごとにみたのが表 1-4-4 である。08年度を見ると4-6月は12.2%、7-9月は21.7%、10-12月は42.6%、1-3月は23.5%となっている。10月以降の年度後半では66.1%と件数以上に年度後半に偏っている。

また、年度後半の発注率を 05 年度からの推移でみると、05 年度は 48.8%、06 年度は 34.9%、07 年度は 74.9% というように 07 年度から急増している。これは「あさお整備工事」が 07 年 12 月に発注されていることなど大規模工事が年度後半に偏った結果である。大規模工事は設計だけでなく周辺住民との調整など手続きに時間を要するため、年度当初から設計に取り掛かるとこの時期に発注が集中することになる。また、08 年度には年度末の 3 月に 103 億円、07 年度も 85 億円と駆け込み発注が行われている。年度予算を消化するため無理な発注がこの時期に行われているようだ。特にリーマンショック後はできるだけ前倒し発注し、翌年度を待たずに発注するよう当局から指示がされていたようだ。しかし、年度内の各月にバランスよく発注する上では、市の計画や設計部署はいつそうの工夫を必要とする。

表 1-4-3 発注月別発注金額の推移

単位：百万円、%

| 項目名 | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,151 | 100.0 | 46,995 | 100.0 | 64,245 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 4 月 | 2,590 | 5.7 | 5,200 | 11.1 | 3,200 | 5.0 | 2,202 | 3.6 |
| 5 月 | 1,217 | 2.7 | 2,212 | 4.7 | 1,065 | 1.7 | 1,271 | 2.1 |
| 6 月 | 3,734 | 8.3 | 9,148 | 19.5 | 3,545 | 5.5 | 4,063 | 6.6 |
| 7 月 | 6,407 | 14.2 | 6,231 | 13.3 | 2,385 | 3.7 | 4,660 | 7.6 |
| 8 月 | 2,417 | 5.4 | 3,997 | 8.5 | 3,098 | 4.8 | 3,328 | 5.4 |
| 9 月 | 6,742 | 14.9 | 3,802 | 8.1 | 2,857 | 4.4 | 5,398 | 8.7 |
| 10 月 | 5,208 | 11.5 | 5,551 | 11.8 | 9,794 | 15.2 | 7,403 | 12.0 |
| 11 月 | 3,967 | 8.8 | 3,291 | 7.0 | 6,517 | 10.1 | 4,810 | 7.8 |
| 12 月 | 5,791 | 12.8 | 6,530 | 13.9 | 20,931 | 32.6 | 14,098 | 22.8 |
| 1 月 | 3,810 | 8.4 | 554 | 1.2 | 1,157 | 1.8 | 2,130 | 3.5 |
| 2 月 | 2,429 | 5.4 | 420 | 0.9 | 1,211 | 1.9 | 2,091 | 3.4 |
| 3 月 | 840 | 1.9 | 60 | 0.1 | 8,483 | 13.2 | 10,257 | 16.6 |

単位：百万円、%

| 項目名 | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|---------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,151 | 100.0 | 46,995 | 100.0 | 64,245 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 4～6 月 | 7,540 | 16.7 | 16,559 | 35.2 | 7,810 | 12.1 | 7,536 | 12.2 |
| 7～9 月 | 15,566 | 34.5 | 14,030 | 29.9 | 8,340 | 13.0 | 13,386 | 21.7 |
| 10～12 月 | 14,966 | 33.1 | 15,372 | 32.7 | 37,243 | 58.0 | 26,311 | 42.6 |
| 1～3 月 | 7,078 | 15.7 | 1,034 | 2.2 | 10,851 | 16.9 | 14,477 | 23.5 |

第2章 2008年度川崎市発注公共工事の受注側からみた特徴

次に、2008年度の川崎市発注公共工事を受注側からその特徴をみていく。そのための資料として2005年度から4年間の公共工事契約データの他に入札参加申請者受理名簿、川崎市建設業協会会員名簿を活用した。

(1) 入札参加申請業者と受注業者との関係

最初に受注業者の全体像を把握するために、この4年間の入札参加申請者と受注業者との関係を市内、準市内、市外業者との関係でみる。(表2-1-1、但し、JVは構成業者に分解した業者数)。入札参加申請は2年に一度であるため、05年度と06年度、07年度と08年度は同一である。基本的に入札参加申請者数はこの4年間ではほとんど変化がない。一方、受注業者数は全体で05年度483社(入札参加申請業者数の24.4%)、06年度503社(同25.4%)、07年度447社(同22.6%)、08年度450社(同22.7%)と、入札参加申請者に対する受注業者比率はほぼ20%~25%になっている。06年度は25.4%と受注業者比率が高く、05年度、06年度に対して07年度、08年度は若干低くなっている。

表2-1-1

入札参加申請者数と受注業者との関係

単位:業者、%

| | 区分 | 入札参加 申請業者数 | 受注 業者数 | 受注 比率 |
|----------|-----|---------------|-----------|----------|
| 05 年度 | 全体 | 1981 | 483 | 24.4 |
| | 市内 | 764 | 365 | 47.8 |
| | 準市内 | 244 | 52 | 21.3 |
| | 市外 | 973 | 63 | 6.5 |
| | 不明 | - | 3 | - |
| 06 年度 | 全体 | 1981 | 503 | 25.4 |
| | 市内 | 764 | 380 | 49.7 |
| | 準市内 | 244 | 53 | 21.7 |
| | 市外 | 973 | 69 | 7.1 |
| | 不明 | - | 1 | - |
| 07 年度 | 全体 | 1979 | 447 | 22.6 |
| | 市内 | 763 | 324 | 42.5 |
| | 準市内 | 243 | 55 | 22.6 |
| | 市外 | 973 | 68 | 7.0 |
| | 不明 | - | - | - |
| 08 年度 | 全体 | 1979 | 450 | 22.7 |
| | 市内 | 763 | 332 | 43.5 |
| | 準市内 | 243 | 47 | 19.3 |
| | 市外 | 973 | 69 | 7.1 |
| | 不明 | - | 2 | - |

(参考)事業経営上の悩み

(市内業者アンケートより)

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| 受注価格の低下 | 43 | 26.1% |
| 受注量の減少 | 41 | 24.8% |
| 今後の公共工事の減少 | 21 | 12.7% |
| 今後の民間工事の減少 | 12 | 7.3% |
| 建設産業の見通しが不明 | 10 | 6.1% |
| 優秀な技術者不足 | 9 | 5.5% |
| 後継者難 | 6 | 3.6% |
| 熟練技能者不足 | 5 | 3.0% |
| コストダウンが困難 | 5 | 3.0% |
| 金融機関の貸し渋り | 4 | 2.4% |
| 赤字工事が多く利益が減少 | 4 | 2.4% |
| 資金繰りの困難 | 3 | 1.8% |
| 人員の過剰 | 1 | 0.6% |
| 回収不能の売掛金の増加 | 1 | 0.6% |
| 技術や制度の変化についていけない | 0 | 0.0% |
| 合計 | 165 | 100.0% |

次に、受注業者数を地域区分毎でみると、市内業者は05年度365社(入札参加申請者の47.8%)、06年度380社(同49.7%)、07年度324社(同42.5%)、08年度

332社（同43.5%）と市内受注業者は市内入札参加申請者の40%強～50%弱を占めている。特に06年度は380社と入札参加申請者のうちほぼ半数の業者が1件以上の受注をしている。しかし、逆にみると、川崎市に対し入札参加申請を提出し受理された市内業者のうち1年間に1件も受注できなかった業者が5割強～6割弱存在することになる。市外業者や準市内業者は入札参加申請者数に対する受注業者の割合は市外業者で6～7%、準市内業者で19%～23%と市内業者に比べ受注業者割合が少ないが、彼らにとっては川崎市の公共工事は全国的な受注の一部に過ぎない。しかし、市内業者は市外工事以上に市発注工事に大きく依存しており、厳しい経済不況の中、市内の民間建設投資が落ち込む状況にもかかわらず、公共工事の受注ができないことは市内業者の経営に大きな痛手を蒙らせることになる。市内業者へのアンケート調査の中で「事業経営上の悩み」という質問では「受注量の減少」（24.8%）、「今後の公共工事の減少」（12.7%）、「今後の民間工事の減少」（7.3%）と、この3項目合計で45%を占めている。現在の受注量の減少とともに今後の公共・民間工事の減少見込みに経営上の強い危機意識を抱いていることが伺われる。

（2）受注業者の資本金階層からみた特徴

1）業者資本金階層別にみた受注金額の推移と特徴

05年度から4年間の各年度の工事契約総額を資本金階層およびJVで区分し、階層別に受注金額をあらわしたのが表2-2-1である。4年間の推移をみると、資本金1千万円未満の小零細業者の受注総金額は一貫して10億円にも満たず、構成比率では2%にもならない。また、資本金1千万～5千万円の中小・中堅業者の階層では05年度166億円（総金額の36.5%）、06年度172億円（同36.7%）、07年度145億円（同22.5%）とほぼ150億円前後の横ばい状況であったが、08年度は221億円（同35.7%）と受注金額を伸ばしている。しかし、受注総金額に占める構成比率では35%超で05年度とほぼ同率である。その中でも資本金1千万～3千万円の階層は確かに金額では徐々に増加しているが、構成比率では必ずしも増加傾向ではなく、横ばいないし減少の傾向と見られる。この階層は市内に拠点を置く中小業者であるが、大手業者の受注量の増加に比較し停滞しているといえる。

一方、資本金5千万～1億円、および1億～10億円の階層は比較的受注金額が少なく、両階層を合計しても05年度50億円、06年度73億円、07年度70億円、08年度76億円と少しずつ増加しているが、100億円に満たない状況である。これに対して資本金10億～50億円および50億円以上の階層はジグザグがあるが、大きく受注量を伸ばしている。両階層を合計してみると、05年度121億円（26.7%）、06年度74億円（15.7%）、07年度246億円（38.2%）、08年度124億円（20.2%）となっている。

特に07年度は大規模工事が大手業者に発注されたため、急増しているが、それを除いても、06年度を除き毎年度120億円以上の工事を大手業者が受注している。さらに注目すべきはJVでの受注が次第に増加していることである。JVでの受注金額をみると、05年度109億円（24.0%）、06年度145億円（30.9%）、07年度174億円（27.1%）、08年度186億円（30.2%）とこの4年間だけでも78億円も増加している。JVによ

る受注詳細は後ほどみるとして、比較的大規模工事をJVによって施工するという政策が進行しているように見える。しかし、市内業者へのアンケート結果では、大規模工事をJVで発注する方式には必ずしも評価が高くない。むしろ業種ごとに分離発注することを望んでいる。また、JV発注する場合でも市外業者と市内業者とのJV工事に対しては評価が低く、市内業者同士のJVにすべきという意見が強い。

次に、08年度の資本金別受注金額を市内・準市内・市外・JV別に分類したのが表2-2-2である。これで見ると資本金1億円未満では受注金額の80%以上を市内業者が受注している。資本金1億～50億円では75%～90%を市外業者が受注している。さらに資本金50億円以上になると準市内業者(72%)と市外業者(28%)で分け合っている状況である。

表 2-2-1 市発注公共工事の資本金階層及びJV別受注金額の推移 単位:百万円、%

| 資本金 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 5百万円未満 | 472 | 1.0 | 312 | 0.7 | 486 | 0.8 | 685 | 1.1 |
| 5百～1千万円未満 | 385 | 0.8 | 300 | 0.6 | 296 | 0.5 | 274 | 0.4 |
| 1千～3千万円未満 | 9,105 | 20.1 | 10,156 | 21.6 | 8,241 | 12.8 | 10,706 | 17.3 |
| 3千～5千万円未満 | 7,456 | 16.4 | 7,091 | 15.1 | 6,233 | 9.7 | 11,363 | 18.4 |
| 5千万～1億円未満 | 2,916 | 6.4 | 4,396 | 9.4 | 2,928 | 4.6 | 2,913 | 4.7 |
| 1億～10億円未満 | 2,060 | 4.5 | 2,870 | 6.1 | 4,061 | 6.3 | 4,678 | 7.6 |
| 10億～50億円未満 | 1,574 | 3.5 | 1,412 | 3.0 | 3,049 | 4.7 | 7,256 | 11.8 |
| 50億円以上 | 10,518 | 23.2 | 5,954 | 12.7 | 21,555 | 33.5 | 5,160 | 8.4 |
| JV | 10,892 | 24.0 | 14,508 | 30.9 | 17,425 | 27.1 | 18,644 | 30.2 |
| 不明 | 29 | 0.1 | 7 | 0.0 | 4 | 0.0 | 33 | 0.1 |

表 2-2-2 資本金階層別受注金額の市内・準市内・市外・JV 別分類

単位：百万円

| | | 全体 | 市内 | 準市内 | 市外 | JV | 無回答 |
|-----------------------|---------------|-------|-------|------|-------|-------|-----|
| 資 本 金 区 分 | 全体 | 61710 | 25197 | 4614 | 13223 | 18644 | 33 |
| | | 100.0 | 40.8 | 7.5 | 21.4 | 30.2 | 0.1 |
| | 500万円未満 | 685 | 675 | - | 10 | - | - |
| | | 100.0 | 98.6 | - | 1.4 | - | - |
| | 500～1000万円未満 | 274 | 274 | - | - | - | - |
| | | 100.0 | 100.0 | - | - | - | - |
| | 1000～3000万円未満 | 10706 | 10561 | 18 | 127 | - | - |
| | | 100.0 | 98.6 | 0.2 | 1.2 | - | - |
| | 3000～5000万円未満 | 11363 | 10265 | 41 | 1057 | - | - |
| | | 100.0 | 90.3 | 0.4 | 9.3 | - | - |
| | 5000万～1億円未満 | 2913 | 2450 | 59 | 403 | - | - |
| | | 100.0 | 84.1 | 2.0 | 13.9 | - | - |
| | 1～10億円未満 | 4678 | 961 | 194 | 3523 | - | - |
| | | 100.0 | 20.5 | 4.1 | 75.3 | - | - |
| | 10～50億円未満 | 7256 | - | 606 | 6651 | - | - |
| | | 100.0 | - | 8.3 | 91.7 | - | - |
| | 50億円以上 | 5160 | 11 | 3696 | 1453 | - | - |
| | | 100.0 | 0.2 | 71.6 | 28.2 | - | - |
| | JV | 18644 | - | - | - | 18644 | - |
| | | 100.0 | - | - | - | 100.0 | - |
| 無回答 | 33 | - | - | - | - | 33 | |
| | 100.0 | - | - | - | - | 100.0 | |

(参考) 大規模工事の発注方式の評価(市内業者アンケートより)

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|---------------------------------|-----|--------|
| 大規模工事は業種ごとに分離できるものは分離発注すべき | 32 | 54.2% |
| 大規模工事はできるだけ分割して発注すべき | 16 | 27.1% |
| 従来どおり、大規模工事を総価契約で元請業者に発注する方式が良い | 4 | 6.8% |
| 大規模工事は分離・分割発注でなくJV方式にすべき | 1 | 1.7% |
| 無回答 | 6 | 10.2% |
| 合計 | 59 | 100.0% |

(参考) JV についての評価(市内業者アンケートより)

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|---------------------|-----|--------|
| 市内業者同士のJVを増やすべき | 32 | 54.2% |
| JV方式による入札はなくすべき | 9 | 15.3% |
| JVと単独企業との混合入札を増やすべき | 6 | 10.2% |
| 市外業者と市内業者のJVを増やすべき | 3 | 5.1% |
| 無回答 | 9 | 15.3% |
| 合計 | 59 | 100.0% |

2) 業者資本金階層別にみた受注件数の推移と特徴

一方、川崎市発注工事を資本金別に受注件数でみると、08年度では資本金1千万～3千万円の階層が537件（総件数の46.1%）と半数近くを占めている。この4年間においても若干のジグザグがあるが、同様の傾向を示している。それに続くのが資本金3千万～5千万円の階層で全体件数の20%前後を示している。市発注工事は基本的にこの資本金クラスに重点化して発注されていることがわかる（表2-2-3）。

表 2-2-3 市発注公共工事の資本金階層及びJV別受注件数の推移

単位：件数、%

| 資本金 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1158 | 100.0 | 1213 | 100.0 | 1120 | 100.0 | 1164 | 100.0 |
| 5百万円未満 | 47 | 4.1 | 44 | 3.6 | 59 | 5.3 | 75 | 6.4 |
| 5百～1千万円未満 | 42 | 3.6 | 41 | 3.4 | 35 | 3.1 | 37 | 3.2 |
| 1千～3千万円未満 | 562 | 48.5 | 603 | 49.7 | 497 | 44.4 | 537 | 46.1 |
| 3千～5千万円未満 | 238 | 20.6 | 222 | 18.3 | 212 | 18.9 | 243 | 20.9 |
| 5千万～1億円未満 | 57 | 4.9 | 79 | 6.5 | 63 | 5.6 | 54 | 4.6 |
| 1億～10億円未満 | 75 | 6.5 | 86 | 7.1 | 93 | 8.3 | 75 | 6.4 |
| 10億～50億円未満 | 30 | 2.6 | 30 | 2.5 | 38 | 3.4 | 24 | 2.1 |
| 50億円以上 | 72 | 6.2 | 63 | 5.2 | 62 | 5.5 | 58 | 5.0 |
| JV | 31 | 2.7 | 43 | 3.5 | 60 | 5.4 | 59 | 5.1 |
| 不明 | 4 | 0.3 | 2 | 0.2 | 1 | 0.1 | 2 | 0.2 |

3) 業者資本金階層別みた一件あたりの受注金額の推移と特徴

受注金額を件数で除して一件あたりの受注金額を資本金階層別に示したのが表2-2-4である。基本的に資本金階層が高くなるほど1件あたりの金額は大きくなるが、一貫して一件3億円前後を受注しているのがJVである。

逆に、資本金1千万円未満階層では一件1千万円未満の工事しか受注できない状況にある。

表 2-2-4 資本金別1件当たり契約金額

単位：百万円

| 資本金 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 39.2 | 38.8 | 57.4 | 53.0 |
| 5百万円未満 | 10.0 | 7.1 | 8.2 | 9.1 |
| 5百～1千万円未満 | 9.2 | 7.3 | 8.5 | 7.4 |
| 1千～3千万円未満 | 16.2 | 16.8 | 16.6 | 19.9 |
| 3千～5千万円未満 | 31.3 | 31.9 | 29.4 | 46.8 |
| 5千万～1億円未満 | 51.2 | 55.6 | 46.5 | 53.9 |
| 1億～10億円未満 | 27.5 | 33.4 | 43.7 | 62.4 |
| 10億～50億円未満 | 52.5 | 47.1 | 80.2 | 302.3 |
| 50億円以上 | 146.1 | 94.5 | 347.7 | 89.0 |
| JV | 351.4 | 337.4 | 290.4 | 316.0 |
| 不明 | 7.3 | 3.6 | 3.6 | 16.7 |

4) 全国の市区町村との比較からみた 08 年度の資本金階層別受注金額構成比

08 年度の川崎市の資本金階層別構成比（J V と不明を除外して構成比を算出）を全国の市区町村との比較でみると、金額ベースでは資本金 1 千万円未満の小零細業者の比率は川崎が 2.2% に対し、全国は 2.4% と若干全国の比率が高い。また 1 千万～3 千万円の中小業者の比率では川崎市が 24.9% に対し、全国は 26.3% とやはり若干全国の比率が高い。また、資本金 3 千万～5 千万円の中堅業者では川崎市が 26.4% に対し、全国は 19.8% と 7 ポイントほど川崎市が高い。さらに資本金 5 千万円～10 億円の手当では川崎市 15.5% に対し全国は 24.6% と全国が高い。そして 10 億円以上の全国大手では川崎市が 23.8% に対し、全国は 26.9% と若干全国が多い。

このように、川崎市の公共工事は全国市区町村に比較し、地域の中小零細業者向けは若干少なく、中堅業者向けにはかなり高い。また大手業者向けでは全国市区町村がかなり高いという状況にある。但し、川崎市では J V の金額を除外したが、全国の市区町村では J V の処理が不明である。

表 2-2-5

2008 年度川崎市と全国の市区町村発注工事の資本金別受注金額と件数の比較表

単位：百万円・%

| 資本金 | 川崎市 | | 全国市区町村 | | 川崎市 | | 全国市区町村 | |
|-----------|--------|-------|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 43,033 | 100.0 | 2,476,046 | 100.0 | 1,103 | 100.0 | 61,496 | 100.0 |
| 5 百万円未満 | 685 | 1.6 | 5,352 | 0.3 | 75 | 6.8 | 389 | 0.6 |
| 5 百～1 千万円 | 274 | 0.6 | 52,209 | 2.1 | 37 | 3.4 | 3,438 | 5.6 |
| 1 千～3 千万円 | 10,706 | 24.9 | 652,095 | 26.3 | 537 | 48.7 | 28,691 | 46.7 |
| 3 千～5 千万円 | 11,363 | 26.4 | 489,720 | 19.8 | 243 | 22.0 | 13,720 | 22.3 |
| 5 千万～1 億円 | 2,913 | 6.8 | 315,015 | 12.7 | 54 | 4.9 | 6,779 | 11.0 |
| 1～10 億円 | 4,678 | 10.9 | 294,388 | 11.9 | 75 | 6.8 | 4,027 | 6.5 |
| 10～50 億円 | 7,256 | 16.8 | 152,142 | 6.1 | 24 | 2.2 | 1,358 | 2.2 |
| 50 億円以上 | 5,160 | 12.0 | 515,125 | 20.8 | 58 | 5.2 | 3,095 | 5.0 |

出所：国土交通省「2008 年度建設工事受注動態統計調査報告」

（但し、川崎市は J V と不明を除外する）

5) 08年度の資本金階層別受注構成比の横浜市との比較

表 2-2-6 は 08 年度の資本金階層別受注金額、件数、一件当たりの金額を横浜市の 08 年度の実態と比較したものである。

表 2-2-6 横浜市と比較した資本金別契約金額・件数・1 件当たり金額

単位：百万円・件・%

| | 金額 | | | | 件数 | | | | 1 件当たり金額 | |
|-----------|--------|---------|---------|---------|------|---------|------|---------|----------|-------|
| | 川崎市 | | 横浜市 | | 川崎市 | | 横浜市 | | 川崎市 | 横浜市 |
| | 金額 | 構成比 (%) | 金額 | 構成比 (%) | 件数 | 構成比 (%) | 件数 | 構成比 (%) | 1 件平均 | 1 件平均 |
| 全体 | 61,710 | 100.0 | 141,527 | 100.0 | 1164 | 100.0 | 3419 | 100.0 | 53.0 | 41.4 |
| 5 百万円未満 | 685 | 1.1 | 1,753 | 1.2 | 75 | 6.4 | 168 | 4.9 | 9.1 | 10.4 |
| 5 百～1 千万円 | 274 | 0.4 | 1,578 | 1.1 | 37 | 3.2 | 170 | 5.0 | 7.4 | 9.3 |
| 1 千～3 千万円 | 10,706 | 17.3 | 33,010 | 23.3 | 537 | 46.1 | 1663 | 48.6 | 19.9 | 19.8 |
| 3 千～5 千万円 | 11,363 | 18.4 | 18,328 | 13.0 | 243 | 20.9 | 474 | 13.9 | 46.8 | 38.7 |
| 5 千万～1 億円 | 2,913 | 4.7 | 22,583 | 16.0 | 54 | 4.7 | 422 | 12.3 | 53.9 | 53.5 |
| 1～10 億円 | 4,678 | 7.6 | 13,916 | 9.8 | 75 | 6.4 | 276 | 8.1 | 62.4 | 50.4 |
| 10～50 億円 | 7,256 | 11.8 | 7,215 | 5.1 | 24 | 2.1 | 58 | 1.7 | 302.3 | 124.4 |
| 50 億円以上 | 5,160 | 8.4 | 14,006 | 9.9 | 58 | 5.0 | 138 | 4.0 | 89.0 | 101.5 |
| JV | 18,644 | 30.2 | 28,809 | 20.4 | 59 | 5.1 | 47 | 1.4 | 316.0 | 613.0 |
| 不明 | 33 | 0.1 | 328 | 0.2 | 2 | 0.2 | 3 | 0.1 | 16.7 | 109.2 |

金額ベースでは資本金 1 千万円未満では川崎市の 1.5%に対して横浜市が 2.3%と双方とも受注量は小額である。資本金 1 千万～3 千万円の中小業者階層では川崎市の 17.3%に対し、横浜市は 23.3%と横浜市の構成比が上回っている。さらに資本金 5 千万～10 億円の階層では川崎市が 12.3%に対し、横浜市が 25.8%とやはり横浜市の構成比が大きく上回っている。一方、JVでの受注金額は川崎市が 30.2%あるのに対し、横浜市は 20.4%という状況である。

次に受注工事一件当たりの金額をみると、全体では川崎市の 5,300 万円に対し、横浜市は 4,140 万円と比較的小規模である。特に横浜市は資本金 10 億～50 億円の大手業者に対して一件当たり 1 億 2,440 万円と川崎市の 3 億 230 万円に対して比較的小規模な工事となっている。また川崎市の JV が一件 3 億 1,600 万円に対して横浜市では 6 億 1,300 万円と 2 倍近い大規模工事となっている。

6) 08 年度資本金階層別業者の工事規模別受注件数の状況

08 年度の川崎市発注工事について一件あたり工事規模毎にみた件数を資本金階層別に各階層がどの規模の工事を何件受注しているかをみたのが表 2-2-7 である。工事規模 1 千万円未満の小規模工事は 472 件（全体件数の 40.7%）あるが、資本金 1 千万円未満の小零細業者はこのうち 83 件（17.6%）を受注、資本金 1 千万～5 千万円の中小業者が 325 件（68.9%）受注している。これをみても小規模工事を小零細業者が受注できる仕組みになっていないことがうかがわれる。

表 2-2-7 資本金階層別と工事規模別件数

単位：件、%

| 工事規模 資本金 | 全体 | 50万円未満 | 50万円～100万円 | 100万円～500万円 | 500万円～1000万円 | 1000万円～5000万円 | 5000万円～1億円 | 1億円～5億円 | 5億円～10億円 | 10億円～50億円 | 50億円以上 |
|-------------|--------|--------|------------|-------------|--------------|---------------|------------|---------|----------|-----------|--------|
| | 全体（件数） | 1164 | 3 | 19 | 232 | 222 | 446 | 101 | 129 | 7 | 4 |
| 全体（比率） | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 500万円未満 | 75 | 1 | 2 | 28 | 23 | 20 | 1 | - | - | - | - |
| ～1000万円未満 | 37 | 1 | 2 | 17 | 9 | 8 | - | - | - | - | - |
| ～3000万円未満 | 537 | 1 | 9 | 129 | 135 | 217 | 26 | 20 | - | - | - |
| ～5000万円未満 | 243 | - | 3 | 26 | 24 | 121 | 38 | 31 | - | - | - |
| ～1億円未満 | 54 | - | - | 5 | 9 | 21 | 9 | 10 | - | - | - |
| ～10億円未満 | 75 | - | 2 | 17 | 12 | 23 | 6 | 14 | 1 | - | - |
| ～50億円未満 | 24 | - | - | 2 | 2 | 9 | 3 | 7 | - | - | 1 |
| 50億円以上 | 58 | - | - | 7 | 6 | 18 | 11 | 15 | 1 | - | - |
| JV | 59 | - | 1 | 1 | 2 | 7 | 7 | 32 | 5 | 4 | - |
| 不明 | 2 | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - |

一方、一件あたり工事規模1億円以上の件数は141件（全体件数の12.2%）あるが、資本金1千万円未満の業者は1件も受注していないのは仕方がないとしても、資本金1千万～5千万円の業者が51件（同36.1%）で、残り90件は資本金5千万円以上の業者およびJVにより受注されている。特にJVはこのうち41件（29.1%）を受注している。このクラスの規模の工事を資本金5千万円未満業者に分離発注方式に切り替えることを考える必要がある。

（3）受注業者の市内外別分類からみたいくつかの特徴

1）市内、準市内、市外、JV別にみた受注金額の特徴

川崎市は受注業者を地域別に3種類に区分している。川崎市内に本社を持つ業者を市内業者、本社は市外だが市内に支店ないし営業所を持つ業者を準市内業者、本社、支店・営業所とも市内に持たない業者を市外業者と区分している。これにJVを加えた4区分に業者を分類し受注金額をみたのが表2-3-1である。まず08年度をみよ。全体受注金額617億円を4区分別にみると、市内業者の受注金額は252億円で全体金額の40.8%を占め、次いでJVが186億円（30.2%）、市外が132億円（21.4%）と続き、準市内は46億円（7.5%）と少ない。一応市内業者の受注金額が4割程度を占めている。

これを2005年度からの推移で見ると、全体金額が05年度、06年度に対し、07年度、08年度が大きく増加しているが、この増加分を吸収したのが市外業者およびJVである。市外業者は06年度49億円に対し、07年度174億円と一挙に3.5倍に増加した。

またJVは05年度の109億円から毎年度増加し、08年度は186億円と05年度の1.7倍にまで達している。これに対し、準市内業者は07年度大きく増加したが、08年度は大きく落ち込み05年度より縮小している。市内業者は05年度204億円から06年度223億円に増加したが、07年度181億円と落ち込み、08年度252億円へと回復している。しかし、構成比率で推移をみると05年度45.2%から08年度40.8%へと減少傾向を示している。市外業者、JVの拡大とともに市内業者の受注金額は相対的に縮小しているといえる。

表 2-3-1 市内、準市内、市外、JV別にみた受注金額の推移

単位：百万円、%

| 区分 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 市内 | 20,607 | 45.4 | 22,261 | 47.4 | 18,084 | 28.1 | 25,197 | 40.8 |
| 準市内 | 4,939 | 10.9 | 5,298 | 11.3 | 11,311 | 17.6 | 4,614 | 7.5 |
| 市外 | 8,939 | 19.7 | 4,932 | 10.5 | 17,457 | 27.2 | 13,223 | 21.4 |
| JV | 10,892 | 24.0 | 14,508 | 30.9 | 17,425 | 27.1 | 18,644 | 30.2 |
| 不明 | 29 | 0.1 | 7 | 0.0 | - | - | 33 | 0.1 |

2) JVを構成業者ごとに分解した市内、準市内、市外別受注金額の特徴

拡大しているJVを各構成業者に分解してみるとどうなるだろうか。

表 2-3-2 はJV受注を各業者の構成比率をもとに業者の受注金額に分解し、市内、準市内、市外に振り分け、単独受注分に加算したものである。

JV受注を市内、準市内、市外に分解した金額をみると、JVが準市内業者と市内業者との組み合わせが多いため、準市内業者と市内業者の受注金額を大きく増加させている。市内業者のJV受注金額は05年度の45億円（受注合計の18.1%）から06年度64億円（同22.3%）、07年度115億円（同38.9%）、08年度105億円（同29.5%）と、07年度から急激にJV受注を増加させている。また、準市内業者は05年度の62億円（同55.6%）から06年度77億円（同59.4%）、07年度50億円（同30.5%）、08年度75億円（同61.9%）と07年度を除き次第にJV受注比率を高め、JV受注が単独受注を上回っている。

そのため、単独受注とJV受注を加算した受注金額は、市内業者では05年度の252億円（受注総額の55.4%）から06年度286億円（同60.9%）、07年度295億円（同45.9%）、08年度357億円（同58.0%）へと増加傾向を示し、07年度を除き、受注総額の過半を市内業者が占めるに至っている。

また、準市内業者の単独とJVの加算金額では05年度111億円（受注総額の24.5%）から06年度130億円（27.7%）、07年度163億円（同25.3%）、08年度121億円（同19.7%）とJV受注が全体受注に大きく貢献している。

但し、JV受注の場合、市内業者はJVの幹事会社ではなくサブ業者となるため、幹事会社にスポンサーメリットを取られ、利益面ではさほど貢献しないという問題がある。一方、幹事会社となる準市内業者は受注構成比率以上に利益面等では有利な立場になり、準市内業者にとってはJV受注が市発注工事の中心になっていることがうかがわれる。

表 2-3-2 JV受注を構成業者に分解した場合の
市内、準市内、市外別受注金額の推移

単位：百万円

| | 業者所在地 | 単独受注 | JV受注 | 計 | % | JV比率 |
|------|-------|--------|--------|--------|-------|------|
| 05年度 | 市内業者 | 20,607 | 4,543 | 25,150 | 55.4 | 18.1 |
| | 準市内業者 | 4,939 | 6,193 | 11,133 | 24.5 | 55.6 |
| | 市外業者 | 8,939 | 156 | 9,095 | 20.0 | 1.7 |
| | 合計 | 34,485 | 10,892 | 45,377 | 100.0 | 24.0 |
| 06年度 | 市内業者 | 22,262 | 6,380 | 28,642 | 60.9 | 22.3 |
| | 準市内業者 | 5,298 | 7,740 | 13,038 | 27.7 | 59.4 |
| | 市外業者 | 4,933 | 386 | 5,318 | 11.3 | 7.2 |
| | 合計 | 32,493 | 14,505 | 46,998 | 100.0 | 30.9 |
| 07年度 | 市内業者 | 18,046 | 11,478 | 29,524 | 45.9 | 38.9 |
| | 準市内業者 | 11,288 | 4,963 | 16,250 | 25.3 | 30.5 |
| | 市外業者 | 17,421 | 1,080 | 18,501 | 28.8 | 5.8 |
| | 合計 | 46,755 | 17,521 | 64,276 | 100.0 | 27.3 |
| 08年度 | 市内業者 | 25,237 | 10,542 | 35,779 | 58.0 | 29.5 |
| | 準市内業者 | 4,621 | 7,517 | 12,138 | 19.7 | 61.9 |
| | 市外業者 | 13,244 | 516 | 13,760 | 22.3 | 3.8 |
| | 合計 | 43,102 | 18,575 | 61,677 | 100.0 | 30.1 |

3) 市内、準市内、市外、JV別にみた受注件数の特徴

08年度発注工事を市内、準市内、市外、JVに分類し受注件数をみる（表 2-3-3）と、市内業者が921件と全体件数の79.1%を占め、市内業者が圧倒的多数の工事を受注していることがわかる。05年度からの推移を見ても市内業者が80%前後を占め、件数で見ると、市発注工事は市内業者優先発注が行なわれているといえる。

さらに、JVを構成業者ごとに分解し、準市内：市内：市内のJVの場合、準市内1件、市内2件という具合に全体受注件数を再集計したのが表 2-3-4 である。これで見ると市内業者の受注件数合計は05年度980件（全体の82.2%）、06年度1047件（83.0%）、07年度953件（80.1%）、08年度1008件（82.2%）と構成比は年度ごとにほぼ横ばいに推移し、市内業者の受注件数は80～83%と件数では極めて安定した比率を占めているといえる。

表 2-3-3 市内、準市内、市外、JV別にみた受注件数の推移

単位：件、%

| 区分 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1,158 | 100.0 | 1,213 | 100.0 | 1,120 | 100.0 | 1,164 | 100.0 |
| 市内 | 939 | 81.1 | 977 | 80.5 | 850 | 75.9 | 921 | 79.1 |
| 準市内 | 73 | 6.3 | 71 | 5.9 | 99 | 8.8 | 62 | 5.3 |
| 市外 | 111 | 9.6 | 120 | 9.9 | 111 | 9.9 | 120 | 10.3 |
| JV | 31 | 2.7 | 43 | 3.5 | 60 | 5.4 | 59 | 5.1 |
| 不明 | 4 | 0.3 | 2 | 0.2 | - | - | 2 | 0.2 |

表 2-3-4 JV受注を構成業者に分解した場合の
市内、準市内、市外別受注金額の推移

単位：件、%

| 年度 | J V工 件数 | 市内外別 | J V 件数 | 単 独 件 数 | 合 計 件 数 | 件 数 構 成 比 |
|--------------|------------|-------|-----------|------------------|------------------|-----------------------|
| 05 年 度 | 31 | 市内業者 | 41 | 939 | 980 | 82.2 |
| | | 準市内業者 | 27 | 73 | 100 | 8.4 |
| | | 市外業者 | 1 | 111 | 112 | 9.4 |
| | | 合計 | 69 | 1123 | 1,192 | 100.0 |
| 06 年 度 | 43 | 市内業者 | 70 | 977 | 1,047 | 83.0 |
| | | 準市内業者 | 21 | 71 | 92 | 7.3 |
| | | 市外業者 | 2 | 120 | 122 | 9.7 |
| | | 合計 | 93 | 1168 | 1,261 | 100.0 |
| 07 年 度 | 60 | 市内業者 | 103 | 850 | 953 | 80.1 |
| | | 準市内業者 | 19 | 99 | 118 | 9.9 |
| | | 市外業者 | 8 | 111 | 119 | 10.0 |
| | | 合計 | 130 | 1060 | 1,190 | 100.0 |
| 08 年 度 | 59 | 市内業者 | 87 | 921 | 1,008 | 82.2 |
| | | 準市内業者 | 33 | 62 | 95 | 7.7 |
| | | 市外業者 | 3 | 120 | 123 | 10.1 |
| | | 合計 | 123 | 1103 | 1,226 | 100.0 |

4) 工事規模別にみた市内、準市内、市外業者の受注件数の特徴

08年度の全体受注件数は1,164件あるが、これを一件あたり工事規模別に分類した結果は第1章において報告したが、これが市内、準市内、市外別にどのように受注されているかをみたのが表2-3-5である。

市内業者は921件のうち5百万円未満の小規模工事を214件(この規模の総件数254件の77.2%)、5百万～1千万円規模工事を198件(この規模の総件数222件の89.2%)、1千万～5千万円規模工事を373件(この規模の総件数446件の83.6%)、さらに5千万～1億円規模工事を77件(この規模の総件数101件の76.2%)、1億～5億円規模工事を59件(この規模の総件数129件の45.7%)受注している。このように市内業者は一件1億円未満工事については75%以上の受注占有率を示している。しかし、1億～5億円では5割未満の受注占有率となり、5億円規模以上の工事はまったく受注することができていない。5億円以上の工事は全体で12件しかないが、このうちJVが9件受注している。

表 2-3-5

2008年度の工事件数を工事規模別、市内・準市内・市外・JV別クロス表

単位：件、%

| 1件当り 工事金額→ | 全 体 | 50 万 円 未 満 | 50 万 円 ～ 1 万 円 | 1 万 円 ～ 5 万 円 | 5 万 円 ～ 1 0 万 円 | 1 0 万 円 ～ 5 0 万 円 | 5 0 万 円 ～ 1 0 0 万 円 | 1 0 0 万 円 ～ 5 0 0 万 円 | 5 0 0 万 円 ～ 1 0 0 0 万 円 | 1 0 0 0 万 円 ～ 5 0 0 0 万 円 | 5 0 0 0 万 円 以 上 |
|---------------|--------|------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---|--|---|--|---|--------------------------------------|
| 全体 | 1,164 | 3 | 19 | 232 | 222 | 446 | 101 | 129 | 7 | 4 | 1 |
| | 100.0 | 0.3 | 1.6 | 19.9 | 19.1 | 38.3 | 8.7 | 11.1 | 0.6 | 0.3 | 0.1 |
| 市 内 | 921 | 3 | 17 | 194 | 198 | 373 | 77 | 59 | - | - | - |
| | 100.0 | 0.3 | 1.8 | 21.1 | 21.5 | 40.5 | 8.4 | 6.4 | - | - | - |

| | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|---|-----|------|------|-------|------|------|-----|-----|-----|
| 準市内 | 62 | - | - | 13 | 7 | 19 | 9 | 13 | 1 | - | - |
| | 100.0 | - | - | 21.0 | 11.3 | 30.6 | 14.5 | 21.0 | 1.6 | - | - |
| 市外 | 120 | - | 1 | 24 | 15 | 45 | 8 | 25 | 1 | - | 1 |
| | 100.0 | - | 0.8 | 20.0 | 12.5 | 37.5 | 6.7 | 20.8 | 0.8 | - | 0.8 |
| JV | 59 | - | 1 | 1 | 2 | 7 | 7 | 32 | 5 | 4 | - |
| | 100.0 | - | 1.7 | 1.7 | 3.4 | 11.9 | 11.9 | 54.2 | 8.5 | 6.8 | - |
| 不明 | 2 | - | - | - | - | 2 | - | - | - | - | - |
| | 100.0 | - | - | - | - | 100.0 | - | - | - | - | - |

5) 08年度の業種別工事件数を市内・準市内・市外・JV別に分類した特徴

市内外・JV別の4区分からみた受注件数を受注業種との関係で特徴を見たのが表2-3-6である。市内業者は受注件数921件のうち舗装170件(全体172件の98.8%)、土木154件(全体188件の81.9%)、とび・土工92件(全体94件の97.9%)、電気85件(全体124件の68.5%)、塗装64件(全体66件の97.0%)、建築63件(全体88件の71.6%)、水道施設62件(全体87件の71.3%)、下水管61件(全体76件の80.3%)というように、この8業種で687件と市内業者の受注件数の74.8%を占めている。また全受注件数1164件の59.0%を占めている。また、件数で見ると市の主要な工事業種のうち過半数以上の件数を市内業者が受注していることになる。

表 2-3-6

08 年度業種別工事件数と市内・準市内・市外・JVとのクロス表

単位：上段件、下段%

| 業種 | 全体 | 市内 | 準市内 | 市外 | JV | 無回答 |
|-------|-------|-------|-------|------|------|-----|
| 全体 | 1164 | 921 | 62 | 120 | 59 | 2 |
| | 100.0 | 79.1 | 5.3 | 10.3 | 5.1 | 0.2 |
| 土木 | 188 | 154 | 20 | 1 | 13 | - |
| | 100.0 | 81.9 | 10.6 | 0.5 | 6.9 | - |
| 下水管 | 76 | 61 | 2 | - | 13 | - |
| | 100.0 | 80.3 | 2.6 | - | 17.1 | - |
| 舗装 | 172 | 170 | - | - | 1 | 1 |
| | 100.0 | 98.8 | - | - | 0.6 | 0.6 |
| 建築 | 88 | 63 | 2 | 17 | 6 | - |
| | 100.0 | 71.6 | 2.3 | 19.3 | 6.8 | - |
| 電気 | 124 | 85 | 12 | 26 | 1 | - |
| | 100.0 | 68.5 | 9.7 | 21.0 | 0.8 | - |
| 空調・衛生 | 61 | 54 | 2 | 2 | 3 | - |
| | 100.0 | 88.5 | 3.3 | 3.3 | 4.9 | - |
| 水道施設 | 87 | 62 | 2 | 2 | 21 | - |
| | 100.0 | 71.3 | 2.3 | 2.3 | 24.1 | - |
| 造園 | 46 | 45 | - | - | 1 | - |
| | 100.0 | 97.8 | - | - | 2.2 | - |
| 鋼構造物 | 18 | 12 | 1 | 5 | - | - |
| | 100.0 | 66.7 | 5.6 | 27.8 | - | - |
| 機械 | 84 | 20 | 13 | 51 | - | - |
| | 100.0 | 23.8 | 15.5 | 60.7 | - | - |
| 通信 | 12 | 7 | 3 | 2 | - | - |
| | 100.0 | 58.3 | 25.0 | 16.7 | - | - |
| 消防 | 8 | 7 | 1 | - | - | - |
| | 100.0 | 87.5 | 12.5 | - | - | - |
| 塗装 | 66 | 64 | - | 2 | - | - |
| | 100.0 | 97.0 | - | 3.0 | - | - |
| とび・土工 | 94 | 92 | 1 | - | - | 1 |
| | 100.0 | 97.9 | 1.1 | - | - | 1.1 |
| 防水 | 8 | 8 | - | - | - | - |
| | 100.0 | 100.0 | - | - | - | - |
| 管内更生 | - | - | - | - | - | - |
| | - | - | - | - | - | - |
| しゅんせつ | 3 | - | 3 | - | - | - |
| | 100.0 | - | 100.0 | - | - | - |
| 内装 | 4 | 4 | - | - | - | - |
| | 100.0 | 100.0 | - | - | - | - |
| 建具 | 25 | 13 | - | 12 | - | - |
| | 100.0 | 52.0 | - | 48.0 | - | - |
| 清掃施設 | - | - | - | - | - | - |
| | - | - | - | - | - | - |
| 軽微 | - | - | - | - | - | - |
| | - | - | - | - | - | - |

6) 08年度、市内業者の資本金階層別にみた受注業種の件数の特徴

08年度における資本金階層ごとの業者がどのような業種の工事を主に受注しているのかを市内業者に限定してみたのが表2-3-7である。

表2-3-7 市内業者の資本金階層別受注業種の件数

単位:上段・件、下段・%

| 資本金区分→ | | 全体 | 5 百 万 円 未 満 | 5 百 万 円 ～ 1 千 万 円 | 1 千 万 円 ～ 3 千 万 円 | 3 千 万 円 ～ 5 千 万 円 | 5 千 万 円 ～ 1 億 円 | 1 億 円 ～ 10 億 円 | 10 億 円 ～ 50 億 円 | 50 億 円 以 上 |
|--------|-------|--------------|----------------------------|---|---|---|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 全体 | | 921 100.0 | 72 100.0 | 37 100.0 | 523 100.0 | 231 100.0 | 37 100.0 | 20 100.0 | - 100.0 | 1 100.0 |
| 業 種 | 土木 | 154 16.7 | 23 31.9 | 6 16.2 | 89 17.0 | 33 14.3 | 2 5.4 | 1 5.0 | - | - |
| | 下水管 | 61 6.6 | 5 6.9 | - | 29 5.5 | 21 9.1 | 6 16.2 | - | - | - |
| | 舗装 | 170 18.5 | 14 19.4 | 6 16.2 | 84 16.1 | 59 25.5 | 5 13.5 | 2 10.0 | - | - |
| | 建築 | 63 6.8 | 4 5.6 | 5 13.5 | 28 5.4 | 21 9.1 | 4 10.8 | 1 5.0 | - | - |
| | 電気 | 85 9.2 | 5 6.9 | 10 27.0 | 54 10.3 | 12 5.2 | 1 2.7 | 3 15.0 | - | - |
| | 空調・衛生 | 54 5.9 | 7 9.7 | 2 5.4 | 36 6.9 | 6 2.6 | 1 2.7 | 2 10.0 | - | - |
| | 水道施設 | 62 6.7 | 2 2.8 | - | 26 5.0 | 27 11.7 | 6 16.2 | 1 5.0 | - | - |
| | 造園 | 45 4.9 | - | - | 31 5.9 | 11 4.8 | 3 8.1 | - | - | - |
| | 鋼構造物 | 12 1.3 | 4 5.6 | - | 7 1.3 | - | 1 2.7 | - | - | - |
| | 機械 | 20 2.2 | - | - | 11 2.1 | 2 0.9 | 7 18.9 | - | - | - |
| | 通信 | 7 0.8 | - | - | 4 0.8 | 3 1.3 | - | - | - | - |
| | 消防 | 7 0.8 | - | 2 5.4 | 4 0.8 | - | - | - | - | 1 100.0 |
| | 塗装 | 64 6.9 | 4 5.6 | 3 8.1 | 47 9.0 | 8 3.5 | - | 2 10.0 | - | - |
| | とび・土工 | 92 10.0 | 1 1.4 | - | 61 11.7 | 21 9.1 | 1 2.7 | 8 40.0 | - | - |
| | 防水 | 8 0.9 | - | 1 2.7 | 4 0.8 | 3 1.3 | - | - | - | - |
| | 管内更生 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | しゅんせつ | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 内装 | 4 0.4 | - | 1 2.7 | 1 0.2 | 2 0.9 | - | - | - | - |
| | 建具 | 13 1.4 | 3 4.2 | 1 2.7 | 7 1.3 | 2 0.9 | - | - | - | - |
| | 清掃施設 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 軽微 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

市内業者の受注件数合計は 921 件であるが、資本金別に見ると資本金 1 千万円未満の小零細業者は 109 件（全体 921 件の 11.8%）を受注しているが、その主な業種は土木 29 件、舗装 20 件、電気 15 件である。塗装やとび・土工、造園などの専門業種が意外に小零細業者の受注に結びついていない。資本金 1 千万～3 千万円の市内中小業者は 523 件と全体件数の 56.8%を受注している。このクラスの主な受注業種は土木が 89 件、舗装が 84 件、とび・土工が 61 件というように土木とそれに関連する専門業種が多い。次に資本金 3 千万～5 千万円の市内中堅業者が 231 件と全体件数の 25.1%を占めている。このクラスの主な受注業種は舗装 59 件、土木 33 件、下水管 21 件、水道施設 27 件というように土木・舗装に加えて上・下水道も多い。さらに資本金が 5 千万円以上の市内大手業者になると全体件数 56 件に対してとび・土工 9 件、舗装 7 件、水道施設 7 件、下水管 6 件、塗装 8 件というように意外に専門業種を多く受注している。川崎市の市内業者は小零細業者ほど土木に近い比較的単純な工事を受注しているが、業者規模が大きくなるほど上下水道工事など専門性の高い業種を受注しているといえる。小零細業者は専門業種を直接受注するのではなく中堅・大手市内業者の下請業者として専門業種の施工に携わっていると見られる。このような小零細業者が分離・分割発注などを通じて直接受注できる仕組みをとり入れることも必要であろう。

7) 08 年度、市内・準市内・市外・J V の受注と地域区分との関係の特徴

4 つの業者区分と受注地域との関係をみたのが表 2-3-8、表 2-3-9 である。

市内、準市内、市外、J V の各業者が市内のどの行政区を重点に工事を受注しているのか、その受注件数、受注金額でみてみると、市内業者は件数では 7 区それぞれ 10% 台でほぼ平均的に工事を受注している。これを金額で見ると川崎区で 20.8%と若干多いが、その他 6 行政区では 10%～15%の間で満遍なく受注が行なわれている。これは市内業者が各行政区に散らばり、その地域で発注される工事を重点的に受注していることが推測される。これに対して準市内業者は川崎区で件数では 40%弱、金額では 60%弱と川崎区に大きく偏り、逆に高津区、宮前区、麻生区ではほとんど受注がない。市外業者も同様に川崎区に件数で 27%、金額で 75%と大きく偏っている。また J V では金額では川崎区が 40%弱とやはり川崎区に偏っているが、その他の行政区は金額では平均的に受注されている。

このように、市内業者以外の準市内、市外、J V は川崎区における主に川崎駅周辺工事や臨海部の大型工事に集中していることがうかがわれる。

表 2-3-8 業者所在地と工事地区ごとの工事件数との関係

単位：上段・件、下段・%

| 区分 | 全体 | 川崎区 | 幸区 | 中原区 | 高津区 | 宮前区 | 多摩区 | 麻生区 | その他 |
|-----|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 1164 | 250 | 148 | 162 | 121 | 141 | 163 | 137 | 42 |
| | 100.0 | 21.5 | 12.7 | 13.9 | 10.4 | 12.1 | 14.0 | 11.8 | 3.6 |
| 市内 | 921 | 174 | 115 | 131 | 106 | 125 | 127 | 120 | 23 |
| | 100.0 | 18.9 | 12.5 | 14.2 | 11.5 | 13.6 | 13.8 | 13.0 | 2.5 |
| 準市内 | 62 | 25 | 7 | 8 | 2 | 5 | 9 | 5 | 1 |
| | 100.0 | 40.3 | 11.3 | 12.9 | 3.2 | 8.1 | 14.5 | 8.1 | 1.6 |
| 市外 | 120 | 33 | 16 | 17 | 11 | 11 | 23 | 7 | 2 |
| | 100.0 | 27.5 | 13.3 | 14.2 | 9.2 | 9.2 | 19.2 | 5.8 | 1.7 |
| JV | 59 | 18 | 10 | 4 | 2 | — | 4 | 5 | 16 |
| | 100.0 | 30.5 | 16.9 | 6.8 | 3.4 | — | 6.8 | 8.5 | 27.1 |
| 不明 | 2 | — | — | 2 | — | — | — | — | — |
| | 100.0 | — | — | 100.0 | — | — | — | — | — |

表 2-3-9 業者所在地と工事地区ごとの工事金額との関係

単位：上段・百万円、下段・%

| 区分 | 全体 | 川崎区 | 幸区 | 中原区 | 高津区 | 宮前区 | 多摩区 | 麻生区 | その他 |
|-----|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 61,710 | 24,897 | 7,208 | 5,724 | 5,810 | 3,666 | 5,812 | 6,215 | 2,379 |
| | 100.0 | 40.3 | 11.7 | 9.3 | 9.4 | 5.9 | 9.4 | 10.1 | 3.9 |
| 市内 | 25,197 | 5,230 | 3,256 | 3,220 | 3,023 | 3,523 | 2,978 | 3,287 | 681 |
| | 100.0 | 20.8 | 12.9 | 12.8 | 12.0 | 14.0 | 11.8 | 13.0 | 2.7 |
| 準市内 | 4,614 | 2,635 | 687 | 370 | 136 | 30 | 600 | 122 | 34 |
| | 100.0 | 57.1 | 14.9 | 8.0 | 3.0 | 0.7 | 13.0 | 2.6 | 0.7 |
| 市外 | 13,223 | 9,913 | 1,315 | 1,059 | 258 | 113 | 283 | 227 | 56 |
| | 100.0 | 75.0 | 9.9 | 8.0 | 2.0 | 0.9 | 2.1 | 1.7 | 0.4 |
| JV | 18,644 | 7,119 | 1,950 | 1,042 | 2,393 | — | 1,952 | 2,580 | 1,609 |
| | 100.0 | 38.2 | 10.5 | 5.6 | 12.8 | — | 10.5 | 13.8 | 8.6 |
| 不明 | 33 | — | — | 33 | — | — | — | — | — |
| | 100.0 | — | — | 100.0 | — | — | — | — | — |

(4) 川崎市建設業協会の会員・非会員別にみた市発注工事受注の特徴

1) 川崎市建設業協会会員・非会員別の業者数の推移

表 2-4-1
会員・非会員、市内・準市内・市外別
受注業者数

単位:社

| 区分 | | 2005 年度 | 2006 年度 | 2007 年度 | 2008 年度 |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|
| 受注業者数 | 協会会員 | 99 | 99 | 92 | 89 |
| | 非会員市内 | 266 | 281 | 232 | 243 |
| | 非会員準市内 | 52 | 53 | 55 | 47 |
| | 非会員市外 | 63 | 69 | 68 | 69 |
| | 不明 | 3 | 1 | - | 2 |
| 受注業者数合計 | | 483 | 503 | 447 | 450 |
| 川崎建設業協会会員数 | | 129 | 129 | 129 | 129 |

市発注工事を受注する業者数を川崎建設業協会の会員・非会員との関係で推移をみたのが表 2-4-1 である。

全体の受注業者数は 05 年度の 483 社から 06 年度には 503 社と 20 社増加したが、07 年度には 447 社と 56 社も減少した。そして 08 年度は 450 社と若干増加した。年度により受注業者が増減する要因には発注件数の増減が大きい、受注業者が集中する場合や J V での受注の増減が考えられる。また、受注業者の倒産・廃

業などの業者の減少も要因として挙げられる。

この中で、協会会員数は 05 年度から 4 年間、129 社と変わらずに推移している。しかし、会員業者の中で市発注工事を受注した業者数は 05 年度、06 年度 99 社と約 77% の業者が受注を確保している。しかし、07 年度は 92 社、08 年度は 89 社と次第に受注業者数が減少し 70% 程度の受注業者比率となっている。一方、市内業者の中で非会員業者の受注業者数は 05 年度の 266 社から 06 年度 281 社へと増加するが、07 年度は 232 社と大きく減少している。

市内業者という地域要件の中で会員・非会員業者は受注をめぐる競争関係にあるが市内受注業者の中で会員業者の受注割合の推移をみると、05 年度 27.3%、06 年度 26.2%、07 年度 28.6%、08 年度 27.1% と 25%～30% の枠内に推移している。

2) 市内業者の会員・非会員別の受注金額の推移と特徴

市内業者の中で市発注工事を一件でも受注した業者数でみると、非会員業者の方が会員業者より多いにもかかわらず、受注金額でみると会員業者の方が上回っている。

表 2-4-2 は会員・非会員別に見た 05 年度からの受注金額の比較の推移を示したものである。会員業者の受注を金額でみると 05 年度 114 億円、06 年度 138 億円、07 年度 113 億円、08 年度 156 億円と全体的に増加傾向を示している。これに対して非会員業者は 05 年度 92 億円、06 年度 84 億円、07 年度 68 億円と次第に減少し、08 年度は市内業者全体の受注金額が増加したため、96 億円とまた上昇している。

これを受注業者一社あたりの受注金額の推移をみると、会員業者では 05 年度 1 億 1,400 万円、06 年度 1 億 3,800 万円、07 年度 1 億 2,200 万円、08 年度 1 億 7,300 万円と 05 年度の 1 億円強から 08 年度には 2 億円に近づいてきている。

これに対して非会員市内業者では 05 年度 3,400 万円、06 年度 3,000 万円、07 年度 3,000 万円、08 年度 4,000 万円とおおよそ一社あたり 3 千万～4 千万円程度で会員業者の 3 分の 1 から 4 分の 1 の水準である。多くの市内非会員業者にとって年間平均 3

千万～4千万円の受注規模では民間受注又は下請受注の大きく依存せざるを得なくなり、競争に晒されながらの厳しい経営を迫られていることがうかがわれる。

表 2-4-2 市内業者会員・非会員別受注金額の推移

単位：百万円、%

| 項目名 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 20,607 | 100.0 | 22,261 | 100.0 | 18,084 | 100.0 | 25,197 | 100.0 |
| 会員 | 11,443 | 55.5 | 13,813 | 62.1 | 11,267 | 62.3 | 15,591 | 61.9 |
| 非会員 | 9,164 | 44.5 | 8,448 | 37.9 | 6,817 | 37.7 | 9,606 | 38.1 |

3) 会員業者の資本金別受注金額の推移と特徴

川崎建設業協会の会員業者を資本金別に分類し、各年度の受注金額の推移をみたのが表 2-4-3 である。資本金 1 千万円未満の小零細業者は 05 年度の 1 億 4,000 万円から 08 年度の 5,000 万円にどんどん減少傾向となっている。資本金 1 千万～3 千万円の中小業者は 05 年度の 46 億円から 08 年度の 44 億円と横ばいに推移している。これに対して資本金 3 千万～5 千万円の中堅業者は 05 年の 47 億円から 08 年度の 84 億円へと、また 5 千万円以上の大手業者は 05 年度の 20 億円から 08 年度の 27 億円へと増加傾向となっている。すなわち会員業者の中でも中小零細業者は受注減の傾向、中堅・大手業者はかなりの規模で受注を伸ばしている。

全体的に競争が激化している中で建設業協会内部においても激しい競争と淘汰のたかひが行われていることがうかがわれる。

表 2-4-3 会員業者の資本金別受注金額の推移

単位：百万円、%

| 項目名 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 11,443 | 100.0 | 13,813 | 100.0 | 11,267 | 100.0 | 15,591 | 100.0 |
| 5百万円未満 | 80 | 0.7 | 28 | 0.2 | 42 | 0.4 | 50 | 0.3 |
| 5百万～1千万円未満 | 60 | 0.5 | 24 | 0.2 | 35 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| 1千万～3千万円未満 | 4,595 | 40.2 | 5,242 | 38.0 | 4,107 | 36.4 | 4,390 | 28.2 |
| 3千万～5千万円未満 | 4,707 | 41.1 | 5,014 | 36.3 | 4,443 | 39.4 | 8,419 | 54.0 |
| 5千万～1億円未満 | 1,864 | 16.3 | 3,211 | 23.2 | 2,168 | 19.2 | 2,040 | 13.1 |
| 1億～5億円未満 | 137 | 1.2 | 292 | 2.1 | 465 | 4.1 | 662 | 4.3 |
| 5億円以上 | 0 | 0.0 | 2 | 0.0 | 8 | 0.1 | 30 | 0.2 |

表 2-5-1

横浜市と比較したJV工事の金額、件数の推移

川崎市

単位：百万円、件、%

| | 全体金額 | JV金額 | 構成比率 | 全体件数 | JV件数 | 構成比率 |
|--------|--------|--------|------|-------|------|------|
| 2005年度 | 45,406 | 10,892 | 24.0 | 1,158 | 31 | 2.7 |
| 2006年度 | 47,005 | 14,508 | 30.9 | 1,213 | 43 | 3.5 |
| 2007年度 | 64,276 | 17,425 | 27.1 | 1,120 | 60 | 5.4 |
| 2008年度 | 61,710 | 18,644 | 30.2 | 1,164 | 59 | 5.1 |

横浜市

単位：百万円、件、%

| | 全体金額 | JV金額 | 構成比率 | 全体件数 | JV件数 | 構成比率 |
|--------|---------|--------|------|-------|------|------|
| 2005年度 | 149,567 | 30,774 | 20.6 | 3,644 | 61 | 1.7 |
| 2006年度 | 148,344 | 30,367 | 20.5 | 3,445 | 50 | 1.5 |
| 2007年度 | 126,350 | 21,584 | 17.1 | 3,297 | 33 | 1.0 |
| 2008年度 | 92,761 | 18 | 0.0 | 2,941 | 1 | 0.0 |

(5) JV受注工事の特徴

1) 横浜市と比較し、増加傾向にあるJV工事の金額と件数

川崎市のJV工事を05年度からの推移でみると金額、件数ともに増加の方向にある。金額では05年度の109億円から08年度の186億円へと1.7倍に増加

している。全体金額に占める J V 金額も 05 年度の 24.0%から 08 年度の 30.2%へと拡大している。また件数においても 05 年度の 31 件から 08 年度の 59 件へと 2 倍に増加し、全体件数に占める比率もやはり 2 倍となっている。このように川崎市の J V 工事は金額、件数ともに増加傾向にあるのに対し、お隣の横浜市では J V 工事は縮小から廃止の方向にある。08 年度はわずか 1 件のみとなった。

大規模工事が減少してくるに従い、J V 工事も少なくなるのは当然のことである。

2) 08 年度 J V 工事一覧表からみた特徴

J V 受注工事のみを取り出して一覧表にしたのが表 2-5-2 である。08 年度の J V 受注工事の件数は合計で 59 件ある。全体件数 1,164 件に対しては 5.1%とわずかではあるが、受注金額は 186 億 4,400 万円で総受注金額 617 億 1,000 万円に対しては 30.2%と 3 分の 1 弱の受注金額を占めている。

J V 受注工事を業種別にみると最も多いのが水道施設の 21 件、次いで下水管の 13 件で上下水道管関係で 34 件と全体件数 59 件の 58%を占めている。さらに土木 13、建築 6 件、空調・衛生 3 件と続く。

次いで受注業者をみると、幹事会社が市外又は準市内で構成される J V 件数は 28 件みられる（業者名が不明確で市内 J V と判定が困難な J V 1 件を含む）。金額では 102 億 929 万円と J V 受注金額（186 億 4,400 万円）の 55.4%を占めている。これら J V が主に受注している業種は土木 11 件、下水管 6 件、水道施設 6 件などが挙げられる。

一方、市内業者のみで共同企業体を構成している J V 件数は 31 件存在する（J V 業者名を太字で記入。但し、幹事業者名が入札参加申請者名簿で複数存在し市内業者と見分けできない J V は準市内・市外に含める）。このうち 15 件は単価契約により市内業者の J V が受注している。単価契約の業種と内容を見ると、いずれも水道局発注の水道施設工事で、給水管の維持補修が 6 件、水道施設の緊急修理と路面復旧が 9 件となっている。市内業者同士の J V の年度末の変更後契約金額の合計は 84 億 3,426 万円と J V 受注金額の 45.2%を占めている。

川崎市の J V 工事は単価契約を含め、市内業者が共同企業体を構成し大規模工事を市内業者が受注できる仕組みとなっている。特に市内業者 J V が受注した工事を業種別にみると、最も多いのが水道施設の 15 件ですべて単価契約となっている。水道施設の維持補修単価契約を年度末の契約金額合計で見ると 15 億 9,722 万円となり、市内業者の受注確保に大いに貢献している。

次いで多い業種が下水管 6 件、建築 5 件となっている。建築の内容を見ると学校の大規模改修や増改築、および市営住宅の新築工事で契約金額合計が 48 億 8,120 万円と大規模な事業となっている。下水管の内容は幹線工事が主で、工法等まではわからないが、市内業者が施工能力を身につけてきていることを証明している。6 件の工事の契約金額合計は 17 億 380 万円とやはり大規模なものとなっている。いずれも一業者では困難な工事を市内業者 3 社または 4 社の共同により施工している。

表 2-5-2 JV工事一覧表

| No. | 件名 | 業種名 | 業者名 | 変更後契約金額(税込) |
|-----|--------------------------|-------|----------------------|---------------|
| 1 | 蟹ヶ谷檜ヶ崎住宅新築第5号工事 | 建築 | 大山・野州・村松・山澄 共同企業体 | 2,085,930,000 |
| 2 | 柿生中学校校舎改築工事 | 建築 | 北島・露木・佐田共同企業体 | 1,627,500,000 |
| 3 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その14工事 | 土木 | 東洋・若築共同企業体 | 1,255,275,000 |
| 4 | 川崎駅前東西連絡歩道橋上屋その他整備工事ほか | 建築 | 鹿島・五洋・重田共同企業体 | 1,247,400,000 |
| 5 | 施設再構築長沢浄水場沈でん池等築造工事 | 水道施設 | アイザワ・織戸・河合 共同企業体 | 959,700,000 |
| 6 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その13工事 | 土木 | 飛島・ノバック共同企業体 | 883,428,000 |
| 7 | 江川1号雨水幹線その5工事 | 下水管 | 前田・東洋・藤木共同企業体 | 813,750,000 |
| 8 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その17工事 | 土木 | 東亜・深田サルベージ 共同企業体 | 811,839,000 |
| 9 | 大師河原7号雨水幹線その2工事 | 下水管 | 清水・鴻池・渡辺共同企業体 | 617,400,000 |
| 10 | 登戸1号雨水幹線その4工事 | 下水管 | 藤木・吉孝共同企業体 | 491,400,000 |
| 11 | 王禅寺小学校校舎増築その他工事 | 建築 | 大藤・千代田共同企業体 | 470,400,000 |
| 12 | 川崎港海底トンネル本体改良その3工事 | 土木 | 鹿島・五洋共同企業体 | 468,300,000 |
| 13 | 新川崎地区都市基盤整備(道路)その6工事ほか | 土木 | 大成ロテック・織戸共同企業体 | 399,000,000 |
| 14 | 新川崎地区都市基盤整備(道路)その5工事ほか | 土木 | 大林道路・小沼共同企業体 | 340,200,000 |
| 15 | 蟹ヶ谷檜ヶ崎住宅新築第5号衛生その他設備工事 | 空調・衛生 | 三興・碓井共同企業体 | 306,600,000 |
| 16 | 戸手・入江崎下水圧送管その2工事 | 下水管 | 小沼・喜美代共同企業体 | 290,220,000 |
| 17 | 宿河原2号雨水幹線その2工事 | 下水管 | 重田・大山共同企業体 | 283,500,000 |
| 18 | 新川崎地区都市基盤整備(道路)その7工事ほか | 土木 | 大成ロテック・織戸共同企業体 | 283,500,000 |
| 19 | 渡田向町地区ほか下水枝線第108号工事 | 下水管 | 大恵・京浜共同企業体 | 281,400,000 |
| 20 | 市道川崎町田線道路改良(その2)工事ほか | 土木 | 大成ロテック・織戸共同企業体 | 264,075,000 |
| 21 | 給水管維持その5工事(単価契約) | 水道施設 | 浅川・丸善共同企業体 | 226,087,984 |
| 22 | 南河原下水幹線その2工事 | 下水管 | 岡村・石塚共同企業体 | 221,445,000 |
| 23 | 給水管維持その2工事(単価契約) | 水道施設 | 小沼・日東共同企業体 | 218,278,725 |
| 24 | 宿河原1号雨水幹線その4工事 | 下水管 | 坪井・大恵共同企業体 | 217,213,500 |
| 25 | 貝塚地区ほか下水枝線第12号工事 | 下水管 | 熊谷・神明共同企業体 | 216,678,000 |
| 26 | 南河原下水幹線その1工事 | 下水管 | 織戸・森田共同企業体 | 205,800,000 |
| 27 | 堀川下水幹線その4工事 | 下水管 | 重田・重田造園共同企業体 | 204,225,000 |
| 28 | 御幸小学校大規模改修追加工事 | 建築 | 喜美代・高橋共同企業体 | 197,368,500 |
| 29 | 給水管維持その6工事(単価契約) | 水道施設 | 丸栄・山崎共同企業体 | 192,066,694 |
| 30 | 早野聖地公園壁面型墓所(堤入池)第4期整備工事 | 造園 | 大和・都市共同企業体 | 179,907,000 |
| 31 | 柿生中学校改築冷暖房その他設備工事 | 空調・衛生 | 熱研・研空社共同企業体 | 178,290,000 |
| 32 | 川崎港海底トンネル本体改良その4工事 | 土木 | 鹿島・五洋共同企業体 | 165,900,000 |
| 33 | 水道施設等緊急修理その2工事(単価契約) | 水道施設 | 藤原・浅川共同企業体 | 160,554,287 |
| 34 | 給水管維持その3工事(単価契約) | 水道施設 | 追川・山崎共同企業体 | 151,835,583 |
| 35 | 新川崎地区都市基盤整備(道路)その4工事ほか | 土木 | 大成ロテック・織戸共同企業体 | 151,449,900 |

| No. | 件名 | 業種名 | 業者名 | 変更後契約金額(税込) |
|-----|--------------------------|-------|----------------------|-------------|
| 36 | 水道施設等緊急修理その5工事(単価契約) | 水道施設 | 重田造園・堀一共同企業体 | 148,547,835 |
| 37 | 川崎縦貫道路関連共同溝配水管布設その18工事 | 水道施設 | 大成・鹿島・戸田トンネル工事共同企業体 | 145,162,500 |
| 38 | 主要地方道東京大師横浜環境対策(低騒音)工事ほか | 舗装 | NIPPO・信号器材共同企業体 | 140,833,770 |
| 39 | JR横須賀線武蔵小杉新駅交通広場整備工事ほか | 土木 | 大道・重田造園共同企業体 | 135,125,340 |
| 40 | 麻生区内都市計画道路尻手黒川線(その5)工事ほか | 土木 | 小沼・丸栄共同企業体 | 123,846,240 |
| 41 | 大師河原7号雨水幹線その1工事 | 下水管 | 西松・勝村トンネル・共同溝共同企業体 | 104,328,000 |
| 42 | 水道施設等緊急修理その1工事(単価契約) | 水道施設 | 岡村・石塚共同企業体 | 96,680,123 |
| 43 | 給水管維持その4工事(単価契約) | 水道施設 | 幸伸・横山共同企業体 | 96,283,975 |
| 44 | 水道施設等緊急修理その3工事(単価契約) | 水道施設 | PBS・清生共同企業体 | 90,047,504 |
| 45 | 水道施設等緊急修理その4工事(単価契約) | 水道施設 | 幸伸・小田共同企業体 | 78,502,083 |
| 46 | 給水管維持その1工事(単価契約) | 水道施設 | 加藤・小田共同企業体 | 77,580,273 |
| 47 | 渋川3号雨水幹線その2工事 | 下水管 | 青木あすなろ・みらい・小沼共同企業体 | 62,685,000 |
| 48 | 御幸小学校大規模改修衛生その他設備追加工事 | 空調・衛生 | 吉浜・菱沼共同企業体 | 52,710,000 |
| 49 | 市道川崎町田線道路改良整備工事 | 土木 | 大成ロテック・織戸共同企業体 | 49,560,000 |
| 50 | 水道施設等緊急修理その6工事(単価契約) | 水道施設 | 清生・追川共同企業体 | 45,819,847 |
| 51 | 川崎縦貫道路整備共同溝配水管布設その19工事 | 水道施設 | 西松・勝村トンネル・共同溝工事共同企業体 | 30,901,500 |
| 52 | 新丸子東三丁目地区人道地下通路内装建築工事 | 建築 | 武蔵小杉駅設置南武線工区共同企業体 | 30,030,000 |
| 53 | 川崎縦貫道路共同溝配水管布設その20工事 | 水道施設 | 竹中土木・青木あすなろトンネル建設工事 | 26,985,000 |
| 54 | 給水管維持等路面復旧その2工事(単価契約) | 水道施設 | 藤和・日東共同企業体 | 11,365,386 |
| 55 | 緊急修理等路面復旧その2工事(単価契約) | 水道施設 | 織戸・河合共同企業体 | 10,067,955 |
| 56 | 川縦整備共同溝配水管布設伴うアンカーフレーム製作 | 水道施設 | 竹中土木・青木あすなろ共同溝建設工事 | 7,140,000 |
| 57 | 御幸小学校大規模改修電気その他設備追加工事 | 電気 | 東邦・寿共同企業体 | 6,562,500 |
| 58 | 緊急修理等路面復旧その1工事(単価契約) | 水道施設 | 小沼・関トウ共同企業体 | 4,051,747 |
| 59 | 緊急修理等路面復旧その3工事(単価契約) | 水道施設 | 黒川・追川共同企業体 | 815,584 |

注：太字は市内業者のみのJV。

2) J Vを構成業者に分解した、市内・準市内・市外別業者数、金額の推移と特徴

表 2-5-3

JV工市の市内・準市内・市外業者別実績の推移

単位：件、百万円、%

| 年度 | J V 工事件数 | 市内外別 | 件数 | 金額 | 金額 構成比 |
|----------|-------------|-------|-----|--------|-----------|
| 05 年度 | 31 | 市内業者 | 41 | 4,543 | 41.7 |
| | | 準市内業者 | 27 | 6,193 | 56.9 |
| | | 市外業者 | 1 | 156 | 1.4 |
| | | 合計 | 69 | 10,892 | 100.0 |
| 06 年度 | 43 | 市内業者 | 70 | 6,379 | 44.0 |
| | | 準市内業者 | 21 | 7,739 | 53.4 |
| | | 市外業者 | 2 | 386 | 2.7 |
| | | 合計 | 93 | 14,504 | 100.0 |
| 07 年度 | 60 | 市内業者 | 103 | 11,502 | 65.5 |
| | | 準市内業者 | 19 | 4,973 | 28.3 |
| | | 市外業者 | 8 | 1,083 | 6.2 |
| | | 合計 | 130 | 17,557 | 100.0 |
| 08 年度 | 59 | 市内業者 | 87 | 10,525 | 56.8 |
| | | 準市内業者 | 33 | 7,505 | 40.5 |
| | | 市外業者 | 3 | 516 | 2.8 |
| | | 合計 | 123 | 18,545 | 100.0 |

J V工事を一件毎に構成業者の業者数および構成比率で構成業者ごとに受注金額を配分し市内・準市内・市外別に実績の推移を示したのが表 2-5-3 である。

J V工事件数は 05 年度の 31 件から年々増加し、08 年度では 59 件となっている。これを構成業者ごとに分解すると、05 年度は延 69 社で J V の平均構成業者数は 2.2 社となる。06 年度は延 93 社で J V の平均構成業者数は 2.2 社、同様に 07 年度は 130 社で 2.2 社、08 年度は 123 社で 2.1 社というように、各年度とも 2 社 J V が基本で、たまに 3 社構成の J V があるという状況である。さらに業者数を市内業者と

全体業者の比率を見ると、05 年度は全体 69 社のうち市内業者 41 社と 59.4% の構成比率である。06 年度は 93 社のうち市内業者 70 社と 75.3%、07 年度は 130 社のうち 103 社と 79.2%、08 年度 123 社のうち 87 社と 70.7% となり、J V 構成業者に占める市内業者の割合は徐々に増加している。これは市内業者のみの J V が増加していることを示している。同様に市内業者に配分される受注金額の構成比を見ても、05 年度 41.7%、06 年度 44.0%、07 年度 65.5%、08 年度 56.8% と、07 年度以降、市内業者の受注比率が過半数を占めるに至っている。

大型事業を市内業者のみの J V で実施する中で、市内業者の技術力を高める、あるいは水道局のように水道施設の緊急修理や定期的維持・補修工事を単価契約で市内の業者に J V で発注することで市内業者の安定した受注につなげることは重要な施策である。このような施策を道路関係や下水管、公営住宅などの定期点検や維持補修工事に拡大していくことが求められる。

3) J V工事を分解し工事規模別にみた市内・準市内・市外業者の推移と特徴

J V工事を構成業者ごとに構成比率で受注金額を分解した場合、各業者がどの程度の規模の工事を受注しているかを市内・準市内・市外に分類して推移を見たのが表 2-5-4 である。

表 2-5-4

JV工事を構成業者ごとの工事規模からみた市内・準市内・市外業者の件数の推移

単位:件

| 年度 | 1件当たり 契約金額 | 全体 | 50 万円 未満 | 50 万円 ～ 100 万円 | 100 万円 ～ 500 万円 | 500 万円 ～ 1000 万円 | 1000 万円 ～ 5000 万円 | 5000 万円 ～ 1億 円 | 1億 円 ～ 5億 円 | 5億 円 ～ 10億 円 | 10億 円 ～ 50億 円 | 50億 円 以上 |
|----------|---------------|-----|----------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|----------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------|
| 05 年度 | 市内業者 | 41 | 1 | 4 | 2 | 2 | 3 | 14 | 13 | 2 | - | - |
| | 準市内業者 | 27 | - | - | 4 | 2 | 5 | 2 | 10 | 4 | - | - |
| | 市外業者 | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - |
| | 合計 | 69 | 1 | 4 | 6 | 4 | 8 | 16 | 24 | 6 | - | - |
| 06 年度 | 市内業者 | 70 | - | - | 3 | 5 | 24 | 18 | 19 | 1 | - | - |
| | 準市内業者 | 21 | - | - | - | - | 1 | 1 | 12 | 6 | 1 | - |
| | 市外業者 | 2 | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - |
| | 合計 | 93 | - | - | 3 | 5 | 25 | 20 | 32 | 7 | 1 | - |
| 07 年度 | 市内業者 | 103 | - | 1 | 15 | 2 | 11 | 36 | 35 | 3 | - | - |
| | 準市内業者 | 19 | - | - | 4 | 2 | 2 | - | 7 | 3 | 1 | - |
| | 市外業者 | 8 | - | - | 2 | 1 | - | - | 5 | - | - | - |
| | 合計 | 130 | - | 1 | 21 | 5 | 13 | 36 | 47 | 6 | 1 | - |
| 08 年度 | 市内業者 | 87 | 2 | - | 5 | 3 | 20 | 21 | 33 | 2 | 1 | - |
| | 準市内業者 | 33 | - | - | 2 | - | 8 | 4 | 14 | 5 | - | - |
| | 市外業者 | 3 | - | - | - | - | 1 | - | 2 | - | - | - |
| | 合計 | 123 | 2 | - | 7 | 3 | 29 | 25 | 49 | 7 | 1 | - |

各年度とも市外業者の件数は1件~3件と極端に少ないため、JVの構成は準市内と市内、または市内と市内のJVがほとんどといえる。その中で工事規模から見ると、各年度とも市内業者の工事規模には小規模が多い。05年度では一件1千万円未満が9件、06年度は8件、07年度は18件、08年度は10件もあるが、準市内業者では07年度6件、08年度2件のみである。これは準市内と市内のJVにおいて準市内が幹事会社となり、その構成比率も幹事会社に高く設定されたものとみられる。同時に市内業者の受注金額が1億円以上の件数をみると、05年度15件、06年度20件、07年度38件、08年度36件というようにJVを組むことによって大型工事に参入できるとともに、自らの構成比率も単独では受注できない高い金額規模の受注実績を確保している。そしてJV件数が増加するとともに、1億円以上の件数も増加してきている。

(6) 単独受注工事全体の特徴

1) 単独受注工事の推移と特徴

JV工事を構成業者に振り分けた全体工事と単独受注工事の件数と金額を比較した推移を示したのが表2-6-1である。

件数でみる限り、受注の件数比率は05年の97.0%から少しずつ下落をしているが08年度で94.8%とそのほとんどが単独受注ということが出来る。しかし、金額比率で見ると05年度の75.9%から徐々に低下し08年度では69.7%とほぼ7割となり、3割

がJVでの受注となっている。

表 2-6-1 単独受注工事の件数と金額の推移

単位：件、百万円、%

| | | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|----|----|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 |
| 全体 | 件数 | 1,158 | 100 | 1,213 | 100 | 1,120 | 100 | 1,164 | 100 |
| | 金額 | 45,406 | 100 | 47,005 | 100 | 64,276 | 100 | 61,710 | 100 |
| 単独 | 件数 | 1,123 | 97.0 | 1,168 | 96.3 | 1,059 | 94.6 | 1,103 | 94.8 |
| | 金額 | 34,485 | 75.9 | 32,490 | 69.1 | 46,847 | 72.9 | 43,033 | 69.7 |

2) 08年度受注上位50社の一覧表からみる特徴

08年度の単独受注にJV受注を各構成業者に分解して加算した各業者の受注金額のうち受注金額上位50社を一覧表にしたのが表2-6-2である。08年度に川崎市から最も多く受注した業者は市外業者のJFE環境ソリューションズである。件数で10件、受注金額では58億9,200万円と単独受注総額の13.7%を占める。そのすべてが清掃施設工事であるが、このうち1件50億400万円の浮島処理センター工事をはじめ6件を随意契約で受注している。

上位50社の単独受注業者のうちJFE環境ソリューションをはじめ電気・機械メーカーの受注は9社を占め、その受注総額は108億1,700万円と、単独受注総額の25.2%を占めている。

単独受注業者上位50社を市内・準市内・市外別に見ると、市内業者が29業者を占め、受注件数では206件と50社の全件数277件の74.4%、受注金額では185億8,900万円と50社の全金額378億2,800万円の49.1%を占めている。このように単独受注上位50社の中に市内業者が半数以上を占め、受注金額でも50%弱を占めるといえる。

一方、市外業者は30件、93億5,900万円、準市内業者は38件、90億2,200万円という状況である。

次に、上位50社の市内業者の中で川崎市建設業協会の会員、非会員の状況を見てみる。会員業者は27社となっている。このように単独受注上位50社のうち、過半数が市内の会員業者ということになり、市内の非会員業者はわずか2社しか含まれていない。会員業者の受注件数は198件で一業者あたり平均7件強を受注している。会員業者の受注総額は178億9,800万円で1件あたり平均9,039万円となる。川崎市建設業協会に加入する会員業者は合計で129社あり、そのうち08年度に川崎市発注工事を受注した業者は90社であり、さらにそのうち単独受注上位50社に含まれるのは27社ということになる。これらの業者は年間平均7件強を受注している市内の有力な会員業者ということになる。

表 2-6-2 受注業者上位 50 社の一覧表

単位：件、百万円

| ランキング | | 商号 | 市内 準市内 市外 | 横浜 建設業 協会 | 件数 | 契約金額 (百万円) |
|----------|----------|--------------------------|-----------------|-----------------|-----|---------------|
| 20 年度 | 19 年度 | | | | | |
| | | 総計(450社) | | | 277 | 37,828 |
| 1 | 18 | J F E環境ソリューションズ | 市外 | 非会員 | 10 | 5,892 |
| 2 | 29 | 株式会社小沼工務店 | 市内 | 会員 | 17 | 1,501 |
| 3 | 5 | 株式会社大藤建設 | 市内 | 会員 | 12 | 1,429 |
| 4 | 51 | 株式会社大山組 | 市内 | 会員 | 8 | 1,416 |
| 5 | 47 | 鹿島建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 6 | 1,350 |
| 6 | | 荏原環境プラント株式会社 | 市外 | 非会員 | 3 | 1,159 |
| 7 | 14 | 東洋建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 1,123 |
| 8 | 8 | 株式会社重田組 | 市内 | 会員 | 8 | 1,062 |
| 9 | | 東亜建設工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 4 | 1,038 |
| 10 | 22 | 株式会社織戸組 | 市内 | 会員 | 12 | 1,024 |
| 11 | | 株式会社竹中土木 | 準市内 | 非会員 | 4 | 999 |
| 12 | 202 | 株式会社北島工務店 | 市内 | 会員 | 1 | 895 |
| 13 | | 大成ロテック株式会社 | 準市内 | 非会員 | 6 | 880 |
| 14 | 28 | 幸伸工業株式会社 | 市内 | 会員 | 11 | 842 |
| 15 | 68 | 藤木工業株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 730 |
| 16 | 77 | 株式会社喜美代建設 | 市内 | 会員 | 3 | 664 |
| 17 | 9 | 株式会社トモエコーポレーション | 市内 | 会員 | 25 | 639 |
| 18 | 7 | 大恵建設株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 633 |
| 19 | 17 | 五洋建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 3 | 628 |
| 20 | | 野州工業株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 626 |
| 21 | | 飛島建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 618 |
| 22 | 35 | 株式会社横山工務店 | 市内 | 会員 | 6 | 612 |
| 23 | 3 | 株式会社東芝 | 準市内 | 非会員 | 6 | 582 |
| 24 | | アイサワ工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 576 |
| 25 | 177 | 株式会社銚子塚建設 | 市内 | 会員 | 5 | 531 |
| 26 | 10 | 三菱重工環境エンジニアリング | 市外 | 非会員 | 5 | 519 |
| 27 | 40 | 藤原建設株式会社 | 市内 | 会員 | 6 | 509 |
| 28 | 238 | 株式会社デック | 市外 | 非会員 | 4 | 498 |
| 29 | 43 | 株式会社吉孝土建 | 市内 | 会員 | 5 | 494 |
| 30 | | メタウォーター株式会社 | 市外 | 非会員 | 4 | 492 |
| 31 | | 露木建設株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 488 |
| 32 | 16 | 岡村建興株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 480 |
| 33 | 11 | 扶桑建設工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 466 |
| 34 | 36 | 重田造園土木株式会社 | 市内 | 会員 | 11 | 454 |
| 35 | | 前田建設工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 448 |
| 36 | 37 | 株式会社澤田組 | 市内 | 会員 | 6 | 443 |
| 37 | | 株式会社正興電機製作所 | 市外 | 非会員 | 3 | 442 |
| 38 | 24 | 株式会社荏原由倉 hidroテック | 市外 | 非会員 | 2 | 410 |
| 39 | | 大林道路株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 403 |
| 40 | | 株式会社ハヤカワ | 市内 | 会員 | 3 | 378 |
| 41 | | 若築建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 377 |
| 42 | 31 | 株式会社ヤマチョウ | 市内 | 会員 | 5 | 371 |
| 43 | 26 | 株式会社渡辺土木 | 市内 | 会員 | 5 | 361 |
| 44 | 34 | 加藤土建株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 346 |
| 45 | 56 | 京浜メンテナンス株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 345 |
| 46 | 364 | 清水建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 340 |
| 47 | 33 | 河合土木株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 338 |
| 48 | 88 | 河崎組建設業株式会社 | 市内 | 会員 | 7 | 337 |
| 49 | 102 | 藤和建興株式会社 | 市内 | 会員 | 9 | 327 |
| 50 | 76 | 大道産業株式会社 | 市内 | 会員 | 12 | 316 |

注：太字はメーカ受注工事。

第3章 2008年度川崎市発注工事の入札・契約面からみた特徴

次に、川崎市発注工事を入札参加者との関係や入札形態、落札率など主に入札・契約面からの特徴をみることにする。

(1) 市発注工事のランク別競争入札への参加条件の仕組みについて

1) 業種別格付一覧の仕組み

川崎市は2年に一度、表3-1-1に示された業種別格付一覧表を発表する。これは07～08年度における業者の経営事項審査点数をもとに主要7業種をA～Dのランク別に分類した表である。主要7業種のうち土木、下水管きよ、建築はA、B、C、Dの4つのランクに分類されているが、舗装、電気、空調・衛生、水道施設はA、B、Cの3つのランクにしか分類されていない。経営事項審査とは、建設業者の経営状況を評価する経営状況分析（Y点）と経営規模、技術的能力、その他の客観的事項を評価する経営規模等評価（XZW点）がある。経営状況分析と経営規模等評価の結果により算出した各項目を総合的に評価したのが総合評価値（P点）となり、このP点により業種別格付が決まることになる。川崎市はP点をこれまでの実績等を踏まえA～DないしA～Cに区分しているが、その点数により業者の入札参加可能性が制約されることになる。

また、川崎市は主要7業種以外の24業種はランク分類することなく、経審点数に関係なくどの業者も入札参加できる。そのため、中小と大手が同じ土俵上で競争することになり、公正な受注競争がなされない可能性がある。業者アンケート結果の自由回答においても、業者サイドから問題が投げかけられているので紹介する。

表 3-1-1

平成19・20年度 業種別・格付一覧

| 業種 \ 格付 | A | B | C | D |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 土木 | 850点以上 | 755点以上 | 670点以上 | 670点未満 |
| 下水管きよ | 840点以上 | 690点以上 | 640点以上 | 640点未満 |
| 舗装 | 760点以上 | 690点以上 | 690点未満 | ----- |
| 建築 | 865点以上 | 795点以上 | 700点以上 | 700点未満 |
| 電気 | 820点以上 | 735点以上 | 735点未満 | ----- |
| 空調・衛生 | 785点以上 | 695点以上 | 695点未満 | ----- |
| 水道施設 | 760点以上 | 660点以上 | 660点未満 | ----- |

《業者アンケートから》

「Aランクにおいて、業者数を確保する必要があると思うが、Aの最低と最高では、経審の点数はもちろん、実態として会社の規模が違いすぎる」

「ランクをつける際、経審の点数だけで行なっているため、当社（特定建設業でない一般建設業）のような規模で、Aランクになってしまうことがある。現場代理人の専

任だったり、下請金額の制限もあるので、Aランクの仕事は事実上無理である。ランク付けの際、企業規模も参考にしてほしい」

「業者のランク分けをしっかりと行ない、中小と大手が同じ入札にならないようにする。通信においては、ランク分けされていないので、早急にランク分けしてほしい。」

2) 入札参加申請業者の業種別、地域別、ランク別実態の特徴

表3-1-2は川崎市が07年度～08年度に業種別入札参加申請書を受理した業者の経審点数をもとに、業種別・格付一覧によって業種別、地域別、ランク別に分類した業者数の一覧表である。

入札参加業者はそれぞれ業種区分ごとに何種類もの入札参加申請書を提出しているため、業種ごとに合計すると4,837業者となり、一業者あたり平均でみると2以上の業種に申請書を出していることになる。最も多く参加申請が出されている業種は土木の616業者、次いで工事電気の453業者、ついで建築の410業者となっているが、土木・建築を総合建設業とみるとこの合計で1,026の参加申請書が提出されている。一方、それ以外の専門業種には3,811の参加申請書が提出されており、専門業種への参加申請が総合建設業の3倍以上の参加申請となっている。

次に入札参加申請業者を地域別に見ると、市外業者が2,274社、市内業者が1,825社、準市内業者が738社となっている。市外業者は一業者あたり2.3業種に参加申請を出し、市内業者は一業者あたり2.4業種に参加申請を出し、準市内業者は一業者あたり3.0業種に参加申請を出していることになる。これで見ると、市外業者、準市内業者が市内業者と同様またはそれ以上に入札参加に積極的だということがいえる。市外業者が市内業者以上に入札参加申請業者が多い業種を見ると、土木、工事電気、空調衛生、水道施設、鋼構造物、機械、通信、消防、管内更生、浚渫、建具、さく井、タイル、板金、屋根、大工、清掃施設がある。主に市内業者では困難な電気・機械・設備および特殊工事が多いが、タイル、板金、屋根、大工など市内業者でも十分可能と見られる業種にも市外業者が積極的に入札参加を試みている。また、準市内業者が市内業者以上に入札参加申請業者の多い業種を見ると、鋼構造物、通信、浚渫、清掃施設がある。これら業種も市内業者では困難と思われる特殊技術や大型機械を要する工事が多い。

次に業者ランクを業種、地域との関係でみる。

業者をランク区分している業種は、土木、下水管、舗装、建築、工事電気、空調衛生、水道施設の7業種で、それ以外の24業種はランク分類していない。この理由としては、これまで発注件数が少なかった業種のため、またはこれまで比較的工事規模が一定の業種であったため、などが考えられるが、ランク区分していない業種はその理由を明確にする必要がある。また、ランク区分している業種の中で4ランクに分類されている業種は土木、下水管、建築の3業種で、3ランクに分類されているのが舗装、工事電気、空調衛生、水道施設である。この理由も明確にする必要がある。

Aランク業者は合計で1,505社であるが、このうち市外業者861社でAランク業者全体の57.2%を占めており、市内業者228社(同15.1%)、準市内業者416社(同27.6%)に比べ圧倒的に多い。

これに対し、Bランク業者は合計で574社であるが、このうち市内業者が342社とBランク業者全体の59.6%を占め、市外業者202社(同35.2%)、準市内業者30社(同5.2%)に比べ圧倒的に多い。さらにCランク業者では合計536社のうち、市内業者が396社とCランク業者全体の73.9%を占め、市外業者120社(同22.4%)、準市内業者20社(同3.7%)となっている。Dランク業者では全体業者203社のうち、市内業者が159社と全体の78.3%を占めており、Cランク、Dランクともに市内業者が圧倒的に多い。しかし、B、C、Dランクにおいても市外業者・準市内業者が30%~40%を占めている現状のランク制について問題がないかよく検討する必要がある。

表 3-1-2 07年度～08年度入札参加申請者の地域別業種別、ランク別分類

| 業種 | 業種数 | 市外業者 | | 市内業者 | | 準市内業者 | |
|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|
| | | ランク | 業者数 | ランク | 業者数 | ランク | 業者数 |
| 土木 | 616 | | 287 | | 229 | | 100 |
| | | A | 184 | A | 29 | A | 84 |
| | | B | 54 | B | 58 | B | 10 |
| | | C | 30 | C | 74 | C | 6 |
| | | D | 19 | D | 68 | D | 0 |
| 下水管 | 325 | | 113 | | 145 | | 67 |
| | | A | 80 | A | 31 | A | 65 |
| | | B | 21 | B | 79 | B | 2 |
| | | C | 7 | C | 18 | C | 0 |
| | | D | 5 | D | 17 | D | 0 |
| 舗装 | 356 | | 125 | | 179 | | 52 |
| | | A | 93 | A | 40 | A | 48 |
| | | B | 18 | B | 60 | B | 3 |
| | | C | 14 | C | 79 | C | 1 |
| 建築 | 410 | | 168 | | 171 | | 71 |
| | | A | 107 | A | 23 | A | 59 |
| | | B | 23 | B | 23 | B | 5 |
| | | C | 20 | C | 51 | C | 5 |
| | | D | 18 | D | 74 | D | 2 |
| 工事電気 | 453 | | 257 | | 134 | | 62 |
| | | A | 195 | A | 32 | A | 51 |
| | | B | 32 | B | 27 | B | 6 |
| | | C | 30 | C | 75 | C | 5 |
| 空調衛生 | 299 | | 124 | | 118 | | 57 |
| | | A | 82 | A | 31 | A | 53 |
| | | B | 31 | B | 33 | B | 3 |
| | | C | 11 | C | 54 | C | 1 |
| 水道施設 | 359 | | 151 | | 149 | | 59 |
| | | A | 120 | A | 42 | A | 56 |
| | | B | 23 | B | 62 | B | 1 |
| | | C | 8 | C | 45 | C | 2 |

| 業種 | 業種数 | 市外業者 | | 市内業者 | | 準市内業者 | |
|------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| | | ランク | 業者数 | ランク | 業者数 | ランク | 業者数 |
| 造園 | 190 | | 79 | | 94 | | 17 |
| 鋼構造物 | 146 | | 89 | | 19 | | 38 |
| 機械 | 320 | | 252 | | 36 | | 32 |
| 通信 | 230 | | 155 | | 33 | | 42 |
| 消防 | 96 | | 37 | | 36 | | 23 |
| 塗装 | 137 | | 50 | | 75 | | 12 |
| とび土工 | 314 | | 140 | | 144 | | 30 |
| 防水 | 75 | | 27 | | 42 | | 6 |
| 管内更生 | 45 | | 28 | | 13 | | 4 |
| 浚渫 | 66 | | 26 | | 8 | | 32 |
| 内装 | 106 | | 48 | | 52 | | 6 |
| 建具 | 29 | | 12 | | 11 | | 6 |
| さく井 | 16 | | 12 | | 2 | | 2 |
| タイル | 12 | | 9 | | 3 | | 0 |
| 熱絶縁 | 1 | | 1 | | 0 | | 0 |
| 板金 | 3 | | 2 | | 1 | | 0 |
| 石 | 12 | | 1 | | 11 | | 0 |
| ガラス | 8 | | 3 | | 5 | | 0 |
| 屋根 | 8 | | 7 | | 1 | | 0 |
| 左官 | 1 | | 0 | | 1 | | 0 |
| 大工 | 11 | | 6 | | 5 | | 0 |
| 鉄筋 | 2 | | 0 | | 2 | | 0 |
| 清掃施設 | 48 | | 38 | | 3 | | 7 |
| 軽微 | 143 | | 27 | | 103 | | 13 |
| 合計 | 4837 | | 2274 | | 1825 | | 738 |
| | | A | 861 | A | 228 | A | 416 |
| | | B | 202 | B | 342 | B | 30 |
| | | C | 120 | C | 396 | C | 20 |
| | | D | 42 | D | 159 | D | 2 |
| | | なし | 1049 | なし | 700 | なし | 270 |

3) 市発注工事のランク別発注標準について

川崎市では予定価格250万円以上の工事について、表3-1-3のような業種別に業者ランクにもとづく発注標準金額を決めている。例えば、土木工事ではAランク業者は6,000万円以上の予定価格工事に入札参加できるという仕組みである。Aランク業者がB等級の工事に入札参加することは基本的にはできない仕組みになっている。このよ

表 3-1-3

等級区分に対応する発注標準金額(工事請負契約)

| 業種 | 等級 | 発注標準金額 |
|---------|---------|-----------------------|
| 土木工事 | A | 6,000 万円以上 |
| | B | 2,000 万円以上 6,000 万円未満 |
| | C | 1,000 万円以上 2,000 万円未満 |
| | D | 1,000 万円未満 |
| 下水管きょ工事 | A | 7,000 万円以上 |
| | B | 3,000 万円以上 7,000 万円未満 |
| | C | 700 万円以上 3,000 万円未満 |
| | D | 700 万円未満 |
| 舗装工事 | A | 3,000 万円以上 |
| | B | 1,000 万円以上 3,000 万円未満 |
| | C | 1,000 万円未満 |
| 建築工事 | A | 3 億円以上 |
| | B | 7,000 万円以上 3 億円未満 |
| | C | 1,300 万円以上 7,000 万円未満 |
| | D | 1,300 万円未満 |
| 電気工事 | A | 5,000 万円以上 |
| | B | 1,500 万円以上 5,000 万円未満 |
| | C | 1,500 万円未満 |
| 空調衛生工事 | A | 5,000 万円以上 |
| | B | 1,500 万円以上 5,000 万円未満 |
| | C | 1,500 万円未満 |
| 水道施設工事 | A | 6,500 万円以上 |
| | B | 2,500 万円以上 6,500 万円未満 |
| | C | 2,500 万円未満 |
| その他の工事 | 等級区分なし。 | |

出所：川崎市「川崎市競争入札参加者選定規程」。

うに川崎市の入札制度の仕組みは、地域要件による市内・準市内・市外という区分および業種別業者ランクと発注標準による区分の2通りの条件による競争入札形態をとっている。しかし、地域要件はすべての発注工事に適用されるわけではない。また、業者ランクと発注標準金額との妥当性についても実態に照らして検討する必要がある。例えばAランク業者は6,000万円以上の土木工事に入札参加できるが、もう少し下限を引き上げる必要はないのか。Cランク業者は土木工事の1,000万円以上2,000万円未満となっているが枠が狭すぎるのではないかなどの問題である。

このランク毎の発注標準の決め方がどのようなルールに基づいているのか明確にする必要がある。

ある。さらに主要7業種以外は業者ランクが設定されていないため、発注標準金額も設定されていない。予定価格の小規模な工事にも市外業者や大手業者が参入できる仕組みとなっているが、もう少しきめ細かく業者ランクと発注標準を決める必要がある。

(2) 業種別、地域別、ランク別入札の実態の推移と特徴

1) 地域別、ランク別の受注件数と金額の実態の特徴

05年度から4年間の地域別、ランク別の受注件数と金額を示したのが表3-2-1である。まずランク別に各年度の金額を見ると最も受注量の多いランクはAランク業者で年度受注総額の半数前後を占めている。Aランク業者を地域別に見ると市内業者と準市内業者が金額面で拮抗している。05年度は市内が45.7%、準市内が47.0%、06年度は市内が49.8%、準市内が49.3%、07年度は市内が49.1%、準市内が45.7%、08年度は市内が56.4%、準市内が38.7%というように、次第にAランクにおける市内業者の受注比率が高くなってきている。一方B、C、Dランクにおいては圧倒的に市内業者の受注金額が多くなっている。しかし、金額合計をみると、Bランクで50億円前後、Cランクで15億~20億円、Dランクでは5億~6億円とAランクに比較して余りにも少ない。しかし、表3-1-2にあるように入札参加申請を行なった市内業者数はAランクが228社、Bランクが342社、Cランクが396社、Dランクが159社となっ

ており、B～Dランクは業者数の多さに対して発注金額が少ないと言わなければならない。特に市内業者は川崎市の工事に多くを依存しており、市内中小零細業者向けにB～Dランクへの事業量を増大させる工夫が必要である。

次にランクなしの工事は合計でみると、05年度111億円、06年度89億円、07年度237億円、08年度144億円と年度によってバラツキがあるが、Aランクに次いで受注量が多い。そしてこれを最も多く受注しているのは市外業者で準市内業者との合計で見ると、05年度は86億円(ランクなし合計の77.5%)、06年度は60億円(同67.4%)、07年度は214億円(同90.3%)、08年度は112億円(同77.8%)というように市外、準市内業者の独壇場となっている。結果的にランク分類しないことにより、市外の大手業者に有利な競争条件となっていることがうかがわれる。

アンケート結果を見ても、市内業者優先発注への改善施策では「発注標準の改善とランク別業者数に見合った発注工事量の確保」に注目が集まっている。

表 3-2-1 地域別、ランク別の受注件数と金額の推移

単位：件、千円

| | | 市内業者 | | 市外業者 | | 準市内業者 | | 合計 | |
|-------|--------|------|------------|------|------------|-------|------------|------|------------|
| | | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| Aランク | 2005年度 | 113 | 9,753,730 | 17 | 1,553,938 | 45 | 10,039,321 | 175 | 21,346,989 |
| | 2006年度 | 117 | 11,917,321 | 20 | 214,379 | 46 | 11,818,573 | 183 | 23,950,273 |
| | 2007年度 | 99 | 13,163,975 | 26 | 1,370,068 | 61 | 12,272,574 | 186 | 26,806,617 |
| | 2008年度 | 127 | 17,098,889 | 25 | 1,486,363 | 63 | 11,723,053 | 215 | 30,308,305 |
| Bランク | 2005年度 | 181 | 5,004,270 | | | 1 | 12,390 | 182 | 5,016,660 |
| | 2006年度 | 217 | 5,852,684 | 2 | 8,232 | 1 | 3,108 | 220 | 5,864,024 |
| | 2007年度 | 197 | 4,580,621 | | | 5 | 144,417 | 202 | 4,725,038 |
| | 2008年度 | 202 | 5,188,747 | 2 | 15,561 | 1 | 41,359 | 205 | 5,245,667 |
| Cランク | 2005年度 | 210 | 1,674,435 | 1 | 5,880 | | | 211 | 1,680,315 |
| | 2006年度 | 211 | 1,693,839 | | | | | 211 | 1,693,839 |
| | 2007年度 | 172 | 1,451,975 | | | | | 172 | 1,451,975 |
| | 2008年度 | 208 | 2,102,274 | | | | | 208 | 2,102,274 |
| Dランク | 2005年度 | 109 | 563,589 | | | | | 109 | 563,589 |
| | 2006年度 | 116 | 583,107 | | | | | 116 | 583,107 |
| | 2007年度 | 110 | 584,758 | | | | | 110 | 584,758 |
| | 2008年度 | 86 | 494,949 | | | | | 86 | 494,949 |
| ランクなし | 2005年度 | 218 | 2,535,861 | 60 | 4,503,311 | 33 | 4,100,360 | 311 | 11,139,532 |
| | 2006年度 | 264 | 2,911,659 | 58 | 3,889,187 | 31 | 2,093,113 | 353 | 8,893,959 |
| | 2007年度 | 233 | 2,249,297 | 50 | 16,396,008 | 27 | 5,016,353 | 310 | 23,661,658 |
| | 2008年度 | 262 | 3,248,884 | 48 | 9,467,652 | 18 | 1,682,282 | 328 | 14,398,818 |
| 合計 | 2005年度 | 831 | 19,531,885 | 78 | 6,063,129 | 79 | 14,152,071 | 988 | 39,747,085 |
| | 2006年度 | 925 | 22,958,610 | 80 | 4,111,798 | 78 | 13,942,766 | 1083 | 41,013,174 |
| | 2007年度 | 811 | 22,030,626 | 76 | 17,766,076 | 93 | 17,433,344 | 980 | 57,230,046 |
| | 2008年度 | 885 | 28,133,743 | 75 | 10,969,576 | 82 | 13,446,694 | 1042 | 52,550,013 |

注：但し、水道局、交通局、病院局は含まれていない。

(参考)市内業者優先発注にする上での改善内容(業者アンケートより)

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------------------------------|-----|--------|
| 大規模工事を可能な限り分離・分割発注し、市内業者が受注できるようにする | 29 | 26.9% |
| 発注標準の改善とランク別業者数に見合った発注工事量の確保 | 27 | 25.0% |
| 地域要件を強化して、市外、準市内業者の入札参加を制限 | 22 | 20.4% |
| 総合評価方式の評価項目に地域要件のポイントを高くする | 12 | 11.1% |
| 主観評価制度をより活用 | 7 | 6.5% |
| 市内業者同士のJV(共同企業体)を増やす | 6 | 5.6% |
| 準市内業者という地域区分をなくし市外業者とする | 2 | 1.9% |
| 無回答 | 3 | 2.8% |
| 合計 | 108 | 100.0% |

2) 08年度の業種別に見たランク別、地域別の受注実態

08年度の業種を中心に受注金額をランクと地域との関係で実態を示したのが表3-2-2である。まず業種別で最も受注金額の多いのは土木の104億円である。これをランク別・地域別にみると、最も多く受注しているのは準市内Aランクの75億円で、次いで市内Bランク、Aランクの約9億円、次いで市内Cランクの約6億円となっている。

土木に次いで受注量の多いのが建築の102億円である。このうち市内Aランクが66億円、次いで準市内Aランクが13億円、次いで市内Bランクが12億円と続く。土木・建築という総合業種では、比較的市内業者が施工可能な案件が多いはずであるが、土木では準市内Aランクが件数で39件と1件平均2億円程度の工事を受注している。この点ではランクとともにいっそう地域要件を重視する必要がある。また建築では比較的市内業者が健闘しているが、その中でC、Dランク業者の受注量が少ない。やはり、市内業者の中でも小零細業者の受注しやすい発注標準の見直しが求められる。同様に下水管では市内A、Bランク業者が多く受注しているが、C、Dランク業者の受注は皆無である。小零細業者への配分のための分離分割発注を含めた工夫が必要である。

また、ランク区分のない業種のうち機械は全体48億円のうち市外が33億円、準市内が13億円と市内業者以外が96%を受注している。この点ではさまざまな市内業者への発注の工夫が必要である。

表 3-2-2 08 年度業種別、地域別、ランク別受注件数、金額一覧表

単位：件、千円

| 業種 | 契約総件 | 契約総金額 | 市内業者 | | | 市外業者 | | | 準市内業者 | | |
|-------|-------|------------|---------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|----|-----------|
| | | | ランク | 件数 | 金額 | ランク | 件数 | 金額 | ランク | 件数 | 金額 |
| 土木 | 225 | 10,449,379 | A | 15 | 921,404 | A | | | A | 39 | 7,500,349 |
| | | | B | 48 | 949,074 | B | | | B | 1 | 41,359 |
| | | | C | 49 | 622,244 | C | | | C | | |
| | | | D | 73 | 414,947 | D | | | D | | |
| 下水管 | 77 | 8,262,284 | A | 34 | 5,124,465 | A | | | A | 7 | 1,951,842 |
| | | | B | 36 | 1,185,977 | B | | | B | | |
| | | | C | | | C | | | C | | |
| | | | D | | | D | | | D | | |
| 舗装 | 185 | 2,983,231 | A | 30 | 1,205,366 | A | | | A | 2 | 179,603 |
| | | | B | 75 | 1,124,270 | B | | | B | | |
| | | | C | 78 | 473,992 | C | | | C | | |
| 建築 | 81 | 10,249,407 | A | 19 | 6,630,703 | A | 16 | 520,894 | A | 5 | 1,290,964 |
| | | | B | 12 | 1,194,651 | B | | | B | | |
| | | | C | 16 | 532,193 | C | | | C | | |
| | | | D | 13 | 80,002 | D | | | D | | |
| 電気 | 87 | 3,596,669 | A | 11 | 1,242,231 | A | 8 | 961,091 | A | 8 | 758,146 |
| | | | B | 16 | 324,020 | B | 1 | 5,586 | B | | |
| | | | C | 43 | 305,595 | C | | | C | | |
| 空調・衛生 | 59 | 2,610,227 | A | 18 | 1,974,720 | A | 1 | 4,378 | A | 2 | 42,149 |
| | | | B | 15 | 410,755 | B | 1 | 9,975 | B | | |
| | | | C | 22 | 168,250 | C | | | C | | |
| 業種 | 約総件 | 契約総金額 | 市内業者 | | 市外業者 | | 準市内業者 | | | | |
| | | | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | | | |
| 造園 | 51 | 993,929 | 51 | 993,929 | | | | | | | |
| 鋼構造物 | 3 | 295,636 | 2 | 68,611 | | | 1 | 227,025 | | | |
| 機械 | 58 | 4,836,849 | 13 | 197,095 | 34 | 3,337,479 | 11 | 1,302,275 | | | |
| 通信 | 11 | 126,100 | 7 | 78,487 | 2 | 16,968 | 2 | 30,645 | | | |
| 消防 | 7 | 83,755 | 6 | 79,713 | | | 1 | 4,042 | | | |
| 塗装 | 66 | 692,449 | 66 | 692,449 | | | | | | | |
| とび土工 | 93 | 821,909 | 93 | 821,909 | | | | | | | |
| 防水 | 8 | 187,897 | 8 | 187,897 | | | | | | | |
| しゅんせつ | 3 | 118,295 | | | | | 3 | 118,295 | | | |
| 内装 | 4 | 14,322 | 4 | 14,322 | | | | | | | |
| 建具 | 4 | 80,710 | 4 | 80,710 | | | | | | | |
| 清掃施設 | 12 | 6,113,205 | | | 12 | 6,113,205 | | | | | |
| 軽微 | 8 | 33,762 | 8 | 33,762 | | | | | | | |
| 合計 | 1,042 | 52,550,013 | 885 | 28,133,743 | 75 | 10,969,576 | 82 | 13,446,694 | | | |
| | | | Aランク合計 | 127 | 17,098,889 | 25 | 1,486,363 | 63 | 11,723,053 | | |
| | | | Bランク合計 | 202 | 5,188,747 | 2 | 15,561 | 1 | 41,359 | | |
| | | | Cランク合計 | 208 | 2,102,274 | | | | | | |
| | | | Dランク合計 | 86 | 494,949 | | | | | | |
| | | | ランクなし合計 | 262 | 3,248,884 | 48 | 9,467,652 | 18 | 1,682,282 | | |

(3) 工事契約の入札形態との関係からみた特徴

1) 入札形態の推移と特徴

川崎市では08年4月に「川崎市一般競争入札実施要綱」が改定施行された。その第2条では、一般競争入札の対象が概ね1千万円以上の工事とすることが定められた。但し、第2項において「財政局長と工事担当局長の協議により、一般競争入札に付することが適当でないとする場合は、他の契約方法により実施することができるものとする」と若干柔軟な姿勢がとられている。

川崎市の公共工事に関する入札形態は一般競争入札と指名競争入札及び随意契約に

分けられている。表 3-3-1 は 05 年度から 4 年間の入札形態別落札件数の推移である。

件数では 05 年度では指名競争入札が 818 件と全体件数の 70.6% を占め圧倒的に指名競争入札が中心であった。しかし、06 年度以降は一般競争入札と指名競争入札の件数は拮抗から少しずつ一般競争入札が多くなり、08 年度では一般競争入札 636 件に対して、指名競争入札 455 件というように件数においても一般競争入札が主体となってきた。

一方、入札形態別に落札金額の推移を見たのが表 3-3-2 である。金額ベースでは 05 年度においてすでに一般競争入札が 319 億円と全体の 70.4% を占め、指名競争入札は 89 億円と 19.7% を占めるに過ぎない。さらにその差は年度ごとに開き、08 年度には一般競争入札が 80.8%、指名競争入札が 4.6% と圧倒的に一般競争入札が主流となってしまった。

同時に入札形態で注目されるのが随意契約である。表 3-3-1 の件数ベースでは 05 年度の 97 件から 08 年度では 72 件と縮小傾向を示しているのであるが、表 3-3-2 の金額ベースでは 05 年度の 45 億円から 08 年度は 90 億円へと 2 倍化している。一方で競争促進的な一般競争入札を大幅に増大させながら、もう一方で競争制限的な随意契約が増大しているという複雑な入札形態が進行しているといえる。

表 3-3-1 入札形態別落札件数の推移

単位：件、%

| 区分 | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|--------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1,158 | 100.0 | 1,213 | 100.0 | 1,120 | 100.0 | 1,164 | 100.0 |
| 一般競争入札 | 243 | 21.0 | 565 | 46.6 | 558 | 49.8 | 636 | 54.6 |
| 指名競争入札 | 818 | 70.6 | 555 | 45.8 | 483 | 43.1 | 455 | 39.1 |
| 随意契約 | 97 | 8.4 | 93 | 7.7 | 79 | 7.1 | 72 | 6.2 |
| 不明 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.1 |

表 3-3-2 入札形態別落札金額の推移

単位：百万円、%

| 区分 | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|--------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| 一般競争入札 | 31,944 | 70.4 | 41,857 | 89.0 | 60,003 | 93.4 | 49,862 | 80.8 |
| 指名競争入札 | 8,948 | 19.7 | 3,014 | 6.4 | 2,400 | 3.7 | 2,829 | 4.6 |
| 随意契約 | 4,514 | 9.9 | 2,135 | 4.5 | 1,874 | 2.9 | 9,019 | 14.6 |
| 不明 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0.0 |

表 3-3-3 入札形態別 1 件あたりの落札金額の推移

単位：百万円

| 区分 | 2005 年度 | 2006 年度 | 2007 年度 | 2008 年度 |
|--------|---------|---------|---------|---------|
| 全体 | 39 | 39 | 57 | 53 |
| 一般競争入札 | 131 | 74 | 108 | 78 |
| 指名競争入札 | 11 | 5 | 5 | 6 |
| 随意契約 | 47 | 23 | 24 | 125 |
| 不明 | - | - | - | 1 |

また、表 3-3-3 は一件あたりの平均落札金額を入札形態別に推移をみたものである。指名競争入札では 05 年度は一件あたり 1 千万円を超えていたが、06 年度からは一件平均 500 万円～600 万円と「実施要綱」どおり小額工事のみになってきている。

一方、一般競争入札は概ね 1 千万円以上となるに従い、05 年度の一件あたり 1 億 3 千万円から 08 年度 7 千 800 万円へとレベルが下降してきている。

ところが、随意契約は 05 年度には一件あたり平均 4,650 万円だったのが、08 年度では一件あたり平均 1 億 2,500 万円と大規模になっている。随意契約の実態は別途言及するとして、3 つの入札形態の大きな変化がこの 4 年間で実行されたということがわかる。

2) 08 年度の入札形態を工事規模からみた特徴

08 年度から一般競争入札は原則として、予定価格（税込）が 1 千万円以上の案件について実施されているが、実際の発注価格との関係で入札形態をみたのが表 3-3-4 である。これで見ると、一般競争入札において、1 千万円未満工事が 16 件あるが、圧倒的に集中しているのが発注価格 1 千万円以上 5 千万円未満で 395 件と全体件数（636 件）の 62.1%を占めている。これに対して指名競争入札は 1 千万円以上が 21 件あるが、1 百万円以上 5 百万円未満が 218 件と全体件数（453 件）の 48.1%を占め、さらに 5 百万円以上 1 千万円未満が 194 件（同 42.8%）というように、1 百万円以上 1 千万円未満の工事に 90.9%とこの枠内に集中している。但し、1 千万円以上が 21 件含まれている。これらが財政局長と工事担当局長の協議により決められたということになるが、その理由の妥当性を明確にする必要があるだろう。

さらに随意契約を見ると 1 千万円以上 5 千万円未満が 32 件と全体（72 件）の 44.4%とこの領域に集中しているが、一方で 50 億円以上の規模の工事が一件随意契約で落札しているのを含め、1 億円以上の大規模工事において随意契約が 10 件存在する。

表 3-3-4 発注工事規模と入札形態

単位：上段・件、下段・%

| 1 件当たり 工事金額→ | 全 体 | 50 万 円 未 満 | 50 万 1 百 万 円 | 1 百 万 5 百 万 円 | 5 百 万 1 千 万 円 | 1 千 万 5 千 万 円 | 5 千 万 1 億 円 | 1 億 5 億 円 | 5 億 10 億 円 | 10 億 50 億 円 | 50 億 円 以上 |
|-----------------|--------|------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|--------------------|
| 全体（件数） | 1164 | 3 | 19 | 232 | 222 | 446 | 101 | 129 | 7 | 4 | 1 |
| 全体（比率） | 100.0 | 0.3 | 1.6 | 19.9 | 19.1 | 38.3 | 8.7 | 11.1 | 0.6 | 0.3 | 0.1 |
| 一般競争入札 | 636 | - | - | 2 | 14 | 395 | 95 | 120 | 6 | 4 | - |
| | 100.0 | - | - | 0.3 | 2.2 | 62.1 | 14.9 | 18.9 | 0.9 | 0.6 | - |
| 指名競争入札 | 455 | 3 | 17 | 218 | 196 | 19 | 1 | 1 | - | - | - |
| | 100.0 | 0.7 | 3.7 | 47.9 | 43.1 | 4.2 | 0.2 | 0.2 | - | - | - |
| 随意契約 | 72 | - | 1 | 12 | 12 | 32 | 5 | 8 | 1 | - | 1 |
| | 100.0 | - | 1.4 | 16.7 | 16.7 | 44.4 | 6.9 | 11.1 | 1.4 | - | 1.4 |
| 不明 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 100.0 | - | 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - |

3) 08年度の入札形態を資本金階層から見た特徴

次に入札形態別、資本金階層別に工事件数を見てみたのが表 3-3-5 である。一般競争入札で最も多く受注している資本金階層別の業者は資本金 1 千万円以上 3 千万円未満の業者で全体 636 件のうち 260 件 (40.9%)、資本金 3 千万円以上 5 千万円未満業者が 186 件 (同 29.2%) を受注し、この両階層で全体件数の 70.1% を受注している。

一方、指名競争入札では資本金 1 千万円以上 3 千万円未満の業者が 270 件と全体件数 455 件の 59.2% を受注している。特に資本金 3 千万円未満業者が指名競争入札全体の 77.1%、351 件を受注していることになる。このように指名競争入札は市内の中小零細業者によって行なわれているが、一方でこの階層の業者が一般競争入札の 45.7%、290 件を受注していることになり、これまでより厳しい競争入札の環境におかれつつあるといえる。

さらに随意契約では、資本金 50 億円以上の大企業の 10 件を含め、資本金 1 億円以上の大手・中堅業者が 36 件 (同 52.2%) も競争を排除した入札形態で受注している。

業者アンケートにおいても一般競争入札の予定価格の下限を引き下げることにについて過当競争防止の視点から意見が出されているので紹介する。

《業者アンケートより》

「一般競争入札をやめて指名競争入札に替えればよい。直近に受注した業者は指名からはず

「指名制度の再開。不適格業者も一般競争入札では参加可能なため」

「過当競争を防止するには、全ての公共工事を指名入札として、工事金額は行政で決定。行政の出した金額で施工可能な業者が受注。施工可能な業者が複数いる場合、くじ引きにすればよい。公平性が守られ、無理な金額で受注しなくても良くなる。今は、公共工事も民間工事も少なくなっていて、競争するなということ自体、無理がある」

表 3-3-5 入札形態別、資本金階層別契約件数

単位：件、%

| 資本金区分 | 件数 | | | | | 構成比 | | | | |
|----------|-------|------|------|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 全体 | 一般競争 | 指名競争 | 随意契約 | 不明 | 全体 | 一般競争 | 指名競争 | 随意契約 | 不明 |
| 全体 | 1,164 | 636 | 455 | 72 | 1 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 5 百万円未満 | 75 | 22 | 52 | 1 | - | 6.4 | 3.5 | 11.4 | 1.4 | - |
| ～1 千万円満 | 37 | 8 | 29 | - | - | 3.2 | 1.3 | 6.4 | - | - |
| ～3 千万円未満 | 537 | 260 | 270 | 7 | - | 46.1 | 40.9 | 59.3 | 9.7 | - |
| ～5 千万円未満 | 243 | 186 | 52 | 4 | 1 | 20.9 | 29.2 | 11.4 | 5.6 | 100.0 |
| ～1 億円未満 | 54 | 34 | 15 | 5 | - | 4.6 | 5.3 | 3.3 | 6.9 | - |
| ～10 億円未満 | 75 | 34 | 26 | 15 | - | 6.4 | 5.3 | 5.7 | 20.8 | - |
| ～50 億円未満 | 24 | 15 | 1 | 8 | - | 2.1 | 2.4 | 0.2 | 11.1 | - |
| 50 億円以上 | 58 | 32 | 10 | 16 | - | 5.0 | 5.0 | 2.2 | 22.2 | - |
| JV | 59 | 43 | - | 16 | - | 5.1 | 6.8 | - | 22.2 | - |
| 不明 | 2 | 2 | - | - | - | 0.2 | 0.3 | - | - | - |

(4) 随意契約の推移と特徴

(随意契約の 05 年度、06 年度、07 年度、08 年度一覧表は別添資料を参照)

1) 随意契約の件数と金額の推移

随意契約は件数においては 05 年度の 97 件から 08 年度の 72 件へと減少傾向にある。しかし金額では 05 年度の 45 億円から 08 年度の 90 億円へと 2 倍に増加している。つまり、随意契約の一件あたりの金額規模が拡大しているのが特徴である。

表 3-4-1 随意契約の件数と金額の推移

単位：百万円、件、%

| | | 2005 年度 | | 2006 年度 | | 2007 年度 | | 2008 年度 | |
|----|------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 |
| 金額 | 全体 | 45,406 | 100.0 | 47,005 | 100.0 | 64,276 | 100.0 | 61,710 | 100.0 |
| | 随意契約 | 4,514 | 9.9 | 2,135 | 4.5 | 1,874 | 2.9 | 9,019 | 14.6 |
| 件数 | 全体 | 1,158 | 100.0 | 1,213 | 100.0 | 1,120 | 100.0 | 1,164 | 100.0 |
| | 随意契約 | 97 | 8.4 | 93 | 7.7 | 79 | 7.1 | 72 | 6.2 |

2) 随意契約工事の業種からみた特徴

05 年度から 08 年度の随意契約を主要な業種別に件数と金額を見てみると、毎年度多く発注されている業種は「清掃施設」で 4 年間の合計では、件数では 57 件だが、金額では 99 億円も発注されている。特に 05 年度では「橋処理センター基幹改良工事」が 22 億 4000 万円で三菱重工業が随意契約で受注している。この予定価格は 22 億 8600 万円で落札率は 98.0% である。さらに 08 年度には「浮島処理センター基幹改良工事」を 50 億 4,000 万円で J F E 環境ソリューションズが随意契約で受注している。この予定価格は 50 億 8,000 万円で落札率は 99.2% である。次に多い業種は「機械」で 4 年間に 68 件、18 億円発注されている。徐々に増加しているが毎年度一定額が随意契約で発注されている。「土木」は 4 年間で 12 億円発注されているが、主に 05 年度、06 年度に集中している。逆に「下水管渠」は 9 億円発注されているが 08 年度に集中している。業種全体の特徴としては、土木や建築など建設工事関係よりも清掃、機械、空調、電気、水道施設など設備関係の業種に随意契約が集中している。

表 3-4-2 業種からみた随意契約の推移

単位：件、百万円

| | | 清掃施設 | 機械 | 空調衛生 | 建築 | 土木 | とび・土工 | 電気 | 水道施設 | 下水管渠 |
|---------|----|-------|-------|------|-----|-------|-------|-----|------|------|
| 2005 年度 | 件数 | 17 | 23 | 5 | 2 | 7 | 3 | 5 | 0 | 0 |
| | 金額 | 2,550 | 292 | 28 | 5 | 617 | 317 | 67 | 0 | 0 |
| 2006 年度 | 件数 | 18 | 17 | 7 | 19 | 8 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | 金額 | 695 | 221 | 116 | 360 | 449 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 2007 年度 | 件数 | 10 | 18 | 8 | 6 | 5 | 0 | 14 | 10 | 2 |
| | 金額 | 581 | 551 | 69 | 69 | 131 | 0 | 265 | 77 | 11 |
| 2008 年度 | 件数 | 12 | 10 | 6 | 9 | 1 | 0 | 8 | 0 | 3 |
| | 金額 | 6,113 | 785 | 144 | 334 | 47 | 0 | 197 | 0 | 929 |
| 合計 | 件数 | 57 | 68 | 26 | 36 | 21 | 7 | 27 | 10 | 5 |
| | 金額 | 9,939 | 1,849 | 357 | 768 | 1,244 | 318 | 529 | 77 | 940 |

3) 随意契約工事を受注業者からみた特徴

表 3-4-3 4年間の主要随意契約業者一覧

単位:件、千円

| | 業者名 | 件数 | 金額 |
|------|--------------------|---------|-----------|
| 05年度 | 富士電機システムズ | 2 | 28,400 |
| | J F Eプラント&サービス | 9 | 135,840 |
| | 三菱重工環境エンジニアリング | 6 | 172,400 |
| | 東京瓦斯 | 6 | 30,908 |
| | 三菱重工業 | 1 | 2,240,000 |
| | 月島機械 | 1 | 35,300 |
| | 東洋テクノ | 2 | 301,710 |
| | 荏原冷熱システム | 2 | 9,199 |
| | 荏原製作所 | 3 | 67,100 |
| | クボタ | 2 | 10,750 |
| | 東芝 | 2 | 40,168 |
| | 宮田・吉孝共同企業体 | 1 | 123,000 |
| | 東亜・みらい共同企業体 | 1 | 211,000 |
| | 鹿島・鉄建共同企業体 | 2 | 162,000 |
| 清水建設 | 1 | 226,000 | |
| 06年度 | J F Eプラント&サービス | 8 | 550,700 |
| | 三菱重工環境エンジニアリング | 7 | 90,894 |
| | 荏原製作所 | 2 | 30,350 |
| | 川崎重工業 | 2 | 3,750 |
| | 月島機械 | 1 | 38,500 |
| | J F E環境ソリューションズ | 2 | 13,100 |
| | 東芝 | 4 | 52,272 |
| | 東亜建設工業 | 2 | 142,000 |
| | 三井住友・藤木共同企業体 | 1 | 117,000 |
| | 小沼・喜代美共同企業体 | 1 | 129,000 |
| | 三菱重工環境エンジニアリング | 4 | 498,700 |
| 07年度 | J F E環境ソリューションズ | 7 | 291,260 |
| | 富士電機水環境システムズ | 3 | 133,300 |
| | 月島機械 | 2 | 114,000 |
| | 荏原製作所 | 4 | 88,700 |
| | 東芝 | 7 | 85,650 |
| | 東京瓦斯 | 4 | 28,423 |
| | 青木あすなろ・小沼共同企業体 | 1 | 51,514 |
| | J F E環境ソリューションズ | 8 | 5,583,900 |
| 08年度 | 三菱重工環境エンジニアリング | 5 | 494,200 |
| | 東芝 | 2 | 65,800 |
| | 月島機械 | 1 | 34,600 |
| | 富士ホイスト工業 | 1 | 315,000 |
| | 荏原製作所 | 1 | 55,000 |
| | 東京瓦斯 | 2 | 40,142 |
| | 前田・東洋・藤木共同企業体 | 1 | 775,000 |
| | 青木あすなろ・みらい・小沼共同企業体 | 1 | 60,860 |
| | 喜代美・藤生・高橋共同企業体 | 1 | 171,500 |

05年度から4年間の随意契約工事を主に受注している業者をピックアップしたのが表3-4-3である。毎年度随意契約工事を件数、金額とも大量に受注しているのがJ F E関係(02年、N K Kと川崎製鉄が合併して生まれた企業)と三菱重工業関係である。J F E関係では05年度9件、1億3584億円、06年度10件、5億6380万円、07年度7件、2億9126万円、08年度8件、55億8390万円と4年間合計で34件、65億7480万円を随意契約で受注している

三菱重工関係では、05年度には7件、24億1240万円、06年度では7件、9089万円、07年度では4件、4億9870万円、08年度では4件、4億9420万円と4年間合計で22件、34億9619万円を随意契約で受注している。この2社の受注業種はほとんど「清掃施設」で市が発注する浮島処理センター、南部リサイクルセンターはJ F Eが主に受注し、堤根処理センター、橘処理

センター、加瀬クリーンセンター、王禅寺処理センターは三菱重工が受注している。基本的に清掃施設の受注が競争排他的にこの2社が独占していることがわかる。

その他の主な受注先として、「機械」では東京瓦斯、月島機械、荏原製作所が系統的に受注している。また「電気」では東芝、富士電機が系統的に受注している。

4) 随意契約の落札率の推移と特徴

表 3-4-4 随意契約の落札率の推移

単位:千円、%

| | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 予定価格 | 4,434,277 | 2,052,762 | 1,838,579 | 8,678,875 |
| 契約金額 | 4,331,108 | 2,009,836 | 1,808,180 | 8,595,092 |
| 落札率 | 97.7 | 97.9 | 98.3 | 99.0 |

随意契約は一般的に契約予定業者一社又は数社から見積りを依頼し、発注者と受注予定者がネゴ折衝し、受注価格を決定する。そのため、発注者自ら予定価格を算出するわけではなく、業者からの見積書を参考に予定

価格として明示することになる。従って、随意契約における予定価格と契約金額の差は発注者の値引き価格として位置づけられる。この場合、落札率とは正式には値引き額を差し引いた見積り金額に対する契約率ということになる。表 3-4-4 は契約率という意味での落札率の推移を示したものである。各年度随意契約の総予定価格と総契約金額との比率として算出（加重平均値）したため、表 3-6-5 とは異なった率となっている。これで見ると 05 年度以降、随意契約の落札率は高くなる傾向となっている。08 年度では発注者の値引率が 1% とほぼ受注予定者の言い値で決定しているといえる。

5) 随意契約の理由からみた推移と特徴 (但し、財政局契約分のみ)

表 3-4-5 随意契約理由別件数の推移

単位:件

| | 川崎市 | | | | | | 埼玉県 | |
|-------|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
| | 合計 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | | 2008年度 | |
| | | | | | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 随契案件数 | 272 | 66 | 78 | 77 | 51 | 100.0 | 580 | 100.0 |
| ケース 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 442 | 76.2 |
| ケース 2 | 199 | 52 | 52 | 61 | 34 | 66.7 | 67 | 11.6 |
| ケース 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| ケース 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| ケース 5 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0.0 | 31 | 5.3 |
| ケース 6 | 69 | 13 | 24 | 15 | 17 | 33.3 | 5 | 0.9 |
| ケース 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 4 | 0.7 |
| ケース 8 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0.0 | 30 | 5.2 |
| ケース 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 |

地方自治法施行令第 167 条の 2 には随意契約が可能となるケースが別表のように 9 項目明示されている。川崎市の 4 年間の随意契約は各年度ともケース 2 とケース 6 の理由によるものが多くを占めている(表 3-4-5)。ケース 2 は「既存設備の修理や加工のための契約でその工事の性質や目的が競争入札に適しないも

の」という理由であるが、川崎市の随意契約の同様の理由の事例を挙げると、「工事にあたり、本件該当機器の構造を熟知した技術者が、設計当初からの技術基準（JIS 等の基準を基に定めている社内基準）を考慮し、整備等の施工管理にあたらなければ、該当機器の長期にわたる性能の維持に支障をきたす。取替部品についても、本ポンプのために設計・製作されたもので、本機の製造メーカーである荏原製作所で供給している。また整備後の性能試験は技術面において他社での施工ができない」のように、主に「清掃施設」や「機械」「電気」など製造メーカーによる受注案件に集中している。今後、設計がメーカーの特殊技術や特定材料等で施工する場合は、必然的に随意契約が増加する可能性がある。入札における競争性排除の随意契約のあり方についてさらに検討を深める必要がある。

業者アンケートの自由回答欄にも以下のような注目すべき意見が寄せられている。

「ごみ焼却施設に関する工事において、プラントメーカーへの随意契約が行なわれているが、これはおかしい。プラントメーカーでないと、あたかも施工できないと『理由書』に書かれているが、そんなことはない。川崎市の努力不足である。他の自治体は既に入札制度改革により、上記分野においても『入札』が行なわれている。プラントメーカーの言いなりでは、入札制度改革は実現できない。参考までに神奈川県内でも上記分野においてプラントメーカーを排除し、中小企業が落札してきちんとした施工が行なわれている。それにより、プラントメーカーの 1/3 くらいの予算で施工ができる。本年から大磯町でも随意契約から『一般競争入札』に切り替えている。おそらく町長が代わられたこともあるのだろうが、プラントメーカーでなくてもできるとふんだからであろう。この分野においては、予定価格があまりにも高すぎる。随意契約の見直しをするべきである。プラントメーカーでないと施工できないというのは『ウソ』。言い訳にすぎない。実際にプラントメーカーでない会社が工事を行なっている自治体はいくらでもある。」

また、ケース 6 は「競争入札に付することが不利と認められるとき」という理由であるが、川崎市の事例を挙げると、「この工事は、現在施工中の設備工事にアスベスト含有材料が使用されていたことが判明したことによる工事。施工中の配管との関係があり、別業者に発注するとかし等の責任が不明瞭になる」のように、安全対策上や第三者との関係、など何らかの関係で施工業者を確定せざるを得ない場合などに採用されている。主に建設業者およびその J V による受注案件に集中している。

一方、川崎市の随意契約にはケース 1 によるものが一件もない。予定価格が一定金額以下の小額工事で競争に付するにあたいしないケースであるが、小額工事についても競争入札を行なっている。本来の随意契約の主旨から見た場合、小額工事にこそ積極的に随意契約を採用すべきである。

この点では埼玉県が行なっている随意契約が参考になる。埼玉県の 08 年度の随意契約件数は 580 件あるが、そのうちケース 1 の理由によるものが 442 件と随意契約件数全体の 76% を占めている。そもそも随意契約の金額はほとんど一件 250 万円以下の案件で、川崎市のように一件平均 1 億 3,000 万円(08 年度)というのは余りにも異常といわざるを得ない。

別表

《地方自治法施行令第167条の2》

- 一 売買、貸借、請負その他の契約でその予定価格（貸借の契約にあつては、予定賃貸借料の年額又は総額）が別表第五上欄に掲げる契約の種類に応じ同表下欄に定める額の範囲内において普通地方公共団体の規則で定める額を超えないものをするとき。
- 二 不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるため必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。
- 三 障害者自立支援法（平成十七年法律第百二十三号）第五条第十二項に規定する障害者支援施設（以下この号において「障害者支援施設」という。）、同条第二十一項に規定する地域活動支援センター（以下この号において「地域活動支援センター」という。）、同条第一項に規定する障害福祉サービス事業（同条第六項に規定する生活介護、同条第十四項に規定する就労移行支援又は同条第十五項に規定する就労継続支援を行う事業に限る。以下この号において「障害福祉サービス事業」という。）を行う施設若しくは小規模作業所（障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）第二条に規定する障害者の地域における作業活動の場として同法第十五条第三項の規定により必要な費用の助成を受けている施設をいう。以下この号において同じ。）において製作された物品を普通地方公共団体の規則で定める手続により買い入れる契約、障害者支援施設、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業を行う施設、小規模作業所、高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和四十六年法律第六十八号）第四十一条第一項に規定するシルバー人材センター連合若しくは同条第二項に規定するシルバー人材センターから普通地方公共団体の規則で定める手続により役務の提供を受ける契約又は母子及び寡婦福祉法（昭和三十九年法律第百二十九号）第六条第六項に規定する母子福祉団体が行う事業でその事業に使用される者が主として同項に規定する配偶者のない女子で現に児童を扶養しているもの及び同条第三項に規定する寡婦であるものに係る役務の提供を当該母子福祉団体から普通地方公共団体の規則で定める手続により受ける契約をするとき。
- 四 新商品の生産により新たな事業分野の開拓を図る者として総務省令で定めるところにより普通地方公共団体の長の認定を受けた者が新商品として生産する物品を、普通地方公共団体の規則で定める手続により、買い入れる契約をするとき。
- 五 緊急の必要により競争入札に付することができないとき。
- 六 競争入札に付することが不利と認められるとき。
- 七 時価に比して著しく有利な価格で契約を締結することができる見込みのあるとき。
- 八 競争入札に付し入札者がいないとき、又は再度の入札に付し落札者がいないとき。
- 九 落札者が契約を締結しないとき。

(5) 総合評価型入札の状況

1) 試行実施件数の状況

表 3-5-1

総合評価方式試行実施件数
(資料入手済みの案件)

| | | 2007 年度 | 2008 年度 |
|-----------|-------|------------|------------|
| 件数 | 簡易型 | 7 | 6 |
| | 特別簡易型 | — | 15 |
| | 計 | 7 | 21 |
| 工種 (件) | 土木 | 5 | 19 |
| | 建築 | 1 | 0 |
| | 防水 | 0 | 1 |
| | 電気 | 1 | 1 |
| | 計 | 7 | 21 |

川崎市では 07 年 7 月に「川崎市総合評価方式の試行方法（ガイドライン）」を策定した。試行する総合評価方式の種類は「簡易型」とし、総合評価点の算出方法は除算方式を採用した。9 月から試験実施が行なわれ 7 件が試験実施された。

08 年度は国の指針を受けて、総合評価方式の種類に「特別簡易型」を加え、評価の配点や方法に若干の修正を加えた。08 年度は特別簡易型が多く採用されており、今後も簡易型と比べて手続きと評価に手間が掛からない特別簡易型を主に運用していくことが考えられる。

2) 07 年度、08 年度の総合評価方式案件の落札者決定経過

07 年度、08 年度に試行された 28 件の総合評価方式案件の落札者決定経過を一覧表にしたのが表 3-5-2 である。この経過をまとめてみると以下のようなになる。

表 3-5-2 総合評価方式の落札者決定結果一覧

| 年度 | 工事 NO | 応札者数 | | 落札者の評 価点順位 | 落札者の入 札金額順位 | 落札率 | 評価点1位者の 評価点 (満点) | 落札者の評価 点 (満点) | |
|----------|----------|-------|-----|---------------|----------------|-----|---------------------|------------------|-------------|
| | | 辞退・無効 | 入札者 | | | | | | |
| ○七 年度 | 1 | | 2 | 5 | 3 | 1 | 78.4% | 13.0 (22.5) | 9.0 (22.5) |
| | 2 | | 4 | 6 | 3 | 1 | 72.9% | 14.5 (22.5) | 9.0 (22.5) |
| | 3 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 97.0% | | 6.5 (23.5) |
| | 4 | | 3 | 6 | 1 | 1 | 80.0% | | 8.5 (23.5) |
| | 5 | | 6 | 2 | 1 | 1 | 89.8% | | 16.0 (23.5) |
| | 6 | | 2 | 4 | 2 | 2 | 96.1% | 18.0 (22.0) | 17.0 (22.0) |
| | 7 | | 8 | 8 | 7 | 1 | 82.0% | 11.5 (23.0) | 5.0 (23.0) |
| ○八 年度 | 8 | | 5 | 2 | 2 | 1 | 96.5% | 8.0 (13.5) | 7.0 (13.5) |
| | 9 | | 6 | 1 | 1 | 1 | 98.7% | | 4.0 (13.5) |
| | 10 | | 3 | 2 | 1 | 1 | 80.1% | | 5.5 (13.5) |
| | 11 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 86.0% | | 13.5 (23.5) |
| | 12 | | 4 | 1 | 1 | 1 | 99.7% | | 4.5 (22.5) |
| | 13 | | 4 | 2 | 2 | 1 | 93.5% | 8.0 (13.5) | 5.5 (13.5) |
| | 14 | | 4 | 2 | 1 | 1 | 98.4% | | 10.0 (13.5) |
| | 15 | | 4 | 3 | 1 | 2 | 97.0% | | 7.5 (13.5) |
| | 16 | | 4 | 1 | 1 | 1 | 98.4% | | 6.0 (13.5) |
| | 17 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 97.1% | | 5.0 (12.5) |
| | 18 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 84.2% | | 9.5 (23.5) |
| | 19 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 99.1% | | 6.5 (23.5) |
| | 20 | | 3 | 7 | 3 | 1 | 89.2% | 11.5 (13.5) | 10.5 (13.5) |
| | 21 | | 5 | 2 | 1 | 1 | 87.1% | | 8.0 (13.0) |
| | 22 | | 4 | 1 | 1 | 1 | 99.4% | | 13.0 (22.5) |
| | 23 | | 1 | 5 | 1 | 1 | 80.0% | | 10.5 (13.5) |
| | 24 | | 2 | 3 | 1 | 1 | 84.9% | | 9.5 (13.5) |
| | 25 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 98.8% | | 9.5 (13.5) |
| | 26 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 89.3% | | 5.0 (13.5) |
| | 27 | | 11 | 13 | 2 | 5 | 97.0% | 9.0 (13.0) | 8.5 (13.0) |
| | 28 | | 7 | 1 | 1 | 1 | 98.8% | | 16.0 (22.5) |

注：評価点とは価格以外の評価点を指す。

①入札金額が1位以外の者が落札した案件は3件（NO6,15,27）、入札金額1位の者が落札した案件は25件である。上記3件の金額と評価点の順位はNO6（金額2位、評価点2位）NO15（金額2位、評価点1位）NO27（金額5位、評価点2位）である。

②落札者の評価点が1位以外の案件は2位が4件（NO6,8,13,27）、3位が3件（NO1,2,20）、7位が1件（NO7）、計8件である。

③落札者の評価点が低い案件がある。（（ ）は満点）

NO12-4.5 (22.5)、NO7-5.0 (23.0)、NO3-6.5 (23.5)、NO19-6.5 (23.5)
NO9-4.0 (13.5)、NO26-5.0 (13.5)、NO17-5.0 (12.5)

④辞退・無効等で入札者が1者のみとなった案件が28件中11件ある。ちなみに11件の平均落札率は96.57%、その他17件の平均落札率は87.48%である。

⑤応札者総数は193社で、その内辞退・無効・不参加が108社（56%）ある。

最低価格者以外の落札は25件中3件（10.7%）、最低価格者の落札は25件（89.3%）である。試行段階において、この結果が妥当か否かを判断することは出来ないが、価

格以外の項目の評価により最低価格でない業者が3件落札したことは、総合評価方式の成果といえる。今後、総合評価方式を本格的に定着させるためには、落札者算定方式を除算方式から加算方式に転換するとともに価格以外の評価項目の点数を引き上げるなどの工夫が必要となる。

(6) 落札率の実態について

1) 落札率の4年間の推移

05年度から4年間の件数ベースによる落札率の推移をみたのが表3-6-1である。

表3-6-1 件数からみる落札率の推移

単位：件、%

| 落札率区分 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1,158 | 100.0 | 1,213 | 100.0 | 1,120 | 100.0 | 1,164 | 100.0 |
| 50%未満 | 1 | 0.1 | - | - | - | - | - | - |
| 50～55%未満 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 55～60%未満 | - | - | 3 | 0.2 | 1 | 0.1 | - | - |
| 60～65%未満 | - | - | 1 | 0.1 | 1 | 0.1 | 2 | 0.2 |
| 65～70%未満 | 2 | 0.2 | 3 | 0.2 | 3 | 0.3 | 3 | 0.3 |
| 70～75%未満 | - | - | 9 | 0.7 | 17 | 1.5 | 10 | 0.9 |
| 75～80%未満 | 90 | 7.8 | 45 | 3.7 | 39 | 3.5 | 22 | 1.9 |
| 80～85%未満 | 32 | 2.8 | 42 | 3.5 | 97 | 8.7 | 110 | 9.5 |
| 85～90%未満 | 60 | 5.2 | 145 | 12.0 | 146 | 13.0 | 217 | 18.6 |
| 90～95%未満 | 262 | 22.6 | 285 | 23.5 | 262 | 23.4 | 203 | 17.4 |
| 95～96%未満 | 98 | 8.5 | 114 | 9.4 | 82 | 7.3 | 78 | 6.7 |
| 96～97%未満 | 170 | 14.7 | 159 | 13.1 | 83 | 7.4 | 100 | 8.6 |
| 97～98%未満 | 228 | 19.7 | 188 | 15.5 | 130 | 11.6 | 149 | 12.8 |
| 98～99%未満 | 154 | 13.3 | 151 | 12.4 | 156 | 13.9 | 141 | 12.1 |
| 99～100%未満 | 49 | 4.2 | 60 | 4.9 | 95 | 8.5 | 113 | 9.7 |
| 落札率100% | 12 | 1.0 | 8 | 0.7 | 8 | 0.7 | 16 | 1.4 |
| 平均落札率 | 93.71% | | 93.51% | | 92.71% | | 92.62% | |

(参考) 横浜市の落札率の推移

単位：件数、%

| 落札率区分 | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 3,644 | 100.0 | 3,445 | 100.0 | 3,297 | 100.0 | 3,419 | 100.0 |
| 80%未満 | 780 | 21.4 | 872 | 25.3 | 985 | 29.9 | 795 | 23.3 |
| 80～90%未満 | 679 | 18.6 | 803 | 23.3 | 876 | 26.6 | 1,025 | 42.2 |
| 90～95%未満 | 1,020 | 28.0 | 803 | 23.3 | 653 | 19.8 | 508 | 14.9 |
| 95～96%未満 | 287 | 7.9 | 142 | 4.1 | 106 | 3.2 | 69 | 2.0 |
| 96～97%未満 | 207 | 5.7 | 125 | 3.6 | 82 | 2.5 | 83 | 2.4 |
| 97～98%未満 | 191 | 5.2 | 126 | 3.7 | 109 | 3.3 | 90 | 2.6 |
| 98～99%未満 | 135 | 3.7 | 157 | 4.6 | 103 | 3.1 | 116 | 3.4 |
| 99～100%未満 | 152 | 4.2 | 304 | 8.8 | 296 | 9.0 | 268 | 7.8 |
| 落札率100% | 193 | 5.3 | 111 | 3.2 | 87 | 2.6 | 27 | 0.8 |
| 無回答 | - | - | 2 | 0.1 | - | - | 19 | 0.6 |
| 平均落札率 | 88.98% | | 87.78% | | 86.52% | | 86.64% | |

まず、平均落札率の推移を見ると、05年度の93.71%から08年度の92.62%へ少しずつ下落してきている。内訳を見ると80%台以下が05年度では185件、06年度248件、07年度304件、08年度364件と低落札案件が急増傾向にある。同時に99%以上という高落札件数も05年度61件、06年度68件、07年度103件、08年度129件と急増傾向にある。つまり、一方で低価格競争が激しくなりながら、もう一方では随意契約などによる競争排除も増加している状況にあり、95%前後の落札率件数が減少傾向にあるといえる。

一概に落札率だけで工事価格が高いか安いかを判断することはできないが、予定価格が適正価格とするなら、それより大きく乖離した落札価格では工事の品質や下請施工業者などにしわ寄せをもたらすことになる。

ちなみに横浜市の08年度の平均落札率は86.6%である。横浜市に比較すると川崎市の平均落札率は6.0%高いということになる。

2) 08年度の落札率の工事規模から見る特徴

全体的に工事規模が大きくなるほど落札率が低く、工事規模が小さくなるほど落札率が高いという傾向を示している。

表 3-6-2 工事規模からみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

| | 全体 | 80%未満 | 80～85%未満 | 85～90%未満 | 90～95%未満 | 95～96%未満 | 96～97%未満 | 97～98%未満 | 98～99%未満 | 99～100%未満 | 100% | 平均 | |
|---------|---------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------|------|------|
| 全体（件数） | 1164 | 39 | 110 | 217 | 203 | 78 | 100 | 149 | 141 | 113 | 16 | 92.6 | |
| 全体（比率） | 100.0 | 3.3 | 9.5 | 18.6 | 17.4 | 6.7 | 8.6 | 12.8 | 12.1 | 9.7 | 1.4 | | |
| 契約金額 | 50万円未満 | 3 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | 1 | - | 94.8 | |
| | | 100.0 | - | 33.3 | - | 33.3 | - | - | - | 33.3 | - | | |
| | ～1百万円未満 | 19 | - | - | 11 | 2 | 3 | 1 | 1 | - | 1 | 95.0 | |
| | | 100.0 | - | - | 57.9 | 10.5 | 15.8 | 5.3 | 5.3 | - | 5.3 | | |
| | ～5百万円未満 | 232 | - | 4 | 34 | 61 | 30 | 33 | 30 | 30 | 7 | 3 | 94.4 |
| | | 100.0 | - | 1.7 | 14.7 | 26.3 | 12.9 | 14.2 | 12.9 | 12.9 | 3.0 | 1.3 | |
| | ～1千万円未満 | 222 | 7 | 10 | 32 | 40 | 15 | 27 | 41 | 39 | 11 | - | 93.9 |
| | | 100.0 | 3.2 | 4.5 | 14.4 | 18.0 | 6.8 | 12.2 | 18.5 | 17.6 | 5.0 | - | |
| | ～5千万円未満 | 446 | 20 | 50 | 104 | 71 | 17 | 28 | 40 | 48 | 60 | 8 | 91.7 |
| | | 100.0 | 4.4 | 11.2 | 23.3 | 15.9 | 3.8 | 6.3 | 9.0 | 10.8 | 13.5 | 1.8 | |
| ～1億円未満 | 101 | - | 15 | 13 | 10 | 10 | 4 | 18 | 10 | 19 | 2 | 93.7 | |
| | 100.0 | - | 14.9 | 12.9 | 9.9 | 9.9 | 4.0 | 17.8 | 9.9 | 18.8 | 2.0 | | |
| ～5億円未満 | 129 | 8 | 27 | 31 | 10 | 3 | 5 | 19 | 13 | 11 | 2 | 89.8 | |
| | 100.0 | 6.3 | 20.9 | 24.0 | 7.8 | 2.3 | 3.9 | 14.7 | 10.1 | 8.5 | 1.6 | | |
| ～10億円未満 | 7 | 2 | 3 | 1 | - | - | - | - | - | 1 | - | 79.4 | |
| | 100.0 | 28.6 | 42.9 | 14.3 | - | - | - | - | - | 14.3 | - | | |
| ～50億円未満 | 4 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 2 | - | 92.4 | |
| | 100.0 | - | 25.0 | 25.0 | - | - | - | - | - | 50.0 | - | | |
| 50億円以上 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 99.1 | |
| | 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | 100.0 | - | | |

特に5億～10億円規模の工事7件のうち6件が80%台以下の落札率となっている。また1億～5億円規模では66件（全体129件の51.2%）が80%台以下の落札率であ

る。更に1千万～5千万円規模では174件（同446件の38.9%が80%台以下の落札率である。これらの規模の工事が激しい受注競争にさらされていることがわかる。一方、小規模工事が比較的落札率が高い原因として、本体工事の変更・追加工事が随意契約で行われていることが挙げられる。

3) 08年度の落札率の市内・準市内・市外・JV区分から見た状況

全体的にはそれほど変化はないが、準市内が若干低く、市内が若干高い。また、JVでは落札率99～100%が23件（全体59件の39.0%）もある。

表 3-6-3 市内・準市内・市外・JVからみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

| | 全体 | 80%未満 | 80～85% | 85～90% | 90～95% | 95～96% | 96～97% | 97～98% | 98～99% | 99～100% | 100% | 平均 |
|-----|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|------|------|
| 市内 | 921 | 28 | 74 | 169 | 168 | 70 | 88 | 134 | 114 | 67 | 9 | 92.9 |
| | 100.0 | 3.1 | 8.0 | 18.3 | 18.2 | 7.6 | 9.6 | 14.5 | 12.4 | 7.3 | 1.0 | |
| 準市内 | 62 | 1 | 18 | 10 | 11 | - | 3 | - | 5 | 9 | 5 | 90.4 |
| | 100.0 | 1.6 | 29.0 | 16.1 | 17.7 | - | 4.8 | - | 8.1 | 14.5 | 8.1 | |
| 市外 | 120 | 3 | 7 | 34 | 23 | 7 | 7 | 7 | 16 | 16 | - | 92.0 |
| | 100.0 | 2.5 | 5.8 | 28.3 | 19.2 | 5.8 | 5.8 | 5.8 | 13.3 | 13.3 | - | |
| JV | 59.0 | 5 | 11 | 3 | 1 | 1 | 2 | 7 | 6 | 21 | 2 | 92.5 |
| | 100.0 | 8.5 | 18.6 | 5.1 | 1.7 | 1.7 | 3.4 | 11.9 | 10.2 | 35.6 | 3.4 | |
| 不明 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - | 91.0 |
| | 100.0 | - | - | 50.0 | - | - | - | 50.0 | - | - | - | |

4) 08年度の落札率の業者資本金別に見た状況

資本金が1千万円未満の小零細業者の受注件数は112件と少ないが、平均落札率は相対的には高い。資本金3千万～5千万円の市内中堅業者の落札率は91.9%と若干低い。また資本金50億円以上の大手業者は58件の受注のうち33件が落札率80%台以下となっている。これは単に低価格競争が激しいというだけでなく、予定価格がメーカーの言い値で引き上げられ、予定価格が高く設定されている可能性がある。

表 3-6-4 業者資本金別みる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

| | 全体 | 80% 未満 | 80~ 85% 未満 | 85~ 90% 未満 | 90~ 95% 未満 | 95~ 96% 未満 | 96~ 97% 未満 | 97~ 98% 未満 | 98~ 99% 未満 | 99~ 100% 未満 | 100% | 平均 |
|--------------|-------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------|------|
| 5 百万円 未満 | 75 | 3 | 3 | 12 | 15 | 7 | 6 | 12 | 13 | 4 | - | 93.5 |
| | 100.0 | 4.0 | 4.0 | 16.0 | 20.0 | 9.3 | 8.0 | 16.0 | 17.3 | 5.3 | - | |
| ~1 千万円 未満 | 37 | - | 2 | 6 | 8 | 3 | 5 | 6 | 6 | 1 | - | 94.2 |
| | 100.0 | - | 5.4 | 16.2 | 21.6 | 8.1 | 13.5 | 16.2 | 16.2 | 2.7 | - | |
| ~3 千万円 未満 | 537 | 10 | 39 | 102 | 101 | 42 | 69 | 74 | 67 | 31 | 2 | 93.0 |
| | 100.0 | 1.9 | 7.3 | 19.0 | 18.8 | 7.8 | 12.8 | 13.8 | 12.5 | 5.8 | 0.4 | |
| ~5 千万円 未満 | 243 | 14 | 28 | 46 | 40 | 18 | 9 | 31 | 29 | 23 | 5 | 91.9 |
| | 100.0 | 5.7 | 11.5 | 18.9 | 16.5 | 7.4 | 3.7 | 12.8 | 11.9 | 9.5 | 2.1 | |
| ~1 億円 未満 | 54 | - | 7 | 9 | 4 | 3 | 3 | 13 | 3 | 11 | 1 | 93.8 |
| | 100.0 | - | 13.0 | 16.7 | 7.4 | 5.6 | 5.6 | 24.1 | 5.6 | 20.4 | 1.9 | |
| ~10 億円 未満 | 75 | 3 | 2 | 18 | 23 | 3 | 4 | 4 | 11 | 6 | 1 | 92.2 |
| | 100.0 | 4.0 | 2.7 | 24.0 | 30.7 | 4.0 | 5.3 | 5.3 | 14.7 | 8.0 | 1.3 | |
| ~50 億円 未満 | 24 | 1 | 2 | 4 | 1 | - | 1 | 1 | 5 | 6 | 3 | 93.8 |
| | 100.0 | 4.2 | 8.3 | 16.7 | 4.2 | - | 4.2 | 4.2 | 20.8 | 25.0 | 12.5 | |
| 50 億円 以上 | 58 | 1 | 16 | 16 | 10 | 1 | 1 | - | 1 | 10 | 2 | 89.1 |
| | 100.0 | 1.7 | 27.6 | 27.6 | 17.2 | 1.7 | 1.7 | - | 1.7 | 17.2 | 3.4 | |
| J V | 59 | 5 | 11 | 3 | 1 | 1 | 2 | 7 | 6 | 21 | 2 | 92.5 |
| | 100.0 | 8.5 | 18.6 | 5.1 | 1.7 | 1.7 | 3.4 | 11.9 | 10.2 | 35.6 | 3.4 | |
| 不明 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - | 91.0 |
| | 100.0 | - | - | 50.0 | - | - | - | 50.0 | - | - | - | |

5) 08 年度の落札率を入札契約方法別にみた状況

一般競争入札は原則として予定価格 1 千万円以上となり、受注件数 636 件の平均落札率は 90.9%と全体の平均落札率に比較し 1.7 ポイント低くなっている。これに対し原則 1 千万円未満に設定された指名競争入札による受注件数 455 件の平均落札率は 94.3%と全体平均より 1.7 ポイント高くなっている。やはり一般競争入札の方が競争を促進し、指名競争入札の方が競争制限的に働いていることが落札率に明確に現れている。また、随意契約は入札方式では業者との見積合わせという競争排除手法のため、平均落札率は 97.6%と限りなく予定価格に近くなっている。前節でも述べたが、そもそも随意契約における予定価格は業者見積りそのものであり、ネゴ折衝において値引きされた金額が落札額となるわけで、発注者の値引き率が 2.4%であったといえる。したがって随意契約は正確には落札率で表現する性質のものではないといえることができる。

表 3-6-5 契約方法別にみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

| | 全体 | 80% 未満 | 80~ 85% 未満 | 85~ 90% 未満 | 90~ 95% 未満 | 95~ 96% 未満 | 96~ 97% 未満 | 97~ 98% 未満 | 98~ 99% 未満 | 99~ 100% 未満 | 100% | 平均 |
|------------|-------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------|-------|
| 全体 | 1164 | 37 | 110 | 217 | 203 | 78 | 100 | 149 | 141 | 113 | 16 | 92.6 |
| | 100.0 | 3.3 | 9.5 | 18.6 | 17.4 | 6.7 | 8.6 | 12.8 | 12.1 | 9.7 | 1.4 | |
| 一般競争 入札 | 636 | 34 | 91 | 154 | 86 | 29 | 34 | 69 | 59 | 71 | 9 | 90.9 |
| | 100.0 | 5.1 | 14.3 | 24.2 | 13.5 | 4.6 | 5.3 | 10.8 | 9.3 | 11.2 | 1.4 | |
| 指名競争 入札 | 455 | 2 | 19 | 61 | 110 | 48 | 62 | 73 | 65 | 13 | 2 | 94.3 |
| | 100.0 | 0.4 | 4.2 | 13.4 | 24.2 | 10.5 | 13.6 | 16.0 | 14.3 | 2.9 | 0.4 | |
| 随意契約 | 72.0 | 1 | - | 2 | 7 | 1 | 4 | 7 | 17 | 29 | 4 | 97.6 |
| | 100.0 | 1.4 | - | 2.8 | 9.7 | 1.4 | 5.6 | 9.7 | 23.6 | 40.3 | 5.6 | |
| 不明 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 100.0 |
| | 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 100.0 | |

6) 08年度の落札率を建設業協会会員・非会員別にみた状況

建設業協会会員は市内業者のみであるが、非会員業者には準市内、市外業者を含んでいる。非会員業者の落札率は92.6%と全体平均落札率と同一であるが、会員業者の落札率は92.8%とわずかではあるが高くなっている。低落札率の状況をみると85%未満では会員が16.6%、非会員が9.5%と会員業者の方に低落札業者が多くなっている。ところが、落札率85%~90%をみると会員が13.9%に対して非会員は22.0%とこのクラスでは非会員業者の方に低落札業者が多い。この差が現れているものとみられる。いずれにしてもわずかな差であり、これによって会員業者が談合が行なわれているなどということにはならない。

表 3-6-6 川崎建設業協会会員・非会員別にみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

| | 全体 | 80% 未満 | 80~ 85% 未満 | 85~ 90% 未満 | 90~ 95% 未満 | 95~ 96% 未満 | 96~ 97% 未満 | 97~ 98% 未満 | 98~ 99% 未満 | 99~ 100% 未満 | 100% | 平均 |
|-----|-------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------|------|
| 全体 | 1164 | 37 | 110 | 217 | 203 | 78 | 100 | 149 | 141 | 113 | 16 | 92.6 |
| | 100.0 | 3.3 | 9.5 | 18.6 | 17.4 | 6.7 | 8.6 | 12.8 | 12.1 | 9.7 | 1.4 | |
| 会員 | 361 | 17 | 43 | 50 | 43 | 22 | 26 | 68 | 46 | 39 | 7 | 92.8 |
| | 100.0 | 4.7 | 11.9 | 13.9 | 11.9 | 6.1 | 7.2 | 18.8 | 12.7 | 10.8 | 1.9 | |
| 非会員 | 742 | 15 | 56 | 163 | 159 | 55 | 72 | 73 | 89 | 53 | 7 | 92.6 |
| | 100.0 | 2.0 | 7.5 | 22.0 | 21.4 | 7.4 | 9.7 | 9.8 | 12.0 | 7.1 | 0.9 | |
| J V | 59.0 | 5 | 11 | 3 | 1 | 1 | 2 | 7 | 6 | 21 | 2 | 92.5 |
| | 100.0 | 8.5 | 18.6 | 5.1 | 1.7 | 1.7 | 3.4 | 11.9 | 10.2 | 35.6 | 3.4 | |
| 不明 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - | 91.0 |
| | 100.0 | - | - | 50.0 | - | - | - | 50.0 | - | - | - | |

7) 08年度の落札率構成を横浜市と比較した特徴

表 3-6-7

08年度横浜市と比較した落札率の区分別構成比

単位:件、%

| 落札率区分 | 川崎市 | | 横浜市 | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 全体 | 1,164 | 100.0 | 3,419 | 100.0 |
| 80%未満 | 37 | 3.3 | 795 | 23.3 |
| 80~85%未満 | 110 | 9.5 | 1,025 | 42.2 |
| 85~90%未満 | 217 | 18.6 | 508 | 14.9 |
| 90~95%未満 | 203 | 17.4 | 69 | 2.0 |
| 95~96%未満 | 78 | 6.7 | 83 | 2.4 |
| 96~97%未満 | 100 | 8.6 | 90 | 2.6 |
| 97~98%未満 | 149 | 12.8 | 116 | 3.4 |
| 98~99%未満 | 141 | 12.1 | 268 | 7.8 |
| 99~100%未満 | 113 | 9.7 | 27 | 0.8 |
| 落札率100% | 16 | 1.4 | 19 | 0.6 |
| 平均落札率 | 92.62% | | 86.64% | |

08年度の落札率を横浜市と比較してみると平均落札率では川崎市の92.6%に対して横浜市は86.6%と横浜市が6.0ポイントも落札率が低い。横浜市の低価格競争の激しさがうかがわれるが、その内訳を見ると落札率80%未満の工事が23.3%もある。さらに80%~90%が57.1%と、この二つの内訳区分に川崎市と大きな違いがある。落札率比較をみる限り、川崎市における低価格競争が過度に展開されているとは言えないだろう。

(7) 単価契約の特徴

川崎市において単価請負契約方式をとっているのは水道局のみである。水道局では、管路の維持工事及び漏水修理工事（修理、復旧費）を主体に単価請負契約で以下の工事に適用している。

- ① 管路の維持工事で弁栓筐等に係る修理工事、路面復旧工事、その他土木工事
- ② 漏水に係る修理工事、路面復旧工事、その他土木工事
- ③ 給水装置に係る改良工事
- ④ 維持管理用管製作及び現場接合工事
- ⑤ その他管路の維持に関する工事

1) 単価契約工事の件数と金額の推移と特徴

表 3-7-1 水道局工事のうち単価契約工事の件数と金額

単位:件、千円、%

| | 件数 | | | 金額 | | |
|------|-----|------|------|-----------|-----------|------|
| | 全体 | 単価契約 | 構成比 | 全体 | 単価契約 | 構成比 |
| 05年度 | 203 | 52 | 25.6 | 5,092,400 | 1,331,755 | 26.2 |
| 06年度 | 181 | 24 | 13.3 | 5,662,800 | 1,018,979 | 18.0 |
| 07年度 | 190 | 20 | 10.5 | 7,069,900 | 1,543,945 | 21.8 |
| 08年度 | 175 | 17 | 9.7 | 9,034,100 | 1,636,202 | 18.1 |

05年度から4年間の水道局における単価契約工事の全体に占める件数と金額は表 3-6-1 のとおりである。件数では05年度の52件から06年度以降は半減ないし3分の1に減少している。水道工事件数が徐々に減少している

がそれ以上に単価契約は減少し、05年度に全体の25.6%あった単価契約工事が08年度には9.7%にまで減少している。これを金額ベースで見ると全体金額が50億円台

から 90 億円台に増加しているが単価契約金額も 13 億円から 16 億円に徐々に増加している。しかし、構成比率では少しずつ低下傾向にある。

単価契約が件数で減少しているにもかかわらず金額で増加している原因として、一件あたりの落札単価の高騰ないし、一件の単価契約案件の年間工事量の増加が考えられる。

2) 単価契約の入札形態の推移と特徴

表 3-7-2 入札形態別件数の推移

| | 05 年度 | 06 年度 | 07 年度 | 08 年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 指名競争 | 38 | 7 | 2 | 0 |
| 一般競争 | 2 | 12 | 13 | 13 |
| 随意契約 | 12 | 5 | 5 | 4 |
| 合計 | 52 | 24 | 20 | 17 |

水道管の緊急修理や維持補修などを市内指定箇所一円に行う場合に 1 箇所あたりの単価契約を行い、修理や補修箇所数に応じて年間の工事金額を精算払いする。契約日は 4 月 1 日又は 10 月 1 日で完了日は翌年 3 月 31 日となっ

ている。入札形態をみると

05 年度は一般競争がほとんどなく、指名競争入札と随意契約である。ただ、競争入札と随意契約との区分が不明確な状況となっている。06 年度は一般競争が 12 件に対して指名競争が 7 件と一般競争が主体となっている。原則として予定価格 1 千万円以上が一般競争入りのようであるが必ずしも原則どおりにはなっていない。しかし、07 年度以降、1 千万円以上は一般競争が明確となり指名競争入札は存在しなくなっている。しかし、随意契約は相変わらず不明確なまま発生している。

3) 単価契約工事を受注する業者からみた特徴

単価契約方式は同一内容・同一規模の工事を年間一定数量発注する場合に適用されているが、特に維持管理や修理・補修などに適している。これら工事を年間通じて市内業者と契約することは業者にとっても安定的受注を保障することになり、市民にとっても安全・安心を保障されることになる。

しかし、入札形態から見られるように市内業者の入札は必ずしも透明性が確保されているようではない。05 年度から受注業者の状況を見てみると、05 年度はすべて単独受注であるが、同一業者が 2 件、3 件と連続的に受注しているのが目に付く。また 06 年度以降は市内業者同士の J V 形態での受注が多くなり、07 年度以降はほとんどが J V での受注となった。しかし、J V の組み合わせは異なっても、同一業者が複数の単価契約工事を受注しているのが目だつ。05 年度は 52 件中 34 件を川崎建設業協会会員業者が受注している。06 年度以降は J V 形態となっているがやはり会員業者が目立っている。

一方、最終契約金額は施工数量にもとづく出来高査定によって決定されると見られる。この査定は川崎市職員と施工業者との協議に基づき行われるが、これを厳格に行っていく市の体制が求められる。

表 3-7-3 05 年度単価契約工事一覧表

単位：円

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定 価格 | 落札 金額 | 入札 方法 | 落札業者 | 最終契約 金額 |
|-----|---------------------|----------|-----------|-----------|------------|-----------------|------------|
| 1 | 狭あい道路舗装整備 1号工事 | 舗装 | 171,700 | 180,285 | 指名競争 | 三恵工業株式会社 | 12,000,000 |
| 2 | 狭あい道路舗装整備 2号工事 | 舗装 | 171,700 | 180,285 | 指名競争 | 株式会社吉孝土建 | 15,000,000 |
| 3 | 狭あい道路舗装整備 1号工事 | 舗装 | 177,180 | 139,000 | 一般競争 | 有限会社由貴工務店 | 12,000,000 |
| 4 | 狭あい道路舗装整備 2号工事 | 舗装 | 177,180 | 173,630 | 一般競争 | 東聖建設株式会社 | 14,000,000 |
| 5 | 道路標示復旧工事 | 塗装 | 878,380 | 868,000 | 指名競争 | 株式会社 ロードカワサキ | 16,300,164 |
| 6 | 漏水修理その1 | 水道 施設 | 4,954,141 | 4,865,000 | 指名競争 | 関トウ株式会社 | 61,318,622 |
| 7 | 配水管維持その1工事 | 水道 施設 | 9,391,760 | 9,135,000 | 指名競争 | 関トウ株式会社 | 17,856,067 |
| 8 | 漏水修理その2 | 水道 施設 | 4,735,051 | 4,703,000 | 指名競争 | 株式会社菱信建設 | 93,072,561 |
| 9 | 配水管維持その2 | 水道 施設 | 9,058,795 | 8,997,000 | 指名競争 | 株式会社菱信建設 | 31,977,626 |
| 10 | 漏水修理その3工事 | 水道 施設 | 4,845,770 | 4,804,000 | 指名競争 | 株式会社吉孝土建 | 64,830,561 |
| 11 | 配水管維持その3 | 水道 施設 | 9,272,137 | 9,196,000 | 指名競争 | 株式会社吉孝土建 | 18,015,437 |
| 12 | 維持管理用鋼管製作等 接合工事 | 鋼 構造物 | 855,440 | 850,000 | 指名競争 | 株式会社福嶋鉄工所 | 4,195,315 |
| 13 | 漏水修理その1 | 水道 施設 | 4,954,141 | 4,865,000 | 指名競争 | 株式会社石塚土木 | 61,318,622 |
| 14 | 配水管維持その1工事 | 水道 施設 | 9,391,760 | 9,135,000 | 指名競争 | 株式会社石塚土木 | 17,856,067 |
| 15 | 漏水修理その2 | 水道 施設 | 4,735,051 | 4,703,000 | 指名競争 | 藤原建設株式会社 | 93,072,561 |
| 16 | 配水管維持その2 | 水道 施設 | 9,058,795 | 8,997,000 | 指名競争 | 藤原建設株式会社 | 31,977,626 |
| 17 | 漏水修理その3工事 | 水道 施設 | 4,845,770 | 4,804,000 | 指名競争 | 麻生建設株式会社 | 64,830,561 |
| 18 | 配水管維持その3 | 水道 施設 | 9,272,137 | 9,196,000 | 指名競争 | 麻生建設株式会社 | 18,015,437 |
| 19 | 維持管理用鋼管製作等 接合工事 | 鋼 構造物 | 855,440 | 850,000 | 指名競争 | 株式会社大師鉄工所 | 4,195,315 |
| 20 | 漏水修理等路面復旧 その1工事 | 水道 施設 | 4,965,261 | 4,865,000 | 随意契約 | 関トウ株式会社 | 3,291,169 |
| 21 | 配水管維持等路面復旧 その1工事 | 水道 施設 | 9,322,158 | 9,135,000 | 随意契約 | 株式会社小沼工務店 | 256,689 |
| 22 | 漏水修理等路面復旧 その2工事 | 水道 施設 | 4,770,094 | 4,702,000 | 随意契約 | 株式会社織戸組 | 5,236,096 |
| 23 | 配水管維持等路面復旧 その2工事 | 水道 施設 | 9,117,438 | 8,988,000 | 随意契約 | 藤和建興株式会社 | 842,311 |
| 24 | 漏水修理等路面復旧 その3工事 | 水道 施設 | 4,788,055 | 4,594,000 | 随意契約 | 川崎葵建設株式会社 | 1,207,711 |
| 25 | 配水管維持等路面復旧 その3工事 | 水道 施設 | 9,156,558 | 8,786,000 | 随意契約 | 株式会社三秀 | 121,835 |
| 26 | 給水管維持その1工事 | 水道 施設 | 7,746,514 | 6,700,000 | 指名競争 入札 | 第一工営株式会社 | 9,715,544 |
| 27 | 給水管維持その2工事 | 水道 施設 | 7,599,734 | 6,900,000 | 指名競争 | 有限会社工藤組 | 25,521,521 |
| 28 | 給水管維持その3工事 | 水道 施設 | 7,667,655 | 6,880,000 | 指名競争 | 秀建工業株式会社 | 13,083,785 |

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定 価格 | 落札 金額 | 入札 方法 | 落札業者 | 最終契約金額 |
|-----|---------------------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|
| 29 | 道路標示復旧工事 | 塗装 | 875,380 | 860,000 | 指名競争 | 信号機材株式会社 | 24,885,606 |
| 30 | 給水管維持その4工事 | 水道 施設 | 7,747,591 | 7,500,000 | 指名競争 | 第一工営株式会社 | 8,016,057 |
| 31 | 給水管維持その5工事 | 水道 施設 | 7,855,014 | 7,700,000 | 指名競争 | 深谷建設株式会社 | 46,862,007 |
| 32 | 給水管維持その6工事 | 水道 施設 | 7,825,655 | 7,750,000 | 指名競争 | 株式会社シンヤ | 23,771,981 |
| 33 | 漏水修理その4工事 | 水道 施設 | 4,937,875 | 4,849,000 | 指名競争 | 岡村建興株式会社 | 20,082,317 |
| 34 | 配水管維持その4工事 | 水道 施設 | 9,522,888 | 9,351,000 | 指名競争 | 岡村建興株式会社 | 18,347,494 |
| 35 | 漏水修理その5工事 | 水道 施設 | 4,838,341 | 4,682,000 | 指名競争 | 株式会社重田組 | 99,383,997 |
| 36 | 配水管維持その5工事 | 水道 施設 | 9,315,880 | 9,018,000 | 指名競争 | 株式会社重田組 | 22,944,120 |
| 37 | 漏水修理その6工事 | 水道 施設 | 4,877,345 | 4,802,000 | 指名競争 | 株式会社浅野建設 | 53,778,627 |
| 38 | 配水管維持その6工事 | 水道 施設 | 9,444,271 | 9,298,000 | 指名競争 | 株式会社浅野建設 | 12,975,704 |
| 39 | 維持管理用鋼管製作等 接合工事 | 鋼 構造物 | 842,685 | 840,000 | 指名競争 | 須藤工業株式会社 | 2,789,952 |
| 40 | 漏水修理等路面復旧 その4工事 | 水道 施設 | 4,954,141 | 4,865,000 | 随意契約 | 関トウ株式会社 | 3,196,137 |
| 41 | 漏水修理等路面復旧 その5工事 | 水道 施設 | 5,735,051 | 4,703,000 | 随意契約 | 株式会社菱信建設 | 5,948,754 |
| 42 | 漏水修理等路面復旧 その6工事 | 水道 施設 | 4,845,770 | 4,804,000 | 随意契約 | 麻生建設株式会社 | 2,497,186 |
| 43 | 配水管維持等路面復旧 その4工事 | 水道 施設 | 9,391,760 | 9,135,000 | 随意契約 | 株式会社石塚土木 | 4,551,494 |
| 44 | 配水管維持等路面復旧 その5工事 | 水道 施設 | 9,058,795 | 8,997,000 | 随意契約 | 藤原建設株式会社 | 373,824 |
| 45 | 配水管維持等路面復旧 その6工事 | 水道 施設 | 9,272,137 | 9,196,000 | 随意契約 | 株式会社吉孝土建 | 931,219 |
| 46 | 漏水修理その4工事 | 水道 施設 | 4,937,875 | 4,849,000 | 指名競争 | 幸伸工業株式会社 | 59,089,493 |
| 47 | 配水管維持その4工事 | 水道 施設 | 9,522,888 | 9,351,000 | 指名競争 | 幸伸工業株式会社 | 18,347,494 |
| 48 | 漏水修理その5工事 | 水道 施設 | 4,838,341 | 4,682,000 | 指名競争 | 株式会社堀一組 | 99,383,997 |
| 49 | 配水管維持その5工事 | 水道 施設 | 9,315,880 | 9,018,000 | 指名競争 | 株式会社堀一組 | 22,944,120 |
| 50 | 漏水修理その6工事 | 水道 施設 | 4,877,345 | 4,802,000 | 指名競争 | 守谷土木株式会社 | 53,778,627 |
| 51 | 配水管維持その6工事 | 水道 施設 | 9,444,271 | 9,298,000 | 指名競争 | 守谷土木株式会社 | 12,975,704 |
| 52 | 維持管理用鋼管製作等 接合工事 | 鋼 構造物 | 842,685 | 840,000 | 指名競争 | 株式会社赤原鉄工所 | 2,789,952 |

表 3-7-4 06 年度単価契約工事一覧表

単位:円

| No. | 工事件名 | 工事種類 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 入札方法 | 落札業者 | 最終契約金額 |
|-----|---------------------|----------|--------------|------------|------|-------------------|-------------|
| 1 | 漏水修理 その1工事 | 水道施設 | 4,961,377 | 4,876,000 | 一般競争 | 小沼・関トウ 共同企業体 | 54,684,885 |
| 2 | 配水管維持 その1工事 | 水道施設 | 9,589,528 | 9,424,000 | 一般競争 | 小沼・関トウ 共同企業体 | 26,200,732 |
| 3 | 漏水修理 その2工事 | 水道施設 | 4,907,058 | 4,837,000 | 一般競争 | 織戸・飯尾 共同企業体 | 91,607,344 |
| 4 | 配水管維持 その2工事 | 水道施設 | 9,444,507 | 9,313,000 | 一般競争 | 織戸・飯尾 共同企業体 | 25,810,442 |
| 5 | 漏水修理 その3工事 | 水道施設 | 4,899,246 | 4,835,000 | 一般競争 | 丸栄・清生 共同企業体 | 59,367,249 |
| 6 | 配水管維持 その3工事 | 水道施設 | 9,488,258 | 9,365,000 | 一般競争 | 丸栄・清生 共同企業体 | 12,313,147 |
| 7 | 道路標示復旧工事 | 塗装 | 874,849 | 822,000 | 指名競争 | 道路交通 株式会社 | 13,013,772 |
| 8 | 給水管維持 その1工事 | 水道施設 | 7,606,594 | 7,600,000 | 指名競争 | 第一工営 株式会社 | 15,040,409 |
| 9 | 給水管維持 その2工事 | 水道施設 | 7,556,817 | 7,390,000 | 指名競争 | 株式会社 美栄工業 | 25,090,963 |
| 10 | 給水管維持 その3工事 | 水道施設 | 7,520,693 | 7,300,000 | 指名競争 | 秀建工業 株式会社 | 16,684,164 |
| 11 | 維持管理用鋼管製作等 接合工事 | 鋼 構造物 | 843,792 | 840,000 | 指名競争 | サツマ工業 株式会社 | 2,882,871 |
| 12 | 漏水修理等路面復旧 その1工事 | 水道施設 | 4,937,875 | 4,849,000 | 随意契約 | 岡村建興 株式会社 | 2,503,697 |
| 13 | 漏水修理等路面復旧 その2工事 | 水道施設 | 4,838,341 | 4,682,000 | 随意契約 | 株式会社 重田組 | 3,867,937 |
| 14 | 漏水修理等路面復旧 その3工事 | 水道施設 | 4,877,345 | 4,802,000 | 随意契約 | 株式会社 浅野建設 | 1,038,069 |
| 15 | 配水管維持等路面復旧 その1工事 | 水道施設 | 9,522,888 | 9,351,000 | 随意契約 | 幸伸工業 株式会社 | 202,972 |
| 16 | 配水管維持灯路面復旧 その2工事 | 水道施設 | 9,315,880 | 9,018,000 | 随意契約 | 株式会社 堀一組 | 1,110,102 |
| 17 | 給水管維持 その4工事 | 水道施設 | 14,828,741 | 14,000,000 | 一般競争 | 第一工営・高村 共同企業体 | 56,432,403 |
| 18 | 給水管維持 その5工事 | 水道施設 | 14,878,850 | 14,200,000 | 一般競争 | 工藤・須貝 共同企業体 | 162,415,362 |
| 19 | 給水管維持 その6工事 | 水道施設 | 14,770,320 | 14,500,000 | 一般競争 | 東生・山崎 共同企業体 | 123,649,522 |
| 20 | 水道施設等緊急修理 その4工事 | 水道施設 | 16,888,934 | 16,700,000 | 一般競争 | 石塚・岡村 共同企業体 | 110,661,359 |
| 21 | 水道施設等緊急修理 その5工事 | 水道施設 | 16,933,380 | 16,700,000 | 一般競争 | 藤原・重田造園 共同企業体 | 124,949,587 |
| 22 | 水道施設等緊急修理 その6工事 | 水道施設 | 16,829,355 | 16,500,000 | 一般競争 | 利建設・追川建設 共同企業体 | 75,896,652 |
| 23 | 道路標示復旧工事 | 塗装 | 865,844 | 821,000 | 指名競争 | 保安産業 株式会社 | 9,948,014 |
| 24 | 維持管理用鋼管製作等 接合工事 | 鋼 構造物 | 1,332,432 | 1,300,000 | 指名競争 | 株式会社 大師鉄工所 | 3,607,444 |

表 3-7-5 07 年度単価契約工事一覧表

単位:円

| No. | 工事件名 | 工事種類 | 予定価格 | 落札価格 | 入札方法 | 落札業者 | 最終契約金額 |
|-----|---------------------|----------|------------|------------|------|-------------------|-------------|
| 1 | 給水管維持 その2工事 | 水道 施設 | 15,397,126 | 15,200,000 | 一般競争 | 深谷・横山 共同企業体 | 220,459,195 |
| 2 | 給水管維持 その5工事 | 水道 施設 | 17,103,860 | 16,950,000 | 一般競争 | 藤和・日東 共同企業体 | 218,251,417 |
| 3 | 水道施設等緊急 修理その5工事 | 水道 施設 | 17,366,351 | 17,150,000 | 一般競争 | 織戸・河合 共同企業体 | 153,815,665 |
| 4 | 水道施設等緊急 修理その2工事 | 水道 施設 | 17,106,693 | 16,900,000 | 一般競争 | 重田・堀一 共同企業体 | 140,693,388 |
| 5 | 給水管維持 その3工事 | 水道 施設 | 15,294,934 | 15,000,000 | 一般競争 | 丸栄・稲田 共同企業体 | 136,475,852 |
| 6 | 給水管維持 その6工事 | 水道 施設 | 17,000,480 | 16,800,000 | 一般競争 | 丸栄・山崎 共同企業体 | 130,426,025 |
| 7 | 水道施設等緊急 修理その4工事 | 水道 施設 | 17,306,751 | 16,800,000 | 一般競争 | 小沼・関トウ 共同企業体 | 104,217,595 |
| 8 | 水道施設等緊急 修理その1工事 | 水道 施設 | 17,038,080 | 16,800,000 | 一般競争 | 幸伸・小田 共同企業体 | 95,841,777 |
| 9 | 水道施設等緊急 修理その3工事 | 水道 施設 | 17,004,118 | 16,700,000 | 一般競争 | 三秀・清生 共同企業体 | 82,653,475 |
| 10 | 給水管維持 その1工事 | 水道 施設 | 15,351,914 | 14,500,000 | 一般競争 | 第一工営・伸栄 共同企業体 | 75,309,190 |
| 11 | 水道施設等緊急 修理その6工事 | 水道 施設 | 17,284,750 | 17,080,000 | 一般競争 | 黒川・追川 共同企業体 | 73,784,399 |
| 12 | 給水管維持 その4工事 | 水道 施設 | 17,076,136 | 14,514,715 | 一般競争 | 第一工営・高村 共同企業体 | 63,888,674 |
| 13 | 道路標示復旧工事 | 塗装 | 230,858 | 230,000 | 一般競争 | ㈱京浜ライン | 19,397,594 |
| 14 | 緊急修理等路面 復旧その2工事 | 水道 施設 | 16,933,380 | 16,700,000 | 随意契約 | 藤原・重田 共同企業体 | 8,504,395 |
| 15 | 給水管維持等路面 復旧その5工事 | 水道 施設 | 15,397,126 | 15,200,000 | 随意契約 | 深谷・横山 共同企業体 | 5,443,987 |
| 16 | 緊急修理等路面 復旧その1工事 | 水道 施設 | 16,888,934 | 16,700,000 | 随意契約 | 石塚・岡村 共同企業体 | 4,103,738 |
| 17 | 維持管理用鋼管 製作等接合工事 | 鋼 構造物 | 3,789,821 | 3,680,000 | 指名競争 | ㈱福島鉄工所 | 4,067,937 |
| 18 | 緊急修理等路面 復旧その3工事 | 水道 施設 | 16,829,355 | 16,500,000 | 随意契約 | 利建設・追川建設 共同企業体 | 3,137,650 |
| 19 | 給水管維持等路面 復旧その2工事 | 水道 施設 | 14,878,850 | 14,200,000 | 随意契約 | 工藤・須貝 共同企業体 | 2,952,473 |
| 20 | 維持管理用鋼管 製作等接合工事 | 鋼 構造物 | 3,800,000 | 3,800,000 | 指名競争 | 須藤工業㈱ | 520,096 |

表 3-7-6 08 年度単価契約工事一覧表

単位:円

| No. | 工事件名 | 工事種類 | 予定価格 | 落札価格 | 入札方法 | 落札業者 | 最終契約金額 |
|-----|-----------------|------|------------|------------|------|------------------|-------------|
| 1 | 給水管維持その5工事 | 水道施設 | 18,477,947 | 18,350,000 | 一般競争 | 浅川・丸善 共同企業体 | 226,087,984 |
| 2 | 給水管維持その2工事 | 水道施設 | 18,163,554 | 15,439,021 | 一般競争 | 小沼・日東 共同企業体 | 218,278,725 |
| 3 | 給水管維持その6工事 | 水道施設 | 18,340,344 | 18,100,000 | 一般競争 | 丸栄・山崎 共同企業体 | 192,066,694 |
| 4 | 水道施設等緊急修理その2工事 | 水道施設 | 17,757,882 | 17,600,000 | 一般競争 | 藤原・浅川 共同企業体 | 160,554,287 |
| 5 | 給水管維持その3工事 | 水道施設 | 18,064,720 | 17,500,000 | 一般競争 | 追川・山崎 共同企業体 | 151,835,583 |
| 6 | 水道施設等緊急修理その5工事 | 水道施設 | 18,149,523 | 18,000,000 | 一般競争 | 重田造園・堀一 共同企業体 | 148,547,835 |
| 7 | 水道施設等緊急修理その1工事 | 水道施設 | 17,702,228 | 17,480,000 | 一般競争 | 岡村・石塚 共同企業体 | 96,680,123 |
| 8 | 給水管維持その4工事 | 水道施設 | 18,400,470 | 18,000,000 | 一般競争 | 幸伸・横山 共同企業体 | 96,283,975 |
| 9 | 水道施設等緊急修理その3工事 | 水道施設 | 17,671,927 | 17,500,000 | 一般競争 | PBS・清生 共同企業体 | 90,047,504 |
| 10 | 水道施設等緊急修理その4工事 | 水道施設 | 18,055,911 | 17,900,000 | 一般競争 | 幸伸・小田 共同企業体 | 78,502,083 |
| 11 | 給水管維持その1工事 | 水道施設 | 18,124,594 | 17,900,000 | 一般競争 | 加藤・小田 共同企業体 | 77,580,273 |
| 12 | 水道施設等緊急修理その6工事 | 水道施設 | 18,025,155 | 18,000,000 | 一般競争 | 清生・追川 共同企業体 | 45,819,847 |
| 13 | 道路標示復旧工事 | 塗装 | 284,397 | 284,390 | 一般競争 | 大道産業 株式会社 | 27,616,267 |
| 14 | 給水管維持等路面復旧その2工事 | 水道施設 | 17,366,351 | 16,950,000 | 随意契約 | 藤和・日東 共同企業体 | 11,365,386 |
| 15 | 緊急修理等路面復旧その2工事 | 水道施設 | 17,103,860 | 17,150,000 | 随意契約 | 織戸・河合 共同企業体 | 10,067,955 |
| 16 | 緊急修理等路面復旧その1工事 | 水道施設 | 17,306,751 | 16,800,000 | 随意契約 | 小沼・関トウ共 同企業体 | 4,051,747 |
| 17 | 緊急修理等路面復旧その3工事 | 水道施設 | 17,284,750 | 17,080,000 | 随意契約 | 黒川・追川 共同企業体 | 815,584 |

まとめ

以上の 2008 年度川崎市発注の公共工事を分析の特徴をまとめると以下のとおりとなる。

1. 発注側からみた特徴

- 1) 全国的な地方自治体の公共事業発注金額は減少傾向にあるが、川崎市の 05 年度から 4 年間の推移を見る限り、発注金額は増加傾向にある。その中でも大規模工事の増加が著しく、大規模工事への偏重の傾向が拡大してきている。
- 2) 発注部局ではまちづくり局が発注金額を大きく増大させてきている。川崎駅周辺再開発などに伴うインフラ整備に重点化した投資が行なわれてきている。
- 3) 地域別にみると、川崎区に重点化した投資が行なわれている。川崎駅周辺開発だけでなく、臨海部における廃棄物埋立護岸工事など大規模事業が次々と発注されている。

2. 受注側からみた特徴

- 1) 市発注工事への入札参加申請を提出した市内業者のうち、年間一件も受注できなかった業者が 50%強～60%強存在する。
- 2) 受注業者を資本金階層別にみると資本金 1 千万円未満の小零細業者は 4 年間一貫して年間総額 10 億円にも満たない。資本金 1 千万円～5 千万円の地域中小・中堅業者階層では 08 年度には全体金額の 35%程度を確保している。
これに対して資本金 10 億円以上の全国的大手業者層では毎年度 120 億円以上の工事を受注している。
- 3) 05 年度からの受注金額は 05 年度の 452 億円から 08 年度の 617 億円へと大きく増加しているが、この増加分を吸収したのが市外業者及び J V である。市外業者は 05 年度の 89 億円から 08 年度 132 億円へと、J V は 05 年度の 109 億円から 08 年度の 186 億円へと大きく受注金額を伸ばしている。
- 4) J V 受注を構成業者ごとに分解し、単独受注に加算してみると、市内業者の受注比率は 08 年度では全体受注額の 58%にも達する。また準市内業者では 20%になる。
- 5) 市内業者は 7 つの行政区で満遍なく工事受注が行なわれているが、準市内業者および市外業者は川崎区に大きく偏って受注が確保されている。
- 6) 市内業者を建設業協会会員・非会員業者別に 4 年間の受注金額をみると会員業者が 60%前後を受注し、非会員業者が 40%前後の受注率となっている。非会員業者の一社平均年間受注金額は 3 千万～4 千万円で会員業者の 3 分の 1 以下である。
また、会員業者を資本金階層別に受注金額をみると、資本金 1 千万円未満業者はほとんど受注できない状況になっている。これに対して資本金 1 千万～5 千万円階層では全体の 80%前後の受注金額を確保している。建設業協会の中での小零細業者の淘汰が進行している。
- 7) 08 年度の J V 受注工事 59 件の中で市内業者同士の J V が 31 件ある。このうち 15 件は水道局の単価契約に基づく J V である。また学校の大規模改修や増改築、市

営住宅の新築など 5 件の大規模建築が市内業者野 J V によって施工されている。

3. 入札・契約面からみた特徴

- 1) 条件付一般競争入札における条件として業種別業者格付とそれに基づく一件ごとの発注工事のランク分類の公正・公平な配分が重要となるが、業種別格付けにおいて主要 7 業種以外の 24 業者の格付設定が行なわれていないこと、主要 7 業種のうち 4 業種が A～C の 3 ランクのみであること、また発注標準金額において A ランクの金額が低く設定されているため、B～D ランクのコツ額がより低くなり、A ランク業者に有利な条件設定がなされているという問題が発生している。
- 2) 地域要件がランク別発注標準と組み合わせられているが、A ランク工事は準市内業者から市内業者の比率が少しずつ増加しているが、さらに市内業者の比率を高めるよう地域要件を強化する必要がある。また、ランク設定のない 24 業種では市外業者に受注金額が偏っている。分離発注などを通じて市内業者への地域要件を強化する必要がある。
- 3) 随意契約金額が 05 年度の 45 億円から 08 年度には 90 億円と 2 倍に増加している。業種別にみると 05 年度から 4 年間で「清掃施設」では 99 億円も随意契約で発注されている。業種全体の特徴としては土木や建築工事よりも清掃、機械、空調、電気、水道施設など設備関係の業種に随意契約が集中している。受注業者では J F E 関係と三菱重工業関係がこの 4 年間で大量受注している。随意契約を行なう理由としてはケース 2 とケース 6 が多くを占めている。小額工事で競争に付するに値しないというケース 1 によるものがこの 4 年間で一件もない。
- 4) 07 年度から総合評価型入札方式が試行され、2 年間で 28 件の総合評価案件があったが、このうち入札金額が一位以外の業者が落札した案件は 3 件しかない。また、業者の辞退等で入札者が一社のみとなったのが 11 件ある。今後、総合評価方式を定着させるためには、落札者算定方式を除算方式から加算方式に転換するとともに、価格以外の評価項目の点数を引き上げるなどの工夫が必要である。
- 5) 落札率は 05 年度以降徐々に低下しているが、08 年度では 92.6% と横浜市と比較しても激しい低価格競争に晒されているという状況ではない。
- 6) 水道局の単価契約は件数では 05 年度の 52 件から 08 年度 17 件へと大幅に減少しているが単価契約金額では増加している。工事内容は給水管の緊急補修及び路面の緊急復旧工事であるが、これら工事を年間通じて市内業者と契約することは市民にとって緊急時の安全の保障になるとともに、業者にとっても安定的仕事の確保につながる。しかし、受注業者が一部に偏ることのないよう入札には透明性を確保するとともに、最終契約金額は出来高査定によって決定されるがこれを厳格に行なう市の体制が求められる。

別添資料

05年度 随意契約一覧

単位：円

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 落札業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|---------------------------------|-------|--------------|-------------|------------------------------|---------------------|
| 1 | 住友生命川崎ビル7階事務室原状回復工事 | 建築 | 3,071,691 | 3,050,000 | ワールド建設株式会社 | 3,202,500 |
| 2 | 浮島処理センター各炉耐火物ほか補修工事 | 清掃施設 | 29,246,074 | 28,800,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 30,240,000 |
| 3 | 入江崎総合スラッジセンターほか誘引ファン用電動機整備その他工事 | 電気 | 20,317,968 | 19,000,000 | 富士電機システムズ株式会社 新横浜サービスセンター | 19,950,000 |
| 4 | 高津区役所冷温水発生機補修工事 | 空調・衛生 | 4,570,542 | 4,570,000 | 鹿島環境設備株式会社 | 4,798,500 |
| 5 | 橘処理センター粗大ごみ処理施設剪断式破砕機補修工事 | 清掃施設 | 2,877,711 | 2,800,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 2,940,000 |
| 6 | 宮前区内知的障害者入所更生施設用地外周整備工事 | 土木 | 128,587,140 | 123,000,000 | 宮田・吉孝共同企業体 | 129,150,000 |
| 7 | 南部市場ガス設備補修工事 | 機械 | 3,281,000 | 3,200,000 | 東京ガス株式会社 | 3,360,000 |
| 8 | 南部リサイクルセンター2号瓶サイズ分け装置ほか補修工事 | 清掃施設 | 4,917,508 | 4,800,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 5,040,000 |
| 9 | 堤根処理センター1号炉投入ホッパー補修工事 | 清掃施設 | 6,946,305 | 6,800,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 7,140,000 |
| 10 | 麻生区役所ガス管改修工事 | 機械 | 1,790,000 | 1,790,000 | 東京ガス株式会社 | 1,879,500 |
| 11 | 浮島処理センター3号炉ろ過式集じん器ダストコンベヤ補修工事 | 清掃施設 | 26,619,336 | 26,000,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 27,300,000 |
| 12 | 北部市場ガス設備補修工事 | 機械 | 7,607,000 | 7,607,000 | 東京ガス株式会社 | 7,987,350 |
| 13 | 入江崎総合スラッジセンターほか調整槽攪拌機整備その他工事 | 機械 | 14,868,512 | 14,500,000 | 大平洋機工株式会社 横浜営業所 | 15,225,000 |
| 14 | 浮島処理センターごみクレーンバケット補修工事 | 機械 | 11,459,852 | 11,000,000 | 株式会社福島製作所 | 11,550,000 |
| 15 | 等々力水処理センターNo.4酸素製造装置整備その他工事 | 機械 | 8,039,195 | 8,000,000 | 昭和エンジニアリング株式会社 | 8,400,000 |
| 16 | 橘処理センター2号炉ろ過式集じん器ろ布補修工事 | 清掃施設 | 91,936,805 | 90,300,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 94,815,000 |
| 17 | 入江崎総合スラッジセンター遠心濃縮機整備工事 | 機械 | 35,596,440 | 35,300,000 | 月島機械株式会社 横浜支店 | 37,065,000 |
| 18 | 浮島理立事業所トラックスケール補修工事 | 機械 | 4,747,525 | 4,550,000 | 株式会社クボタ 東京本社 | 4,777,500 |
| 19 | 堤根処理センター2号炉炉内耐火物ほか補修工事 | 清掃施設 | 10,968,903 | 10,800,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 11,340,000 |
| 20 | 浮島処理センター粗大ごみ処理施設回転破砕機補修工事 | 清掃施設 | 2,544,745 | 2,500,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 2,625,000 |
| 21 | 港湾振興会館施設補修工事 | 内装 | 6,641,600 | 6,640,000 | 有限会社総合インテリア創伸 | 6,972,000 |
| 22 | 橘処理センターエレベーター設備基幹改良工事 | 機械 | 14,310,568 | 13,800,000 | 東芝エレベーター株式会社 神奈川支社 | 14,490,000 |
| 23 | 麻生水処理センターNo.1・2細目自動除じん機整備工事 | 機械 | 16,208,378 | 15,200,000 | 前澤工業株式会社 横浜支店 | 15,960,000 |
| 24 | 加瀬水処理センターほか水中エアレータ整備その他工事 | 機械 | 33,576,642 | 33,400,000 | 株式会社荏原製作所 品川事務所 | 35,070,000 |
| 25 | 市民ミュージアム冷凍機補修工事 | 空調・衛生 | 2,863,712 | 2,850,000 | 荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所 | 2,992,500 |
| 26 | 恵楽園冷温水発生機補修工事 | 空調・衛生 | 6,367,363 | 6,350,000 | 荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所 | 6,667,500 |
| 27 | 加瀬クリーンセンター2系ごみ圧縮機ラムシリンダー補修工事 | 清掃施設 | 7,760,223 | 7,500,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 7,875,000 |
| 28 | 浮島処理センター1号炉耐火物補修工事 | 清掃施設 | 16,585,341 | 16,200,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 17,010,000 |
| 29 | 等々力水処理センター酸素製造装置用空気圧縮機整備工事 | 機械 | 54,634,535 | 53,900,000 | 石川島汎用機サービス株式会社 東京事業所 | 56,595,000 |

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 落札業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|-------------------------------------|-----------|-------------------|-------------------|------------------------------|---------------------|
| 30 | 登戸新町仮排水所排水ポンプ整備工事 | 機械 | 2,309,769 | 2,200,000 | 新明和工業株式会社産機システム 事業部流体営業本部 | 2,310,000 |
| 31 | 加瀬水処理センター都市ガス引き込み配 管取替工事 | 機械 | 2,888,000 | 2,888,000 | 東京ガス株式会社 | 3,032,400 |
| 32 | 橋処理センター煙突設備基幹改良工事 | とび・ 土工 | 5,870,411 | 5,710,000 | 東洋テクノ株式会社 | 5,995,500 |
| 33 | 等々力水処理センターほか2系用曝気機 整備その他工事 | 機械 | 16,488,350 | 16,000,000 | 日本ギア工業株式会社 京浜事業所 | 16,800,000 |
| 34 | 宮前市民館自動制御設備改修工事 | 空調・ 衛生 | 5,414,457 | 5,300,000 | 株式会社山武 藤沢テクノセンター | 5,565,000 |
| 35 | 南河原保育園ガス設備改修工事 | 機械 | 2,646,000 | 2,646,000 | 東京ガス株式会社 | 2,778,300 |
| 36 | 踊場ポンプ場No.3汚水ポンプ整備工事 | 機械 | 1,379,862 | 1,350,000 | 大平洋機工株式会社 横浜営業所 | 1,417,500 |
| 37 | 入江崎水処理センターほか西系No.4主ボ ンプ整備その他工事 | 機械 | 25,967,403 | 25,500,000 | 株式会社荏原製作所 品川事務所 | 26,775,000 |
| 38 | 浮島処理センター2号炉ろ過式集じん器 補修工事 | 清掃 施設 | 47,000,298 | 46,500,000 | JFE環境ソリューションズ 株式会社 | 48,825,000 |
| 39 | 海底トンネル人道ファン補修工事 | 機械 | 8,432,155 | 8,200,000 | 株式会社荏原製作所 品川事務所 | 8,610,000 |
| 40 | 仮称宮前スポーツセンター・犬蔵中学校格 技室等新築追加工事 | 建築 | 1,614,837 | 1,570,000 | 北島・露木・横山共同企業体 | 1,648,500 |
| 41 | 等々力水処理センターNo.2放流ポンプ用 電動機整備工事 | 電気 | 11,968,803 | 11,500,000 | 東洋電機製造株式会社 横浜営業所 | 12,075,000 |
| 42 | 入江崎水処理センター西系No.4主ポンプ 用電動機整備その他工事 | 電気 | 9,639,035 | 9,400,000 | 富士電機システムズ株式会社 新横浜サービスセンター | 9,870,000 |
| 43 | 麻生水処理センターほかNo.1ブロウ用電 動機整備その他工事 | 電気 | 25,857,413 | 24,000,000 | 株式会社東芝首都圏南支社 | 25,200,000 |
| 44 | 堤根処理センター洗煙塔デミスター補修 工事 | 清掃 施設 | 19,038,095 | 18,500,000 | 三菱重工環境エソニア株式会社 | 19,425,000 |
| 45 | 橋処理センター基幹改良工事 | 清掃 施設 | 2,285,771,4 00 | 2,240,000,0 00 | 三菱重工業株式会社 | 2,352,000,000 |
| 46 | 浮島2期廃棄物埋立B護岸(地盤改良)そ の11工事 | 土木 | 107,839,214 | 99,000,000 | 鹿島・鉄建共同企業体 | 105,010,500 |
| 47 | 浮島2期廃棄物埋立B護岸(地盤改良)そ の12工事 | 土木 | 217,828,214 | 211,000,000 | 東亜・みらい共同企業体 | 220,521,000 |
| 48 | 堤根処理センター1号炉耐火物ほか補修 工事 | 清掃 施設 | 39,500,049 | 38,500,000 | 三菱重工環境エソニア 株式会社 | 40,425,000 |
| 49 | 浮島処理センター粗大ごみ処理施設剪断 式破砕機ほか補修工事 | 清掃 施設 | 3,194,680 | 3,100,000 | JFE環境ソリューションズ 株式会社 | 3,255,000 |
| 50 | 浮島処理センター生活環境学習室展示設 備補修工事 | 内装 | 5,944,405 | 5,710,000 | 株式会社日展東京支店 | 5,995,500 |
| 51 | 川崎競輪場メインスタンド改修衛生設備 追加工事 | 空調・ 衛生 | 8,966,103 | 8,850,000 | 日東工業株式会社 | 9,292,500 |
| 52 | 川崎競輪場メインスタンド改修追加工事 | 建築 | 15,231,475 | 15,000,000 | 株式会社渡辺組 | 15,750,000 |
| 53 | 川崎競輪場メインスタンド改修電気その 他設備追加工事 | 電気 | 3,175,682 | 3,100,000 | 株式会社寿電興 | 3,255,000 |
| 54 | 中原区内都市計画道路宮内新横浜線道路 築造(その4)工事 | 土木 | 11,347,730 | 11,000,000 | 小沼・日東共同企業体 | 11,550,000 |
| 55 | 下小田中教職員住宅解体撤去追加工事 | とび・ 土工 | 647,934 | 620,000 | 大道産業株式会社 | 651,000 |
| 56 | 浮島2期廃棄物埋立B護岸(地盤改良)そ の13工事 | 土木 | 64,263,572 | 63,000,000 | 鹿島・鉄建共同企業体 | 66,748,500 |
| 57 | 浮島1期廃棄物埋立処分地構内整地工事 | 土木 | 2,764,723 | 2,730,000 | 岡村建興株式会社 | 2,866,500 |
| 58 | 南部リサイクルセンターアルミ圧縮機ほ か補修工事 | 清掃 施設 | 5,334,466 | 5,140,000 | JFE環境ソリューションズ 株式会社 | 5,397,000 |

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 落札業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|----------------------------------|-----------|--------------|-------------|--------------------|---------------------|
| 59 | 堤根処理センター煙突設備改造工事 | とび・ 土工 | 297,970,200 | 296,000,000 | 東洋テクノ株式会社 | 310,800,000 |
| 60 | 堤根処理センター計量データ処理装置補修 工事 | 機械 | 6,329,367 | 6,200,000 | 株式会社クボタ 東京本社 | 6,510,000 |
| 61 | 古市場住宅新築第1号ガス設備工事 | 機械 | 12,777,000 | 12,777,000 | 東京ガス株式会社 | 13,415,850 |
| 62 | 川崎駅西口堀川町地区市民文化施設整備工 事 | 建築 | 228,286,169 | 226,000,000 | 清水建設株式会社 横浜支店 | 238,386,750 |
| 63 | 橋処理センター鉄道輸送用ごみ積替え設備 基幹改良工事 | 機械 | 11,893,810 | 10,900,000 | 株式会社坪倉興業 | 11,445,000 |
| 64 | 堤根処理センター資源化処理施設アルミ選 別機ほか補修工事 | 清掃 施設 | 1,773,822 | 1,730,000 | 極東開発工業株式会社 東京支社 | 1,816,500 |
| 65 | 等々力水処理センターNo.4計装用コンプレ ッサー整備工事 | 機械 | 1,679,831 | 1,650,000 | 川崎重工業株式会社 東京本社 | 1,732,500 |
| 66 | 麻生区内主要地方道世田谷町田道路改良工 事ほか | 土木 | 78,992,100 | 78,000,000 | 三井住友建設株式会社 横浜支店 | 81,900,000 |

06 年度随意契約一覧

単位:円

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 落札業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|---|-----------|--------------|-------------|--|---------------------|
| 1 | (仮称)大宮中幸町線堀川町地区道路整備 工事 | 土木 | 19,908,009 | 19,800,000 | 西松・桔梗共同企業体 | 22,376,550 |
| 2 | 浮島処理センター各炉耐火物ほか補修工 事 | 清掃 施設 | 53,722,627 | 53,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 55,650,000 |
| 3 | 橋処理センタープラント動力バスタクト 補修工事 | 清掃 施設 | 7,324,267 | 7,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株 式会社 | 7,350,000 |
| 4 | 渡田ポンプ場ほかNo.1 汚水ポンプ整備そ の他工事 | 機械 | 16,033,950 | 15,900,000 | 株式会社荏原製作所品川事 務所 | 16,695,000 |
| 5 | 橋処理センター粗大ごみ処理施設剪断式 破砕機補修工事 | 清掃 施設 | 3,289,707 | 3,200,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 3,360,000 |
| 6 | 中原区役所冷温水発生機補修工事 | 空調・ 衛生 | 3,903,570 | 3,900,000 | テクノ矢崎株式会社横浜支 店 | 4,095,000 |
| 7 | 南部リサイクルセンター1号自動色選別 装置仕分けコンベヤほか補修工事 | 清掃 施設 | 5,884,560 | 5,700,000 | J F E 環境ソリューションズ株式会 社 | 5,985,000 |
| 8 | 第3庁舎駐車場管制設備改修工事 | 電気 | 6,412,230 | 6,100,000 | 日信防災株式会社 | 6,405,000 |
| 9 | 浮島処理センター蒸気復水器補修工事 | 清掃 施設 | 419,788,710 | 410,000,000 | J F E 環境ソリューションズ株式会 社 | 430,500,000 |
| 10 | 生田中学校耐震補強追加工事 | 建築 | 3,302,640 | 3,200,000 | 清宮建築合資会社 | 3,360,000 |
| 11 | 等々力水処理センターNo.5 計装用コンプ レッサー整備工事 | 機械 | 1,663,200 | 1,650,000 | 川崎重工業株式会社東京本 社 | 1,732,500 |
| 12 | 市民ミュージアム冷凍機補修工事 | 空調・ 衛生 | 4,869,810 | 4,600,000 | 荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所 | 4,830,000 |
| 13 | 堤根処理センター2号炉第2キャビティ 下ホップ耐火物ほか補修工事 | 清掃 施設 | 26,285,490 | 26,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株 式会社 | 27,300,000 |
| 14 | 都市計画道路川崎駅西口線道路整備工事 | 土木 | 132,796,718 | 129,000,000 | 小沼・喜美代共同企業体 | 176,305,500 |
| 15 | 麻生老人福祉センター冷温水発生機 補修工事 | 空調・ 衛生 | 5,652,306 | 5,550,000 | 三洋商業サービス 株式会社関東サポートセン ター横浜サポートステー ション | 5,827,500 |
| 16 | 生田中学校耐震補強追加その2工事 | 建築 | 3,174,930 | 3,000,000 | 清宮建築合資会社 | 3,150,000 |
| 17 | 特別養護老人ホームすみよし直流電源装 置改修工事 | 電気 | 2,527,470 | 2,300,000 | 古河電池株式会社 | 2,415,000 |
| 18 | 加瀬クリーンセンター1系ごみ圧縮機ラ ムシリンダー補修工事 | 清掃 施設 | 9,054,935 | 8,845,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 9,287,250 |
| 19 | 浮島処理センター各炉耐火物ほか補修追 加工事 | 清掃 施設 | 3,618,450 | 3,600,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 3,780,000 |
| 20 | 東小田小学校耐震補強電気その他設備追 加工事 | 電気 | 348,250 | 340,000 | 有限会社志村電設工業 | 357,000 |
| 21 | 特別養護老人ホームすみよし自動火災報 知設備改修工事 | 消防 | 1,501,830 | 1,430,000 | ホーチキ株式会社 横浜支店 | 1,501,500 |
| 22 | 浮島処理センター粗大ごみ処理施設回転 破砕機補修工事 | 清掃 施設 | 3,552,120 | 3,500,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 3,675,000 |
| 23 | 等々力水処理センター酸素製造装置用空 気圧縮機整備工事 | 機械 | 40,322,700 | 39,500,000 | 石川島汎用機サービス 株式会社 東京事業所 | 41,475,000 |
| 24 | 市長応接室ほか内部改修その他追加工事 | 内装 | 371,134 | 370,000 | 株式会社日政 | 388,500 |
| 25 | 入江崎総合スラッジセンター2系遠心濃 縮機整備工事 | 機械 | 38,907,000 | 38,500,000 | 月島機械株式会社横浜支店 | 43,428,000 |
| 26 | 等々力水処理センター2系反応タンク曝 気機整備工事 | 機械 | 10,706,850 | 10,000,000 | 日本ギア工業株式会 社京浜事業所 | 10,500,000 |
| 27 | 橋処理センター粗大ごみ処理施設回転式 破砕機コンプレッションフィーダ補修工 事 | 清掃 施設 | 14,493,600 | 14,200,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 14,910,000 |

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 落札業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|----------------------------------|-----------|--------------|-------------|----------------------------------|---------------------|
| 28 | 橋処理センター電灯・200V動力バスダクト補修工事 | 清掃 施設 | 2,610,630 | 2,550,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 2,677,500 |
| 29 | 井田1丁目木造2階建家屋解体撤去追加工事 | とび・土 工 | 170,829 | 167,000 | 株式会社横山工務店 | 175,350 |
| 30 | 橋中学校校舎改築・仮称橋中学校内保育所新築追加工事 | 建築 | 125,412,785 | 123,500,000 | ジェクト・露木・宮田 共同企業体 | 129,675,000 |
| 31 | 橋中学校校舎改築・仮称橋中学校内保育所新築電気その他設備追加工事 | 電気 | 53,877,260 | 52,000,000 | 株式会社原電光社 | 56,551,950 |
| 32 | 橋中学校校舎改築・仮称橋中学校内保育所新築衛生その他設備追加工事 | 空調・ 衛生 | 60,585,550 | 60,300,000 | 富士設備・ミカセ 共同企業体 | 63,315,000 |
| 33 | かわさき北部斎苑火葬棟空調と設備補修工事 | 空調・ 衛生 | 32,638,320 | 31,200,000 | 芝工業株式会社 川崎営業所 | 32,760,000 |
| 34 | 入江崎水処理センターほか東系No.4プロワ用電動機整備その他工事 | 機械 | 27,076,500 | 26,900,000 | 富士電機システムズ 株式会社首都圏南部支店 | 28,245,000 |
| 35 | 浮島処理センター中央監視設備補修工事 | 電気 | 8,047,710 | 7,950,000 | 東芝電機サービス株式会社 神奈川支店 | 8,347,500 |
| 36 | 江川ポンプ場発電機整備その他工事 | 機械 | 34,254,000 | 34,000,000 | 株式会社東芝首都圏南支社 | 38,682,000 |
| 37 | 麻生消防署石綿含有吹付け材除去等追加工事 | とび・ 土工 | 1,061,665 | 1,000,000 | フジヤ機工株式会社 | 1,050,000 |
| 38 | 東生田寮解体撤去追加工事 | とび・ 土工 | 191,808 | 185,000 | 正宗産業株式会社 | 194,250 |
| 39 | 橋処理センター1号炉蒸気式空気予熱器・耐火物補修工事 | 清掃 施設 | 29,593,080 | 29,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 30,450,000 |
| 40 | 堤根処理センター資源化処理施設金属圧縮機油圧ユニットほか補修工事 | 清掃 施設 | 4,244,493 | 4,100,000 | 極東開発工業株式会社 東京支社 | 4,305,000 |
| 41 | 浮島処理センター3号炉ろ過式集じん器その他補修工事 | 清掃 施設 | 58,675,320 | 57,500,000 | JFE環境ソリューションズ 株式会社 | 60,375,000 |
| 42 | 等々力水処理センターNo.2放流ポンプ用減速機整備その他工事 | 機械 | 20,750,400 | 20,500,000 | 住友重機械エンバィロメント 株式会社 | 21,525,000 |
| 43 | 入江崎総合スラッジセンター脱水機棟床排水ポンプ整備その他工事 | 機械 | 3,802,380 | 3,750,000 | 大平洋機工株式会社 横浜営業所 | 3,937,500 |
| 44 | 菅北浦仮排水所排水ポンプ整備その他工事 | 機械 | 11,097,900 | 10,150,000 | 新明和工業株式会社 産機システム事業部 流体営業本部 | 11,151,000 |
| 45 | 上河原堰堤維持補修工事 | 機械 | 3,174,050 | 3,150,000 | 日立造船鉄構 株式会社東京支社 | 3,307,500 |
| 46 | 川崎球場グラウンド改修工事 | 土木 | 25,559,771 | 25,400,000 | 鹿島道路株式会社 横浜支店 | 26,670,000 |
| 47 | 東扇島換気所エレベータ設備ほか補修工事 | 機械 | 7,096,320 | 7,000,000 | 東芝エレベータ 株式会社神奈川支社 | 7,350,000 |
| 48 | 登戸行政サービスコーナー設置工事 | 建築 | 15,158,622 | 15,000,000 | 鉄建建設株式会社 横浜支店 | 15,750,000 |
| 49 | 富士見中学校外柵等外構整備その他追加工事 | 建築 | 3,187,611 | 2,980,000 | 株式会社鈴重建設 | 3,129,000 |
| 50 | 堤根処理センター1号炉耐火物その他補修工事 | 清掃 施設 | 9,295,290 | 9,100,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 9,555,000 |
| 51 | 等々力陸上競技場自家発電設備補修工事 | 電気 | 6,348,100 | 6,300,000 | 東芝電機サービス 株式会社神奈川支店 | 6,615,000 |
| 52 | 平瀬川支川護岸築造工事 | 土木 | 5,988,802 | 5,900,000 | 戸田建設株式会社 横浜支店 | 6,195,000 |
| 53 | 浮島処理センターNo.2集合ダストコンベアその他補修工事 | 清掃 施設 | 11,162,250 | 11,000,000 | JFE環境ソリューションズ 株式会社 | 11,550,000 |
| 54 | 等々力水処理センターNo.3計装用コンプレッサ整備工事 | 機械 | 2,139,250 | 2,100,000 | 川崎重工業株式会社 東京本社 | 2,205,000 |

| No. | 工事件名 | 業種名 | 予定価格 (税抜) | 落札金額 | 落札業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|---|-------|--------------|-------------|----------------------|---------------------|
| 55 | 南部リサイクルセンター1・2号瓶整列装置その他補修工事 | 清掃施設 | 5,631,700 | 5,400,000 | JFE環境ソリューションズ株式会社 | 5,670,000 |
| 56 | 浮島処理センター灰クレーンバケット補修工事 | 機械 | 15,506,370 | 14,800,000 | 株式会社福島製作所 | 15,540,000 |
| 57 | 下水道光ファイバーネットワークケーブル修理工事 | 通信 | 6,099,350 | 6,000,000 | 昭和電線ケーブルシステム株式会社 | 6,300,000 |
| 58 | 大島地区下水枝線第118号工事 | 下水管きよ | 2,109,789 | 2,100,000 | 株式会社小沼工務店 | 2,320,500 |
| 59 | 川崎国際生田緑地ゴルフ場乗用カート設備改修工事 | 電気 | 1,535,285 | 1,500,000 | 日立バッテリー販売サービス株式会社 | 1,575,000 |
| 60 | 等々力水処理センター1・2系水処理電気設備修理工事 | 電気 | 2,875,550 | 2,850,000 | 株式会社東芝 首都圏南支社 | 2,992,500 |
| 61 | 王禅寺処理センターEP灰搬送ライン補修工事 | 清掃施設 | 8,692,320 | 8,400,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 8,820,000 |
| 62 | 加瀬水処理センター反応タンク攪拌機整備その他工事 | 機械 | 14,483,700 | 14,450,000 | 株式会社荏原製作所 品川事務所 | 15,172,500 |
| 63 | 青少年科学館D51型蒸気機関車塗装工事 | 機械 | 2,345,651 | 2,300,000 | 東日本トランスポートテック株式会社 | 2,415,000 |
| 64 | 川崎シンフォニーホール冷暖房その他設備改修工事 | 空調・衛生 | 8,037,610 | 7,800,000 | 株式会社大気社 横浜支店 | 8,190,000 |
| 65 | 夢見ヶ崎動物公園動物病院用電源その他設備追加工事 | 電気 | 2,521,946 | 2,460,000 | 田島電業株式会社 | 2,583,000 |
| 66 | 等々力緑地中央グラウンド第3期整備工事ほか | 造園 | 24,205,157 | 23,200,000 | 株式会社大山組 | 24,360,000 |
| | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その5工事 | 土木 | 114,245,715 | 110,000,000 | 東亜建設工業株式会社 横浜支店 | 116,550,000 |
| 67 | 麻生区内都市計画道路尻手黒川線道路築造(その3)工事 | 土木 | 118,320,810 | 117,000,000 | 三井住友・藤木 共同企業体 | 122,850,000 |
| 68 | 川崎シンフォニーホール空調用電気ボイラー分解整備工事 | 空調・衛生 | 3,206,790 | 3,050,000 | 株式会社 東京エネシス京浜支社 | 3,202,500 |
| 69 | 小倉北住宅新築第2号ガス設備工事 | 機械 | 16,107,000 | 16,107,000 | 東京ガス株式会社 | 16,912,350 |
| 70 | 高津区内都市計画道路野川柿生線(溝口駅南口駅前広場)歩行者専用通路(エレベーター)新設工事 | 建築 | 59,718,780 | 59,500,000 | 清水建設株式会社 横浜支店 | 62,475,000 |
| 71 | 浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その6工事 | 土木 | 32,573,705 | 32,000,000 | 東亜建設工業 株式会社横浜支店 | 33,726,000 |
| 72 | 廃油処理施設撤去工事その2 | とび・土工 | 14,872,265 | 14,400,000 | 須藤開発興業 株式会社 | 15,120,000 |
| 73 | 西御幸小学校敷地内備蓄倉庫新築工事 | 建築 | 2,301,750 | 2,300,000 | 日成ビルド工業 株式会社神奈川支店 | 2,415,000 |
| 74 | 多摩区内都市計画道路向ヶ丘遊園駅菅生線道路築造(補償)工事 | 土木 | 10,114,940 | 10,000,000 | 吉孝・真成 共同企業体 | 7,355,250 |
| 75 | いさご会館外壁タイル剥落防止及び防水改修追加工事 | 建築 | 577,422 | 570,000 | 株式会社渡辺組 | 598,500 |
| 76 | 久地小学校校舎棟増築追加工事 | 建築 | 56,887,055 | 56,800,000 | 佐田建設株式会社 | 59,640,000 |
| 77 | 市民ミュージアム特別室等改修追加工事 | 建築 | 14,981,714 | 14,500,000 | 株式会社井上工務店 | 15,225,000 |

07 年度随意契約一覧表

単位:円

| No. | 件名 | 業種名 | 予定価格 | 契約金額 | 業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|-------------------------------------|-----------|-------------|-------------|---------------------------------------|---------------------|
| 1 | 堤根処理センター基幹設備改修工事 | 清掃 施設 | 326,086,200 | 320,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 320,000,000 |
| 2 | コンテナターミナル コンテナクレーン補 修工事 | 機械 | 127,589,220 | 127,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 127,000,000 |
| 3 | 橋処理センター3号炉ろ過式集じん器ろ布 その他補修工事 | 清掃 施設 | 123,572,790 | 121,900,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 121,900,000 |
| 4 | コンテナターミナルトランスファークレー ン補修工事 | 機械 | 85,047,930 | 85,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 85,000,000 |
| 5 | 平間配水所ほか1箇所 監視制御設備 改良工事 | 電気 | 83,110,000 | 82,500,000 | 富士電機水環境システムズ ㈱ | 82,500,000 |
| 6 | 長沢浄水場 加圧脱水機3・4号整備工事 | 機械 | 76,600,000 | 75,000,000 | 月島テクノメンテサービ ス㈱ | 75,000,000 |
| 7 | 新川崎地区都市基盤整備(道路) その2整備工事 | 土木 | 47,760,446 | 47,700,000 | 青木あすなる・小沼 共同企業体 | 51,514,000 |
| 8 | 浮島処理センター各炉耐火物 その他補修工事 | 清掃 施設 | 48,886,200 | 48,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 48,000,000 |
| 9 | 宮前区内都市計画道路向ヶ丘遊園駅 菅生線(犬蔵)道路築造工事ほか | 土木 | 47,720,904 | 47,350,000 | 河合土木株式会社 | 47,350,000 |
| 10 | 入江崎総合スラッジセンター3系 遠心濃縮機整備工事 | 機械 | 39,213,900 | 39,000,000 | 月島機械株式会社 横浜支店 | 39,000,000 |
| 11 | 大島ポンプ場高段No.4汚水ポンプ整備 その他工事 | 機械 | 38,580,300 | 38,500,000 | 株式会社荏原製作所 首都圏営業所 | 38,500,000 |
| 12 | 入江崎水処理センター東系No.3 主ポンプ用電動機整備その他工事 | 電気 | 36,095,400 | 36,000,000 | 富士電機システムズ株式会 社 新横浜サービスセンター | 36,000,000 |
| 13 | 江川ポンプ場No.3雨水ポンプ整備 その他工事 | 機械 | 35,788,500 | 35,700,000 | 株式会社荏原製作所 首都圏営業所 | 35,700,000 |
| 14 | 王禅寺処理センター2、3号炉ガス冷却室 耐火物その他補修工事 | 清掃 施設 | 35,170,740 | 34,800,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 34,800,000 |
| 15 | 等々力水処理センター酸素発生装置用 空気圧縮機整備工事 | 機械 | 30,646,000 | 30,000,000 | 株式会社I H I 回転機械 汎用機サービス事業部東京 事業所 | 30,000,000 |
| 16 | 久地小学校屋外附帯工事 | 建築 | 26,158,815 | 26,100,000 | 大藤・岡・石川・吉田共同企 業体 | 26,100,000 |
| 17 | 新川崎地区都市基盤整備(道路) その1整備工事 | 土木 | 20,365,926 | 20,000,000 | N I P P O・大栄 共同企業体 | 25,370,000 |
| 18 | 幸区役所空調和其他設備改修追加工事 | 空調・ 衛生 | 24,273,025 | 24,200,000 | 株式会社 千年水道工業所 | 24,200,000 |
| 19 | 新川崎道路新設に伴う支障物撤去・移設そ の1工事 | 機械 | 22,875,570 | 22,800,000 | アマノ株式会社 神奈川支店 | 22,800,000 |
| 20 | 加瀬クリーンセンターコンパクトラム その他補修工事 | 清掃 施設 | 22,458,212 | 22,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 22,000,000 |
| 21 | 川崎市アートセンター展示コーナーほか設 置工事 | 建築 | 22,234,743 | 22,000,000 | 株式会社 北島工務店 | 22,000,000 |
| 22 | 第3庁舎地下3階非常用発電機設備 改修工事 | 電気 | 22,611,600 | 20,000,000 | 東芝電機サービス株式会社 神奈川支店 | 20,000,000 |
| 23 | 生田浄水場 特高受変電設備修理工事 | 電気 | 20,080,000 | 20,000,000 | ㈱ティエスジー | 20,000,000 |
| 24 | 等々力球場スコアボード補修工事 | 電気 | 20,798,670 | 19,950,000 | 東芝ライテック株式会社 首都圏第二電材営業部 | 19,950,000 |
| 25 | 麻生水処理センターNo.2ブロワ用電動機整 備その他工事 | 電気 | 17,909,100 | 17,500,000 | 株式会社東芝 首都圏南支社 | 17,500,000 |
| 26 | 長沢浄水場 自家発電設備ディーゼル機関修理工事 | 機械 | 17,220,000 | 17,000,000 | ㈱池貝ディーゼル | 17,000,000 |
| 27 | 京町雨水滞水池返送ポンプ用仕切弁 電気設備機能増設工事 | 電気 | 16,255,800 | 16,200,000 | 株式会社東芝 首都圏南支社 | 16,200,000 |

| No. | 件名 | 業種名 | 予定価格 | 契約金額 | 業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|---|-----------|------------|------------|--|---------------------|
| 28 | 等々力水処理センター3系ほか 反応タンク曝気機整備工事 | 機械 | 16,483,500 | 16,000,000 | 日本ギア工業株式会社 京浜事業所 | 16,000,000 |
| 29 | 川縦整備 川縦共同溝配水管布設その 18 工事に伴うアンカーフレーム製作及 び設置工事 | 水道 施設 | 15,460,000 | 15,450,000 | 大成・鹿島・戸田(高負) K J 124(4)~K J 132(1) トンネル特定建設工事共同 企業体 | 15,450,000 |
| 30 | 麻生水処理センターNo.3 細目除じん 機整備その他工事 | 機械 | 15,236,100 | 15,100,000 | 前澤工業 株式会社 横浜 支店 | 15,100,000 |
| 31 | 生田浄水場 遠方監視制御装置用 入出力制御装置改良工事 | 電気 | 15,080,000 | 14,800,000 | 富士電機水環境システムズ (株) | 14,800,000 |
| 32 | 川崎縦貫道路関連施設整備 川縦共同溝配水管布設その 17 工事 | 水道 施設 | 14,230,000 | 14,000,000 | 西松・勝村(高負) K J 132 (3) トンネル・共同溝特定 建設工事共同企業体 | 14,100,000 |
| 33 | 古市場住宅新築第2号ガス設備工事 | 空調・ 衛生 | 14,061,000 | 14,061,000 | 東京ガス 株式会社 | 14,061,000 |
| 34 | 等々力水処理センターNo. 4 放流ポンプ用電動機整備工事 | 電気 | 12,059,400 | 12,000,000 | 株式会社東芝首都圏南支社 | 12,900,000 |
| 35 | 多摩区総合庁舎吸収式冷温水機等 補修工事 | 空調・ 衛生 | 11,946,330 | 11,900,000 | 荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所 | 11,900,000 |
| 36 | 木月No3 仮排水所排水ポンプ整備 その他工事 | 機械 | 11,583,000 | 11,000,000 | 新明和工業株式会社 産機システム事業部 営業本部 | 11,000,000 |
| 37 | 橋処理センター資源化処理施設 不燃物供給コンベヤ補修工事 | 清掃 施設 | 10,603,890 | 10,500,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 10,500,000 |
| 38 | 小倉北住宅新築第2号工事 駐車場ほか追加工事 | 建築 | 10,377,180 | 10,300,000 | 山澄・銚子塚・正宗 共同企業体 | 10,300,000 |
| 39 | 浮島処理センター圧力・差圧伝送器 補修工事 | 電気 | 10,140,570 | 9,700,000 | 東芝電機サービス株式会社 神奈川支店 | 9,700,000 |
| 40 | 堤根処理センターほか1か所 トラックスケール重量指示計補修工事 | 機械 | 9,409,950 | 9,230,000 | 株式会社クボタ東京本社 | 9,230,000 |
| 41 | 浮島処理センター2号炉耐火物 その他補修工事 | 清掃 施設 | 8,894,160 | 8,700,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 8,700,000 |
| 42 | 等々力水処理センターNo.3 酸素製造装置整備その他工事 | 機械 | 8,434,800 | 8,400,000 | 昭和環境システム株式会社 | 8,400,000 |
| 43 | 長沢浄水場急速ろ過池管廊除湿機・ダク ト修理工事 | 機械 | 9,880,000 | 8,300,000 | (株)相互 | 8,300,000 |
| 44 | 南部リサイクルセンター瓶破砕機 その他補修工事 | 清掃 施設 | 8,367,480 | 8,160,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 8,160,000 |
| 45 | 下沼部 400 mm 工事中破損復旧工事 | 水道 施設 | 9,383,995 | 8,100,000 | 大成機工(株) | 8,100,000 |
| 46 | 緊急修理等路面復旧その2工事 (単価契約) | 水道 施設 | 16,933,380 | 16,700,000 | 藤原・重田共同企業体 | 8,099,424 |
| 47 | 野川 600 mm 伸縮管補強工事 | 水道 施設 | 8,860,000 | 8,100,000 | 日本ヴィクトリック(株) | 7,340,000 |
| 48 | 入江崎水処理センター沈砂洗浄設備 給水ポンプ整備その他工事 | 機械 | 6,865,500 | 6,800,000 | 新明和工業株式会社 産機システム事業部営業本 部 | 6,800,000 |
| 49 | 藤崎住宅全面的改善ガス設備工事 | 空調・ 衛生 | 6,778,000 | 6,778,000 | 東京ガス 株式会社 | 6,778,000 |
| 50 | 新殿下橋水管橋防食工事 | 塗装 | 6,140,000 | 5,780,000 | (株)アール・エヌ・ゴトー | 5,950,000 |
| 51 | 登戸地区下水管きよ移設工事 | 下水 管きよ | 5,998,800 | 5,900,000 | 鉄建・宮地建設工業 共同企業体 | 5,900,000 |
| 52 | 川縦整備 川縦共同溝配水管布設替 その 19 工事に伴うアンカーフレーム製 作及び設置工事 | 水道 施設 | 5,930,000 | 5,900,000 | 西松・勝村(高負) K J 132(3) トンネル共同溝特定建設工 事共同企業体 | 5,900,000 |

| No. | 件名 | 業種名 | 予定価格 | 契約金額 | 業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|---------------------------------------|-----------|------------|------------|-------------------------------|---------------------|
| 53 | 新川崎地区都市基盤整備（下水道） その1付帯工事 | 下水 管きよ | 4,999,000 | 4,800,000 | 東鉄工業株式会社横浜支店 | 5,320,000 |
| 54 | 給水管維持等路面復旧その5工事 （単価契約） | 水道 施設 | 15,397,126 | 15,200,000 | 深谷・横山共同企業体 | 5,184,750 |
| 55 | 京王稲田堤駅自転車等 第2、第3駐車場撤去工事 | 土木 | 4,689,062 | 4,630,000 | 京王建設株式会社 相模原支店 | 4,630,000 |
| 56 | 工業用水道 日本貨物鉄道㈱ 他3箇所 電磁流量計修理工事 | 電気 | 4,480,000 | 4,340,000 | ㈱ティエスジー | 4,340,000 |
| 57 | 男女共同参画センターガス設備補修工 事 | 空調・ 衛生 | 4,200,000 | 4,200,000 | 東京ガス 株式会社 | 4,200,000 |
| 58 | 古市場住宅新築第1号屋外附帯 その他追加工事 | 建築 | 4,054,050 | 4,000,000 | 株式会社 横山工務店 | 4,000,000 |
| 59 | 2号送水管 1200mm・1号送水管 800mm 仕切弁修理工事 | 機械 | 4,680,000 | 4,000,000 | ㈱前澤エンジニアリングサービス | 4,000,000 |
| 60 | 緊急修理等路面復旧その1工事 （単価契約） | 水道 施設 | 16,888,934 | 16,700,000 | 石塚・岡村共同企業体 | 3,908,322 |
| 61 | 浮島処理センター粗大ごみ処理施設 回転破砕機ライナ補修工事 | 清掃 施設 | 4,064,940 | 3,900,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 3,900,000 |
| 62 | 等々力陸上競技場大型映像装置改修工 事 | 電気 | 4,049,100 | 3,600,000 | 三菱電機プラントエンジニアリ ング株式会社神奈川支社 | 3,600,000 |
| 63 | 上水4号配水本管仕切弁 700mm修理工 事 | 水道 施設 | 3,440,000 | 3,400,000 | ㈱前澤エンジニアリングサービス | 3,400,000 |
| 64 | 小倉北住宅新築第3号ガス設備工事 | 空調・ 衛生 | 3,384,000 | 3,384,000 | 東京ガス 株式会社 | 3,384,000 |
| 65 | ミュージアム川崎シンフォニーホール 地下1階搬入ロースロープ改修工事 | 建築 | 3,369,523 | 3,300,000 | 清水建設株式会社 横浜支店 | 3,300,000 |
| 66 | 堤根処理センター資源化処理施設 ペットボトル減容機補修工事 | 清掃 施設 | 3,130,380 | 3,040,000 | 極東開発工業株式会社 東京支社 | 3,040,000 |
| 67 | 有馬小学校給食職員用シャワー室設置 その他工事 | 建築 | 3,068,380 | 3,000,000 | 大和リース株式会社 横浜支店 | 3,000,000 |
| 68 | 工業用水道 花王㈱他2箇所 電磁流量計修理工事 | 電気 | 3,030,000 | 3,000,000 | ㈱山武 | 3,000,000 |
| 69 | 緊急修理等路面復旧その3工事 （単価契約） | 水道 施設 | 16,829,355 | 16,500,000 | 利建設・追川建設共同企業体 | 2,988,238 |
| 70 | 導水ずい道 電防14号移設その2工 事 | 電気 | 2,860,000 | 2,850,000 | ㈱ナカボーテック | 2,850,000 |
| 71 | 給水管維持等路面復旧その2工事 （単価契約） | 水道 施設 | 14,878,850 | 14,200,000 | 工藤・須貝共同企業体 | 2,811,879 |
| 72 | 渡田雨水滞水池No.2残留水ポンプ整備 その他工事 | 機械 | 2,791,800 | 2,600,000 | 大平洋機工株式会社 横浜営業所 | 2,600,000 |
| 73 | 市民ミュージアム冷凍機補修工事 | 空調・ 衛生 | 2,812,590 | 2,600,000 | 荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所 | 2,600,000 |
| 74 | 地域衛星通信ネットワーク 遠方監視制御設備工事 | 通信 | 2,301,750 | 2,300,000 | 株式会社東芝首都圏南支社 | 2,300,000 |
| 75 | 多摩区内都市計画道路向ヶ丘遊園駅 営生線道路築造（補償）工事 | 土木 | 1,959,608 | 1,850,000 | 株式会社吉孝土建 | 1,850,000 |
| 76 | 平間配水所 管理棟空調和設備改良工事 | 空調・ 衛生 | 1,624,000 | 1,600,000 | ㈱東洋社 | 1,600,000 |
| 77 | 工業用水道 プレス工業㈱ 電磁流量計修理工事 | 電気 | 1,350,000 | 1,327,000 | 愛知時計電機㈱ | 1,327,000 |

08年度 随意契約工事一覧

単位:円

| No. | 件名 | 業種名 | 予定価格 | 契約金額 | 業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|------------------------------------|-----------|---------------|---------------|--|---------------------|
| 1 | 浮島処理センター基幹改良工事 | 清掃 施設 | 5,086,464,582 | 5,040,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 5,292,000,000 |
| 2 | 江川1号雨水幹線その5工事 | 下水管 | 775,765,700 | 775,000,000 | 前田・東洋・藤木 共同企業体 | 813,750,000 |
| 3 | 浮島処理センタークレーン設備基幹改良工事 | 機械 | 303,394,410 | 300,000,000 | 富士ホイスト工業株式会社 | 315,000,000 |
| 4 | 堤根処理センター基幹設備改修工事 | 清掃 施設 | 265,700,160 | 260,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 273,000,000 |
| 5 | コンテナターミナル荷役設備 補修工事 | 機械 | 256,999,562 | 256,000,000 | J F E テクノス株式会社 | 258,082,650 |
| 6 | 浮島処理センター基幹改良前倒工事 | 清掃 施設 | 240,747,210 | 236,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 247,800,000 |
| 7 | 御幸小学校大規模改修追加工事 | 建築 | 172,182,760 | 171,500,000 | 喜美代・高橋共同企業体 | 197,368,500 |
| 8 | 川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝 配水管布設その18工事 | 水道 施設 | 138,280,000 | 138,250,000 | 大成・鹿島・戸田(高負) K J 1 2 4 (4) - K J 1 3 2 (1) トンネル特定建 設工事共同企業体 | 145,162,500 |
| 9 | 橋処理センター1号炉ろ過式集じん器 ろ布その他補修工事 | 清掃 施設 | 139,200,761 | 136,200,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 143,010,000 |
| 10 | 大師河原7号雨水幹線その1工事 | 下水管 | 94,904,430 | 94,500,000 | 西松・勝村(高負) K J 1 3 2 (3) トンネル・共同溝特定建設 工事共同企業体 | 104,328,000 |
| 11 | 王禅寺処理センター2、3号炉耐火物そ の他補修工事 | 清掃 施設 | 60,801,840 | 60,000,000 | 三菱重工環境エンジニアリング 株式会社 | 63,000,000 |
| 12 | 渋川3号雨水幹線その2工事 | 下水管 | 59,870,060 | 59,700,000 | 青木あすなる・みらい・小 沼共同企業体 | 62,685,000 |
| 13 | 大島ポンプ場高段NO. 3 汚水ポンプ整備その他工事 | 機械 | 55,468,840 | 55,000,000 | 株式会社荏原製作所 | 57,750,000 |
| 14 | 等々力水処理センターNo.3放流ポンプ 用電動機整備その他工事 | 電気 | 51,925,500 | 51,800,000 | 株式会社東芝 | 54,390,000 |
| 15 | 御幸小学校大規模改修衛生 その他設備追加工事 | 空調・ 衛生 | 50,397,745 | 50,200,000 | 吉浜・菱沼共同企業体 | 52,710,000 |
| 16 | 市道川崎町田線道路改良整備工事 | 土木 | 47,467,170 | 47,200,000 | 大成ロテック・織戸 共同企業体 | 49,560,000 |
| 17 | 入江崎水処理センター東系No.2ブロウ 用電動機整備その他工事 | 電気 | 46,381,500 | 45,500,000 | メタウォーター株式会社 | 47,775,000 |
| 18 | 新城小学校大規模改修(改築棟)冷暖房 その他設備追加工事 | 空調・ 衛生 | 41,050,715 | 40,430,000 | 株式会社富士設備 | 42,451,500 |
| 19 | 新城小学校大規模改修追加工事 | 建築 | 37,597,070 | 37,500,000 | 株式会社大藤建設 | 39,375,000 |
| 20 | 蟹ヶ谷槍ヶ崎住宅新築第5号ガス設備 工事 | 空調・ 衛生 | 37,142,000 | 37,142,000 | 東京瓦斯株式会社 | 38,999,100 |
| 21 | 入江崎総合スラッジセンター4系遠心 濃縮機整備工事 | 機械 | 34,699,500 | 34,600,000 | 月島機械株式会社 | 38,052,000 |
| 22 | 等々力水処理センター酸素発生装置用 空気圧縮機整備工事 | 機械 | 34,788,600 | 34,200,000 | 株式会社I H I 回転機械 | 35,910,000 |
| 23 | 仮称有馬・野川地区生涯学習拠点施設新 築屋外附帯工事 | 建築 | 32,357,610 | 32,300,000 | 株式会社ハヤカワ | 33,915,000 |
| 24 | 谷ヶ原取水所計装設備改良工事 | 電気 | 33,910,000 | 32,000,000 | 株式会社東芝 | 33,600,000 |
| 25 | 等々力水処理センター水処理調節計取 替その他工事 | 電気 | 30,789,000 | 30,500,000 | メタウォーター株式会社 | 32,025,000 |
| 26 | 等々力水処理センター3系ほか反応タ ンク曝気機整備工事 | 機械 | 30,284,100 | 30,000,000 | 日本ギア工業株式会社 | 31,500,000 |

| No. | 件名 | 業種名 | 予定価格 | 契約金額 | 業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|--------------------------------|-------|------------|------------|---|---------------------|
| 27 | 川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝配水管布設その19工事 | 水道施設 | 29,570,000 | 29,500,000 | 西松・勝村（高負）K J 1 3 2（3）トンネル・共同溝特定建設工事共同企業体 | 30,901,500 |
| 28 | 新丸子東三丁目地区人道地下通路内装建築工事 | 建築 | 28,634,760 | 28,600,000 | 武蔵小杉駅設置南武線工区建設共同企業体 | 30,030,000 |
| 29 | 川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝配水管布設その20工事 | 水道施設 | 25,800,000 | 25,700,000 | 竹中土木・青木あすなろ（高負）K J 1 2 4（2-2）K J 1 2 5（1-1-1）トンネル・共同溝 | 26,985,000 |
| 30 | 等々力陸上競技場大型映像システム表示処理装置ほか改修工事 | 電気 | 25,715,250 | 25,600,000 | 三菱電機株式会社 | 26,880,000 |
| 31 | 仮称有馬・野川地区生涯学習拠点施設新築追加工事 | 建築 | 25,571,500 | 25,500,000 | 株式会社ハヤカワ | 26,775,000 |
| 32 | 生田浄水場特高受変電設備修理工事 | 電気 | 22,590,000 | 22,500,000 | 株式会社ティエスジー | 23,625,000 |
| 33 | 南部リサイクルセンターペットボトル減容機その他補修工事 | 清掃施設 | 22,883,850 | 22,400,000 | J F E 環境ソリューションズ株式会社 | 23,520,000 |
| 34 | 玉禅寺処理センター1号炉耐火物補修工事 | 清掃施設 | 19,945,530 | 19,500,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 20,475,000 |
| 35 | 入江崎総合スラッジセンター調整槽攪拌機整備その他工事 | 機械 | 19,641,600 | 18,700,000 | フリクト日本株式会社 | 19,635,000 |
| 36 | 古市場住宅新築第2号躯体内電気配管工事 | 電気 | 19,324,067 | 18,550,000 | 株式会社沖電設 | 19,477,500 |
| 37 | 加瀬クリーンセンター1系コンパクトラムその他補修工事 | 清掃施設 | 18,787,044 | 18,500,000 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 19,425,000 |
| 38 | 渋川ポンプ場監視制御装置設置工事 | 電気 | 14,038,200 | 14,000,000 | 株式会社東芝 | 14,700,000 |
| 39 | 生田浄水場高区ポンプ所電気設備修理工事 | 電気 | 13,660,000 | 13,500,000 | 株式会社ティエスジー | 14,175,000 |
| 40 | 田島中学校耐震補強その他追加工事 | 建築 | 13,077,900 | 13,000,000 | 株式会社銚子塚建設 | 13,650,000 |
| 41 | Y T T ビル更生相談所改修工事 | 建築 | 12,427,550 | 11,960,000 | 株式会社 J B F | 12,558,000 |
| 42 | 浮島処理センター1号炉燃焼段天井耐火物補修工事 | 清掃施設 | 11,689,920 | 11,300,000 | J F E 環境ソリューションズ株式会社 | 11,865,000 |
| 43 | 給水管維持等路面復旧その2工事（単価契約） | 水道施設 | 17,366,351 | 16,950,000 | 藤和・日東共同企業体 | 11,365,386 |
| 44 | 野川600mm伸縮管補強工事 | 水道施設 | 11,000,000 | 10,000,000 | 日本ヴィクトリック株式会社 | 10,636,500 |
| 45 | 緊急修理等路面復旧その2工事（単価契約） | 水道施設 | 17,103,860 | 17,150,000 | 織戸・河合共同企業体 | 10,067,955 |
| 46 | 本庁舎暖房用ボイラ補修工事 | 空調・衛生 | 9,692,100 | 9,500,000 | 株式会社前田鉄工所 | 9,975,000 |
| 47 | 等々力陸上競技場バックスタンドテント補修工事 | 建築 | 7,542,450 | 7,500,000 | 株式会社大山組 | 9,607,500 |
| 48 | 橘処理センター資源化処理施設回転式破碎機ライナその他補修工事 | 清掃施設 | 8,153,640 | 8,000,000 | J F E 環境ソリューションズ株式会社 | 8,400,000 |
| 49 | 等々力水処理センターNo.4 酸素製造装置整備その他工事 | 機械 | 7,770,950 | 7,700,000 | 昭和環境システム株式会社 | 8,085,000 |
| 50 | ミューザ川崎デッキ放送設備設置工事 | 通信 | 8,183,340 | 7,560,000 | 株式会社きんでん | 7,938,000 |
| 51 | 橘処理センター資源化処理施設剪断破碎機一次刃シリンダ補修工事 | 清掃施設 | 7,290,360 | 7,200,000 | J F E 環境ソリューションズ株式会社 | 7,560,000 |

| No. | 件名 | 業種名 | 予定価格 | 契約金額 | 業者名 | 変更後 税込変更 契約金額 |
|-----|---|-----------|------------|------------|---|---------------------|
| 52 | 川縦整備川縦共同溝配水管布設その2 0工事に伴うアンカーフレーム製作及 び設置工事 | 水道 施設 | 6,830,000 | 6,800,000 | 竹中土木・青木あすなろ高負) K J 1 2 4 (2 - 2) K J 1 2 5 (1 - 1 - 1) トンネル・共 同溝特定建設工事 | 7,140,000 |
| 53 | 御幸小学校大規模改修電気その他設備 追加工事 | 電気 | 6,277,716 | 6,250,000 | 東邦・寿共同企業体 | 6,562,500 |
| 54 | 入江崎総合スラッジセンター取水ポン プ整備その他工事 | 機械 | 6,365,700 | 6,200,000 | 新明和アクアテクサービス 株式会社 | 6,510,000 |
| 55 | 川崎駅東口側東西自由通路エレベータ ー設置その他追加工事 | 建築 | 6,029,933 | 6,000,000 | 鹿島建設株式会社 | 6,300,000 |
| 56 | 高齢社会福祉総合センター冷温水発生 機補修工事 | 機械 | 6,386,490 | 5,650,000 | 株式会社日立ビルシステム | 5,932,500 |
| 57 | 堤根処理センター主蒸気圧力調節計ほ か計装設備基幹設備改修工事 | 電気 | 4,583,700 | 4,500,000 | 横河フィールドエンジニアリン グサービス株式会社 | 4,725,000 |
| 58 | 岡本太郎美術館冷凍機補修工事 | 空調・ 衛生 | 4,568,850 | 4,170,000 | 株式会社マエカワ | 4,378,500 |
| 59 | 工業用水道日油榊川崎工場他3箇所電 磁流量計修理工事 | 電気 | 4,080,000 | 4,000,000 | 協同電気株式会社 | 4,200,000 |
| 60 | 緊急修理等路面復旧その1工事(単価契 約) | 水道 施設 | 17,306,751 | 16,800,000 | 小沼・関トウ共同企業体 | 4,051,747 |
| 61 | 川崎港海底トンネル火災報知設備工事 | 消防 | 3,869,555 | 3,850,000 | 能美防災株式会社 | 4,042,500 |
| 62 | 工業用水道東亜石油榊水江工場No.1 No. 2 電磁流量計修理工事 | 電気 | 3,660,000 | 3,600,000 | 昱株式会社 | 3,780,000 |
| 63 | 潮見台浄水場非常用自家発電設備排気 消音器修理工事 | 電気 | 4,930,000 | 4,500,000 | 株式会社カワサキマシンシステ ムズ | 3,654,000 |
| 64 | 橋処理センター資源化処理施設No.2 鉄類コンベヤ補修工事 | 清掃 施設 | 3,050,190 | 3,000,000 | J F E 環境ソリューションズ 株式会社 | 3,150,000 |
| 65 | 王禅寺余熱利用市民施設ガス配管切替 工事 | 空調・ 衛生 | 3,000,000 | 3,000,000 | 東京瓦斯株式会社 | 3,150,000 |
| 66 | 鷺沼配水所土橋送水ポンプ1号電動機 二次側機構部修理工事 | 電気 | 1,830,000 | 1,800,000 | 株式会社ティエスジー | 1,890,000 |
| 67 | 工業用水道日鉦金属榊電磁流量計修理 工事 | 電気 | 1,550,000 | 1,500,000 | 株式会社ティエスジー | 1,575,000 |
| 68 | 工水1号送水管950mm仕切弁修理工 事 | 機械 | 1,240,000 | 1,100,000 | 株式会社前澤エンジニアリング サービス | 1,155,000 |
| 69 | 緊急修理等路面復旧その3工事(単価契 約) | 水道 施設 | 17,284,750 | 17,080,000 | 黒川・追川共同企業体 | 815,584 |

別表2 2008年度川崎市建設業協会受注業者ランキング 単位:百万円

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|-------------|-----|------------|----|----------|
| 2 | 株式会社小沼工務店 | 市内 | 会員 | 17 | 1,501 |
| 3 | 株式会社大藤建設 | 市内 | 会員 | 12 | 1,429 |
| 4 | 株式会社大山組 | 市内 | 会員 | 8 | 1,416 |
| 8 | 株式会社重田組 | 市内 | 会員 | 8 | 1,062 |
| 10 | 株式会社織戸組 | 市内 | 会員 | 12 | 1,024 |
| 12 | 株式会社北島工務店 | 市内 | 会員 | 1 | 895 |
| 14 | 幸伸工業株式会社 | 市内 | 会員 | 11 | 842 |
| 15 | 藤木工業株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 730 |
| 16 | 株式会社喜美代建設 | 市内 | 会員 | 3 | 664 |
| 17 | トモエコーポレーション | 市内 | 会員 | 25 | 639 |
| 18 | 大恵建設株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 633 |
| 20 | 野州工業株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 626 |
| 22 | 株式会社横山工務店 | 市内 | 会員 | 6 | 612 |
| 25 | 株式会社銚子塚建設 | 市内 | 会員 | 5 | 531 |
| 27 | 藤原建設株式会社 | 市内 | 会員 | 6 | 509 |
| 29 | 株式会社吉孝土建 | 市内 | 会員 | 5 | 494 |
| 31 | 露木建設株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 488 |
| 32 | 岡村建興株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 480 |
| 34 | 重田造園土木株式会社 | 市内 | 会員 | 11 | 454 |
| 36 | 株式会社澤田組 | 市内 | 会員 | 6 | 443 |
| 40 | 株式会社ハヤカワ | 市内 | 会員 | 3 | 378 |
| 42 | 株式会社ヤマチヨウ | 市内 | 会員 | 5 | 371 |
| 43 | 株式会社渡辺土木 | 市内 | 会員 | 5 | 361 |
| 47 | 河合土木株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 338 |
| 48 | 河崎組建設業株式会社 | 市内 | 会員 | 7 | 337 |
| 49 | 藤和建興株式会社 | 市内 | 会員 | 9 | 327 |
| 50 | 大道産業株式会社 | 市内 | 会員 | 12 | 316 |
| 53 | 浅川建設工業株式会社 | 市内 | 会員 | 7 | 307 |
| 54 | 株式会社丸栄建設 | 市内 | 会員 | 7 | 305 |
| 55 | 株式会社興建 | 市内 | 会員 | 4 | 298 |
| 56 | 株式会社石塚土木 | 市内 | 会員 | 9 | 295 |
| 58 | 小田土木株式会社 | 市内 | 会員 | 5 | 274 |
| 71 | 千代田建設工業株式会社 | 市内 | 会員 | 3 | 221 |
| 72 | 株式会社八木工務店 | 市内 | 会員 | 2 | 220 |
| 73 | 大栄建設株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 215 |
| 74 | 宮田土建工業株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 211 |
| 75 | 株式会社村松工務店 | 市内 | 会員 | 1 | 209 |
| 76 | 山澄建設株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 209 |
| 78 | ヤナギ建工株式会社 | 市内 | 会員 | 9 | 193 |
| 83 | 株式会社飯尾工業 | 市内 | 会員 | 4 | 180 |
| 87 | 株式会社堀一組 | 市内 | 会員 | 4 | 174 |
| 90 | 追川建設株式会社 | 市内 | 会員 | 6 | 171 |
| 95 | 清生土木有限会社 | 市内 | 会員 | 6 | 162 |
| 98 | 株式会社鈴重建設 | 市内 | 会員 | 6 | 157 |
| 101 | 株式会社三秀 | 市内 | 会員 | 8 | 154 |
| 105 | 株式会社P B S | 市内 | 会員 | 4 | 147 |
| 106 | 神明建設株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 146 |
| 113 | 東聖建設株式会社 | 市内 | 会員 | 6 | 132 |
| 114 | 正宗産業株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 129 |
| 124 | 株式会社邦松工務店 | 市内 | 会員 | 3 | 116 |
| 125 | 株式会社美栄工業 | 市内 | 会員 | 7 | 114 |
| 126 | 月野建設株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 112 |
| 129 | 株式会社黒川土木 | 市内 | 会員 | 6 | 108 |
| 130 | 東生建設株式会社 | 市内 | 会員 | 3 | 107 |

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|------------|-----|------------|----|----------|
| 133 | 株式会社浅野建設 | 市内 | 会員 | 4 | 104 |
| 134 | 長栄興業株式会社 | 市内 | 会員 | 6 | 103 |
| 153 | 株式会社深瀬工務店 | 市内 | 会員 | 4 | 80 |
| 154 | 大川原建設株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 80 |
| 162 | 黒川工業株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 72 |
| 166 | 株式会社佐藤工務店 | 市内 | 会員 | 3 | 68 |
| 173 | 大都建設株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 64 |
| 176 | 利建設株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 61 |
| 177 | 株式会社田辺工務店 | 市内 | 会員 | 10 | 60 |
| 179 | 森田建材株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 58 |
| 189 | 矢島建設工業株式会社 | 市内 | 会員 | 3 | 51 |
| 191 | 有限会社工藤組 | 市内 | 会員 | 9 | 50 |
| 192 | 河島建設有限公司 | 市内 | 会員 | 6 | 49 |
| 196 | 株式会社吉忠工務所 | 市内 | 会員 | 1 | 47 |
| 197 | 株式会社トビキク | 市内 | 会員 | 6 | 46 |
| 202 | 株式会社星野和建設 | 市内 | 会員 | 1 | 42 |
| 203 | 高橋建設興業株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 41 |
| 214 | 高岸建設工業株式会社 | 市内 | 会員 | 3 | 39 |
| 221 | 第一工営株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 37 |
| 227 | 株式会社河原工務店 | 市内 | 会員 | 7 | 35 |
| 234 | 加図建設株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 32 |
| 241 | シンヨー株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 30 |
| 243 | 丸和建设株式会社 | 市内 | 会員 | 3 | 30 |
| 252 | 秀建工業株式会社 | 市内 | 会員 | 4 | 28 |
| 254 | 深谷建設株式会社 | 市内 | 会員 | 2 | 27 |
| 287 | 株式会社大隅興業 | 市内 | 会員 | 3 | 21 |
| 305 | 株式会社笹久保建設 | 市内 | 会員 | 1 | 16 |
| 314 | ケイ・アイ株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 16 |
| 332 | 古谷建設工業株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 12 |
| 346 | 有限会社濃沼工業 | 市内 | 会員 | 2 | 11 |
| 359 | 株式会社藤島工務店 | 市内 | 会員 | 1 | 9 |
| 364 | 野村建設株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 9 |
| 365 | 株式会社伸栄工事 | 市内 | 会員 | 1 | 9 |
| 380 | 松元工事株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 8 |
| 445 | 関トウ株式会社 | 市内 | 会員 | 1 | 2 |

別表3 2008年度 非会員市内受注業者ランキング 単位:百万円

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|------------------|-----|------------|----|----------|
| 44 | 加藤土建株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 346 |
| 45 | 京浜メンテナンス株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 345 |
| 52 | 株式会社千年水道工業所 | 市内 | 非会員 | 3 | 311 |
| 57 | 株式会社原電光社 | 市内 | 非会員 | 1 | 280 |
| 61 | 佐田建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 264 |
| 67 | 株式会社丸井電設 | 市内 | 非会員 | 1 | 237 |
| 82 | 株式会社三興水道商会 | 市内 | 非会員 | 1 | 184 |
| 84 | 株式会社稲田水道工務店 | 市内 | 非会員 | 2 | 177 |
| 85 | 株式会社富士設備 | 市内 | 非会員 | 3 | 175 |
| 86 | 株式会社研空社 | 市内 | 非会員 | 2 | 174 |
| 91 | 明和工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 171 |
| 92 | 有限会社丸善興業 | 市内 | 非会員 | 3 | 171 |
| 93 | 川崎工苑建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 7 | 167 |
| 94 | 株式会社マミヤ | 市内 | 非会員 | 2 | 166 |
| 96 | 株式会社ロードカワサキ | 市内 | 非会員 | 19 | 160 |
| 97 | 熱研プラント工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 159 |
| 99 | 熊谷建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 156 |
| 100 | 麻生建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 155 |
| 102 | 有限会社山崎設備工業 | 市内 | 非会員 | 2 | 153 |
| 107 | 株式会社由貴工務店 | 市内 | 非会員 | 7 | 146 |
| 108 | 株式会社玉川設備 | 市内 | 非会員 | 1 | 142 |
| 109 | J F E ジーエス株式会社 | 市内 | 非会員 | 6 | 141 |
| 110 | 株式会社富士電気商会 | 市内 | 非会員 | 1 | 138 |
| 111 | 株式会社吉浜工業所 | 市内 | 非会員 | 2 | 136 |
| 112 | 東都熱工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 135 |
| 115 | 株式会社確井設備 | 市内 | 非会員 | 1 | 123 |
| 116 | 井野建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 7 | 123 |
| 117 | トヨオカ電気株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 122 |
| 120 | 大同産業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 120 |
| 121 | 株式会社大師鉄工所 | 市内 | 非会員 | 7 | 119 |
| 123 | テルヤ電工株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 118 |
| 127 | 株式会社大和園 | 市内 | 非会員 | 2 | 110 |
| 128 | 株式会社小滝建設工業 | 市内 | 非会員 | 4 | 110 |
| 131 | 株式会社光正工務店 | 市内 | 非会員 | 3 | 107 |
| 132 | 株式会社ミカセ | 市内 | 非会員 | 1 | 105 |
| 135 | 川崎緑土株式会社 | 市内 | 非会員 | 9 | 100 |
| 139 | 日東工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 97 |
| 141 | 昌栄電設株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 96 |
| 142 | 都市造園建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 92 |
| 143 | 篠原電機工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 91 |
| 144 | 鹿島環境設備株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 88 |
| 148 | 東伸建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 83 |
| 149 | 若井工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 82 |
| 152 | 千代田電気株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 81 |
| 155 | 有限会社横浜ベイサイドサービス | 市内 | 非会員 | 6 | 79 |
| 156 | 株式会社エンドーエンジニアリング | 市内 | 非会員 | 7 | 78 |
| 159 | 株式会社東洋社 | 市内 | 非会員 | 2 | 76 |
| 160 | 須藤工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 75 |
| 161 | 株式会社京浜ライン | 市内 | 非会員 | 14 | 73 |
| 163 | 三田調温工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 70 |
| 164 | 信号器材株式会社 | 市内 | 非会員 | 9 | 69 |
| 165 | 南武造園建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 69 |
| 167 | 有限会社柳商店 | 市内 | 非会員 | 6 | 66 |
| 168 | 寺尾サッシ工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 65 |
| 169 | 株式会社寿電興 | 市内 | 非会員 | 2 | 65 |

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|-------------------|-----|------------|----|----------|
| 170 | コジマペイント株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 65 |
| 171 | 株式会社イマムラ | 市内 | 非会員 | 3 | 64 |
| 172 | 八巧機電設備株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 64 |
| 174 | 株式会社村田塗装工業所 | 市内 | 非会員 | 3 | 63 |
| 175 | 甲信電気株式会社 | 市内 | 非会員 | 5 | 61 |
| 178 | 京急電機株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 59 |
| 181 | 真成開発株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 58 |
| 182 | 株式会社タイトー | 市内 | 非会員 | 2 | 58 |
| 183 | 光和電機株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 55 |
| 185 | 横堀電機工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 52 |
| 187 | 道路交通株式会社 | 市内 | 非会員 | 11 | 51 |
| 188 | 柴崎工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 51 |
| 190 | 新電工株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 50 |
| 193 | 末広電業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 49 |
| 194 | 富士工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 48 |
| 195 | 北條建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 7 | 47 |
| 198 | 株式会社シンヤ | 市内 | 非会員 | 1 | 46 |
| 200 | 有限会社大川原工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 42 |
| 206 | 株式会社村瀬造園 | 市内 | 非会員 | 4 | 41 |
| 207 | 株式会社シンケン | 市内 | 非会員 | 3 | 41 |
| 208 | 有限会社中神 | 市内 | 非会員 | 7 | 41 |
| 209 | 株式会社ミヤ設備 | 市内 | 非会員 | 9 | 40 |
| 211 | 本田工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 40 |
| 212 | 大和塗装株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 39 |
| 213 | 株式会社神野 | 市内 | 非会員 | 1 | 39 |
| 215 | 横山設備工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 39 |
| 217 | 有限会社イースト・コーポレーション | 市内 | 非会員 | 2 | 38 |
| 219 | 株式会社ロードテック | 市内 | 非会員 | 10 | 37 |
| 220 | 有限会社ひかり建設 | 市内 | 非会員 | 2 | 37 |
| 222 | 株式会社今村建設 | 市内 | 非会員 | 7 | 36 |
| 223 | 京浜管理株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 36 |
| 224 | 交安株式会社 | 市内 | 非会員 | 11 | 36 |
| 226 | コトブキテックレックス株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 36 |
| 228 | 上田工務店株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 34 |
| 229 | ヨコタ塗装株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 34 |
| 230 | 上田動力工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 6 | 33 |
| 232 | 川又電機工事株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 32 |
| 233 | 日出磨電工株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 32 |
| 236 | 株式会社佐野建設 | 市内 | 非会員 | 4 | 31 |
| 237 | 薩摩舗道工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 31 |
| 238 | 株式会社スズコウ | 市内 | 非会員 | 2 | 31 |
| 239 | 国際電工株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 30 |
| 240 | 株式会社川崎空調サービス | 市内 | 非会員 | 2 | 30 |
| 242 | 株式会社モトヨシ | 市内 | 非会員 | 2 | 30 |
| 244 | 島田電設工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 29 |
| 245 | 株式会社小野崎電業 | 市内 | 非会員 | 2 | 29 |
| 246 | 有限会社建塗工業 | 市内 | 非会員 | 1 | 29 |
| 247 | 株式会社丸一設備 | 市内 | 非会員 | 2 | 29 |
| 248 | 株式会社告工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 29 |
| 249 | 高津建材興業株式会社 | 市内 | 非会員 | 6 | 29 |
| 250 | 株式会社尾作住宅 | 市内 | 非会員 | 3 | 29 |
| 251 | 米澤建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 5 | 29 |
| 255 | 株式会社鷹姫 | 市内 | 非会員 | 2 | 27 |
| 256 | 有限会社川善工業 | 市内 | 非会員 | 3 | 27 |
| 258 | 保安産業株式会社 | 市内 | 非会員 | 12 | 26 |
| 259 | 小泉土木建設 | 市内 | 非会員 | 5 | 26 |

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|-----------------|-----|------------|----|----------|
| 260 | 三和緑化株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 26 |
| 261 | 有限会社一興業 | 市内 | 非会員 | 1 | 26 |
| 262 | アイ通信工事株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 26 |
| 263 | 新鋼工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 26 |
| 265 | 有限会社菅沼塗装店 | 市内 | 非会員 | 1 | 25 |
| 266 | 菅生建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 25 |
| 267 | 三嶋塗装株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 25 |
| 268 | 株式会社カワシマ | 市内 | 非会員 | 3 | 25 |
| 269 | 株式会社沖電設 | 市内 | 非会員 | 2 | 25 |
| 270 | 工都電業株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 24 |
| 272 | 有限会社伸隆技建 | 市内 | 非会員 | 3 | 24 |
| 273 | 株式会社山形電設 | 市内 | 非会員 | 1 | 24 |
| 274 | 株式会社電工舎 | 市内 | 非会員 | 1 | 24 |
| 275 | 有限会社タナカ塗装工業 | 市内 | 非会員 | 2 | 23 |
| 276 | 株式会社中商 | 市内 | 非会員 | 1 | 23 |
| 277 | 鳥本塗工株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 23 |
| 278 | 株式会社三宝緑地 | 市内 | 非会員 | 2 | 23 |
| 279 | 有限会社マルカワ | 市内 | 非会員 | 5 | 22 |
| 280 | 有限会社吉浜設備 | 市内 | 非会員 | 1 | 22 |
| 283 | 有限会社榎本鉄工 | 市内 | 非会員 | 4 | 21 |
| 284 | 有限会社菱沼工業所 | 市内 | 非会員 | 1 | 21 |
| 285 | 御幸建設工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 4 | 21 |
| 288 | 松崎鐵工株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 20 |
| 289 | 有限会社山善工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 20 |
| 291 | 株式会社山室電機 | 市内 | 非会員 | 2 | 20 |
| 293 | 川崎建鉄株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 19 |
| 295 | ミツハマ防災設備株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 19 |
| 296 | 荻原住宅設備機器株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 19 |
| 298 | 須藤開発興業株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 19 |
| 300 | 株式会社井上植木 | 市内 | 非会員 | 1 | 18 |
| 301 | 大三建設企画株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 18 |
| 302 | 株式会社飯塚工務店 | 市内 | 非会員 | 3 | 17 |
| 303 | 株式会社笠倉工業 | 市内 | 非会員 | 2 | 17 |
| 304 | 共成電気株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 17 |
| 306 | 大司建設有限会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 16 |
| 307 | 株式会社山口塗装 | 市内 | 非会員 | 2 | 16 |
| 308 | 玉井設備工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 16 |
| 309 | 鈴木緑化建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 16 |
| 310 | 株式会社オリト | 市内 | 非会員 | 3 | 16 |
| 312 | 株式会社日政 | 市内 | 非会員 | 2 | 16 |
| 313 | 有限会社梶井水道工業所 | 市内 | 非会員 | 3 | 16 |
| 315 | 有限会社小島建設工業所 | 市内 | 非会員 | 2 | 15 |
| 317 | 有限会社城南防災電気工業 | 市内 | 非会員 | 1 | 15 |
| 320 | 株式会社坂下電業社 | 市内 | 非会員 | 2 | 14 |
| 321 | 有限会社荒川電気工事 | 市内 | 非会員 | 2 | 14 |
| 322 | 有限会社落合水道工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 14 |
| 323 | 有限会社深谷電気工事 | 市内 | 非会員 | 5 | 14 |
| 324 | 有限会社山佐塗装店 | 市内 | 非会員 | 1 | 14 |
| 325 | 株式会社一本松工業 | 市内 | 非会員 | 1 | 13 |
| 326 | 株式会社南信社 | 市内 | 非会員 | 2 | 13 |
| 327 | 株式会社イスズ | 市内 | 非会員 | 2 | 13 |
| 330 | 株式会社テクノアート・インヤマ | 市内 | 非会員 | 1 | 13 |
| 334 | 株式会社岡電機 | 市内 | 非会員 | 1 | 12 |
| 335 | 宮川電機株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 12 |
| 337 | 日栄塗装工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 12 |
| 338 | 株式会社柴田土木 | 市内 | 非会員 | 3 | 11 |

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|--------------------|-----|------------|----|----------|
| 339 | 株式会社S & S エンジニアリング | 市内 | 非会員 | 1 | 11 |
| 340 | 和光建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 11 |
| 341 | 弘電業株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 11 |
| 342 | 河野電気工事株式会社 | 市内 | 非会員 | 3 | 11 |
| 343 | 有限会社日東商会 | 市内 | 非会員 | 1 | 11 |
| 344 | 福吉塗装株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 11 |
| 345 | 協成電気株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 11 |
| 347 | 富双電気株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 11 |
| 349 | 株式会社岡田電設 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 350 | 住吉電機株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 352 | 三装工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 353 | 三協電機株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 354 | 株式会社横山造園 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 355 | 株式会社赤塚建設 | 市内 | 非会員 | 2 | 10 |
| 356 | 有限会社丹野電気商会 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 357 | 株式会社明和住建 | 市内 | 非会員 | 1 | 10 |
| 358 | 有限会社川田産業 | 市内 | 非会員 | 2 | 10 |
| 360 | 有限会社原島工業所 | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 361 | 株式会社春日建設 | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 363 | 株式会社ユニ機工 | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 366 | 協立建設工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 367 | 有限会社タカモト塗装店 | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 368 | 株式会社中山防災 | 市内 | 非会員 | 2 | 9 |
| 369 | 有限会社阿部電気商会 | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 370 | 日機テクノス株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 9 |
| 371 | 株式会社神奈川クリーン | 市内 | 非会員 | 1 | 9 |
| 373 | 株式会社みつや園 | 市内 | 非会員 | 1 | 8 |
| 374 | 有限会社安藤雄建設 | 市内 | 非会員 | 3 | 8 |
| 375 | 有限会社井上塗装 | 市内 | 非会員 | 1 | 8 |
| 377 | 株式会社手塚組 | 市内 | 非会員 | 1 | 8 |
| 381 | 田島電業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 8 |
| 382 | 木下土木株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 8 |
| 383 | 株式会社大島電機商会 | 市内 | 非会員 | 1 | 7 |
| 387 | 猿渡冷暖房株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 7 |
| 388 | 大塚建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 2 | 7 |
| 389 | 愛知電業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 7 |
| 392 | 福山産業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 7 |
| 393 | 株式会社金盛園 | 市内 | 非会員 | 1 | 6 |
| 394 | 有限会社さくら建設 | 市内 | 非会員 | 1 | 6 |
| 396 | 有限会社堀一設備 | 市内 | 非会員 | 2 | 6 |
| 398 | 有限会社志村電設工業 | 市内 | 非会員 | 2 | 6 |
| 400 | 有限会社石井電気商会 | 市内 | 非会員 | 2 | 5 |
| 401 | 株式会社加瀬建設 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 403 | 株式会社佐藤電機 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 405 | 旭ポリマー株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 408 | 有限会社島屋商店 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 409 | 立川興産株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 410 | 株式会社栗田屋 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 411 | 榎本工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 414 | 長谷川燃料店 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 415 | 有限会社阿部燃料店 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 416 | 株式会社山崎茂商店 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 418 | 株式会社昭栄電工社 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 419 | 株式会社平井工装 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 420 | 株式会社川西海事 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 421 | 早川プロパン株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|---------------|-----|------------|----|----------|
| 422 | 東邦電業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 423 | 株式会社田中泰治商店 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 424 | 中村商店 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 427 | 株式会社浦野工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 428 | 株式会社日伸 | 市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 429 | 大門建設株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 431 | 有限会社三輪電工 | 市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 432 | 株式会社今井造園 | 市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 433 | 株式会社相光園 | 市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 435 | 株式会社石井塗装 | 市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 438 | 松村塗装工業株式会社 | 市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 439 | 株式会社濃沼植木 | 市内 | 非会員 | 1 | 2 |
| 440 | 有限会社幸ロードライン | 市内 | 非会員 | 2 | 2 |
| 441 | 株式会社ジェー・エヌ・エス | 市内 | 非会員 | 1 | 2 |
| 442 | 有限会社阿部設備 | 市内 | 非会員 | 1 | 2 |
| 443 | 株式会社高橋電気工事 | 市内 | 非会員 | 1 | 2 |
| 444 | 有限会社安達工務店 | 市内 | 非会員 | 1 | 2 |
| 448 | 株式会社浅谷興業 | 市内 | 非会員 | 1 | 1 |
| 449 | 有限会社小林電設工業社 | 市内 | 非会員 | 1 | 1 |
| 450 | 有限会社森商店 | 市内 | 非会員 | 1 | 1 |

別表4 2008年度 市外受注業者ランキング 単位:百万円

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|---------------------|-----|------------|----|----------|
| 1 | J F E環境ソリューションズ株式会社 | 市外 | 非会員 | 10 | 5,892 |
| 6 | 荏原環境プラント株式会社 | 市外 | 非会員 | 3 | 1,159 |
| 26 | 三菱重工環境エンジニアリング株式会社 | 市外 | 非会員 | 5 | 519 |
| 28 | 株式会社デック | 市外 | 非会員 | 4 | 498 |
| 30 | メタウォーター株式会社 | 市外 | 非会員 | 4 | 492 |
| 33 | 扶桑建設工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 466 |
| 37 | 株式会社正興電機製作所 | 市外 | 非会員 | 3 | 442 |
| 38 | 株式会社荏原由倉ハイドロテック | 市外 | 非会員 | 2 | 410 |
| 51 | 富士ホイスト工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 315 |
| 59 | 川崎重工工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 273 |
| 60 | 株式会社ノバック | 市外 | 非会員 | 1 | 265 |
| 62 | J F Eテクノス株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 258 |
| 69 | 株式会社大原鉄工所 | 市外 | 非会員 | 1 | 227 |
| 77 | 大和リース株式会社 | 市外 | 非会員 | 3 | 198 |
| 79 | 東芝プラントシステム株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 193 |
| 80 | 株式会社西島製作所 | 市外 | 非会員 | 1 | 190 |
| 89 | クボタ機工株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 173 |
| 104 | 昱株式会社 | 市外 | 非会員 | 3 | 148 |
| 118 | 日立プラントテクノ株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 120 |
| 119 | コスモ工機株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 120 |
| 137 | 中央エレベーター工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 3 | 99 |
| 146 | 月島テクノメンテサービス株式会社 | 市外 | 非会員 | 5 | 84 |
| 150 | 東海リース株式会社 | 市外 | 非会員 | 3 | 81 |
| 151 | 日成ビルド工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 4 | 81 |
| 157 | 株式会社オービス | 市外 | 非会員 | 3 | 78 |
| 158 | コマツハウス株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 76 |
| 180 | 株式会社荏原製作所 | 市外 | 非会員 | 1 | 58 |
| 205 | 株式会社ティエスジー | 市外 | 非会員 | 4 | 41 |
| 210 | 株式会社前澤エンジニアリングサービス | 市外 | 非会員 | 2 | 40 |
| 216 | 月島機械株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 38 |
| 225 | 株式会社I H I回転機械 | 市外 | 非会員 | 1 | 36 |
| 231 | 株式会社ディベロップ | 市外 | 非会員 | 1 | 33 |
| 235 | 日本ギア工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 32 |
| 257 | 三菱電機株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 27 |
| 264 | 荏原エンジニアリングサービス株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 26 |
| 271 | 株式会社ハタノシステム | 市外 | 非会員 | 1 | 24 |
| 281 | 株式会社クリモトテクノス | 市外 | 非会員 | 1 | 22 |
| 290 | フリクト日本株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 20 |
| 292 | 日立造船鉄構株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 20 |
| 297 | 協同プラント工事株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 19 |
| 311 | 富士建設工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 16 |
| 318 | 株式会社第一テクノ | 市外 | 非会員 | 1 | 15 |
| 328 | 高砂炉材工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 13 |
| 329 | 株式会社J B F | 市外 | 非会員 | 1 | 13 |
| 331 | 東芝電機サービス株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 13 |
| 333 | 勝村建設株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 12 |
| 348 | 日本ヴィクトリック株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 11 |
| 351 | 株式会社前田鉄工所 | 市外 | 非会員 | 1 | 10 |
| 362 | 株式会社ケアコム | 市外 | 非会員 | 1 | 9 |
| 372 | 日立プラント建設サービス株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 8 |

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約 金額 |
|-----|------------------|-----|------------|----|----------|
| 378 | 株式会社きんでん | 市外 | 非会員 | 1 | 8 |
| 379 | ユニオン建設株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 8 |
| 384 | 森平舞台機構株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 7 |
| 385 | 大出産業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 7 |
| 386 | 新泉産業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 7 |
| 390 | 株式会社永光 | 市外 | 非会員 | 2 | 7 |
| 391 | 新明和アクアテクサービス株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 7 |
| 395 | 荏原冷熱システム株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 6 |
| 399 | 株式会社東京舞台照明 | 市外 | 非会員 | 1 | 6 |
| 404 | ロードアート株式会社 | 市外 | 非会員 | 2 | 5 |
| 412 | 株式会社水機テクノス | 市外 | 非会員 | 2 | 4 |
| 413 | 株式会社マエカワ | 市外 | 非会員 | 1 | 4 |
| 425 | 新和企業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 4 |
| 426 | 株式会社カワサキマシンシステムズ | 市外 | 非会員 | 1 | 4 |
| 434 | 横浜日電工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 3 |
| 437 | シンク・エンジニアリング株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 3 |
| 446 | 横浜ユアサ産業電池株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 2 |
| 447 | 日本防蝕工業株式会社 | 市外 | 非会員 | 1 | 2 |

別表5 2008年度 準市内業者ランキング 単位:百万円

| ランク | 業者名 | 所在地 | 会員・ 非会員 | 件数 | 契約金額 |
|-----|-------------------------|-----|------------|----|-------|
| 5 | 鹿島建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 6 | 1,350 |
| 7 | 東洋建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 1,123 |
| 9 | 東亜建設工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 4 | 1,038 |
| 11 | 株式会社竹中土木 | 準市内 | 非会員 | 4 | 999 |
| 13 | 大成ロテック株式会社 | 準市内 | 非会員 | 6 | 880 |
| 19 | 五洋建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 3 | 628 |
| 21 | 飛鳥建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 618 |
| 23 | 株式会社東芝 | 準市内 | 非会員 | 6 | 582 |
| 24 | アイサワ工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 576 |
| 35 | 前田建設工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 448 |
| 39 | 大林道路株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 403 |
| 41 | 若築建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 377 |
| 46 | 清水建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 340 |
| 63 | 東鉄工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 256 |
| 64 | 青木あすなる建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 5 | 256 |
| 65 | 株式会社不動テトラ | 準市内 | 非会員 | 1 | 254 |
| 66 | 深田サルベージ建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 253 |
| 68 | 株式会社大本組 | 準市内 | 非会員 | 1 | 233 |
| 70 | 戸田建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 3 | 226 |
| 81 | 株式会社鴻池組 | 準市内 | 非会員 | 1 | 185 |
| 88 | 株式会社フジタ | 準市内 | 非会員 | 1 | 173 |
| 103 | 坪井工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 151 |
| 122 | 荏原実業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 7 | 118 |
| 136 | 鉄建建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 100 |
| 138 | 株式会社NIPPONコーポレーション | 準市内 | 非会員 | 1 | 99 |
| 140 | 大和小田急建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 3 | 96 |
| 145 | 大成建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 87 |
| 147 | みらい建設工業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 83 |
| 184 | 東芝エレベータ株式会社 | 準市内 | 非会員 | 3 | 55 |
| 186 | 株式会社NIPPON | 準市内 | 非会員 | 1 | 52 |
| 199 | 株式会社青木組 | 準市内 | 非会員 | 2 | 45 |
| 201 | 東京瓦斯株式会社 | 準市内 | 非会員 | 2 | 42 |
| 204 | 吉川海事興業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 41 |
| 218 | 株式会社内藤ハウス | 準市内 | 非会員 | 1 | 37 |
| 253 | 日本電気株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 28 |
| 286 | 協同電気株式会社 | 準市内 | 非会員 | 4 | 21 |
| 294 | 富士電機システムズ株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 19 |
| 299 | 西松建設株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 19 |
| 316 | 京浜港湾工事株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 15 |
| 319 | 松浦企業株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 15 |
| 376 | 昭和環境システム株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 8 |
| 397 | 株式会社日立ビルシステム | 準市内 | 非会員 | 1 | 6 |
| 402 | 五栄土木株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 406 | 株式会社日立プラントテクノロジー | 準市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 407 | 横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 5 |
| 417 | 能美防災株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 4 |
| 430 | 都築電気株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 3 |
| 436 | エービーサービス株式会社 | 準市内 | 非会員 | 1 | 3 |

過去4年間の入札・発注データに基づく
川崎市発注公共工事分析報告書（2005年度～2008年度）

発行日：2010年3月31日

発行：特定非営利活動法人 建設政策研究所

連絡先：特定非営利活動法人 建設政策研究所

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-8-16

けんせつプラザ東京 601号

TEL：03-5332-7820 FAX：03-5332-7821

E-mail：JDS04066@nifty.ne.jp

URL：<http://homepage2.nifty.com/kenseiken/index.html>